誹材

三國人名牒

完

俳諧種卸 増補三國人名牒

鬻ㇾ刊行ㇾ於種卸八鈞月堂二漁宗匠の著ㇾ作ㇾ俳用の人物ㇾ我といへ𪜈其撰ㇾあ𪜈事ㇾ無ㇾ愚ㇾ𪜈ㇾ粤ㇾ有ㇾ葬存義宗匠書得ㇾ至ㇾ龍鱗庵素月宗匠ㇾ傳ㇾ一小冊ㇾ泄二子ㇾ已ㇾ

泉下の賓まさにバ素月子杜甥なる
蘭山先生寸校正終需を彼是召合
せ功終畢奴

文化九壬申年

孟春

星運堂識

俳諧人名帳

凡例

○此書専ら俳用の人物を集る故日本唐古天竺二男女僧俗貴賤よ拘ず
其名を発る処、如し採ル乃ち喫ル意、終差別せず

○神と云も日女上古の人仏と云も印度いあーの人也さまで俳道よ不釈
同体ゐまバ俳諧云も句よりそ不釈ル天波宮も不ゐ宗ざる生人のまゐ名ふてる
倫理道ま釈迦も恵宅太よい人倫ゐ外るゞバ不釈ル句作の変化ぞ人倫
人物ゐること俳道の定ゐるまバ乗くゐ賛せず
○芙人の呼ゑる妃夜通姫小野小町李夫人楊貴妃の数名ゐも急と定む

誠に美人の竹くるるも痩腹服ず石よりの名水にて色と云ひ上品操寺よ多々藩章都設け擁却勉るかど八述懐多々意のまゝ小町も実おまりせて意とらる人物に㊧球多と

○俳用かゝるも古人球名あり出もその多く唐土の人物八㊧の印ろ以下小集天竺の人物もそ来る並出に和漢とも㊧の下ろうハ彩人画家のごとく法橋八位の称よ出し自国人の撿校八僧のごとく新古光琳の次序球記るも、球外にてるみの也但世俗唱ふる如く教也ゝ球を記一苗字を用ひ名斗出球八夜泉球為

唱首原球菅と称ふ如のごとく随て出ぬ見るに依ふんあるべきあ出ル

もの多くバ㋑とおくバイの部ろも出るべき球ん

○太平の徳澤久しく流と一藝を以ん擁ふ且る人のほ名と弁舌と安ろうて雲上のほ事も噂多よ八前車よ懲ざ安らのうくも云出ることのふ諸君暫く見許多く又異志遂ば出せ八尚もるふおくび進べくことをあゝ私至人詩球冊よ鄭衛球弁のごとく悪人なく八何よ依て名人球ん悪党忽ち滅るのごとくび醜名球来ずよ貽ふ懲て志気名よ頽ば豈良らざらんや

○鉄劒弓馬武術の名家私筆ろ鞠基算術百般技芸の多名流宗徧村の碩徳八後編球期使せう書駅多球促の急ろまゝ

○二十年来の人物云々及び三十年百年の蒼も當世に怪べきハ俳諧なり
出まぐれをいハで大夫なども云ひ笑るとても俳云々ハ懼
歟なるべし又源氏の古き物がたりも猶物がたりなる空名の人物ハ
少なるべし浄瑠璃抔云等の負ほせ前局若婦ぢ
出永れ言つゞけハ好々俳閑まわるべし
○イ井ヲオエ工今一ゐ也ゑくゑ仮字附ゆゑ言ことの心呼れ自ら性を乃
差わり
○宝法彭ホウおゝべいの記除女ジョおゝべき如序ハヂョおゝべきを外
クコウ ソウ セウ リョウ レウ ヨウ ワウ エウ ヨウの類字に依て定る仮字あり字ゐ引出
もに悉ぐ双方ゑ求て正書ゆゑ学べし
○ゐ書間見ゑ之ゐが授まる処縁ゑ乃ち雅君の訂正ゆゑ莫のゑ

俳諧種卸 増補三國人名牒

古来庵 存義 遺稿
龍鱗庵 素月 訂補
高井氏 蘭山 校正

イ 英井 之部

伊弉諾尊 天神七代の陽神
伊弉冉尊 天神七代の陰神
稲田姫 足摩乳の女 手摩盌
一條摂政 伊尹公と称ス人 ゑ傳使公と誼
一條禅閤 兼良公と称ス又ハ 成恩寺実白経嗣
公ゑ指ス実白文明之年入道法名ゑ恵渓成恩寺桃花
老人と称ゆゑ歌人著述多
ゐる文明十三年薨ス八十

一條教房公 花大臣妙花号 定家流
の書ゆゑ正ス文明中薨
一溪 名ハ守長 内膳と称ス 狩野ノ人ゆて画ゆゑ名ゑ
仕宣ゑよハ桐
一井関梧 助宝別の人 庇山
子ノ人浪花ゑ敬扱ゑ受ゐゑ
文学ゑ以海ゑ
六年没
百十六
一庵 一尾伊織と称ス東武の人
兼ねゑ学ゑ
造ゆゑの好士業歌ゆり

一路居士 何ノ時の人ゆて
結ゑの姓名ゑ
伊観 七条の佑の女房
伊観 ゑて和ゑを号ス
伊観三条大中臣社宣の
孫ゆて号ス人
伊観二条 茶室と称
伊勢新九郎 小條早雲と称
伊勢平氏之
伊豫内親王 桓武天皇の
皇女ゑり
伊東入道 祐親と称て朝
千女ゑ通ゆ娶
ゐ城逐ゑ
助令孫ゆて自害ゑ

伊藤仁齋 名維楨字源佐原氏 家称古義堂 稱古學先生 京都堀川人 自号古学先生又號仁齋 家永中没 私謚 古学先生

伊藤東涯 仁齋の長子名長胤字元喜 家称古義堂 稱古學先生 又號紫芝園 家永中没 私謚 文章先生

伊藤蘭嵎 名長堅字原蔵 又號蘭嵎 家称古義堂 稱古學先生 家永中没 私謚 文学先生

伊藤介庵 名宗恕字元貞 稱源助 又號介庵 家称古義堂 稱古學先生 家永中没 私謚 文学先生

和泉三部 和泉屋と稱する道具の書上なし 院の女房なり

泉二郎 親平と称す源氏の武士 討ち死す 逐電して行方知れず 今其の子孫 仕官す

鹿藩我蝦夷の男改地 孰 満足云に堪ざる

江若水 名は兼通字は徹 橋氏の人 浪華の隠士 栖を芝新地に結ぶ

東阿 平馬と称す 藤氏 久留米藩の臣 天保年間 勘定奉行

前司 静の母

今井宗薫 親平と称す 幕府の忠臣なり 深く剣道を修む 今尚存命 今井宗閑 名は義元 浩之と稱す 今井宗久 紹鷗と稱す 茶人 堺の豪商 今井宗薫又は宗薫と号す

石川丈山 名は凹字は丈山 又嶺松と号す 三河の人 後京師に住す 詩歌書画に長ず 寛文中没 年九十

石川白山 丈山の子 名は重之 中没 九十

石川大山 名は明之 丈山の孫 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

石川子拙 名は貞 大山の子 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

石川南軒 名は保 子拙の弟 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

石川光門の家人 名は春若 南軒の門人 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

石川松江 名は貞幹 光門の家人 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

石川丈山の一族 名は明一 京師に住す 詩歌書画に長ず 享保中没 年七十

今大路道三 名は親清 初代 医を以て幕府に仕ふ 法眼に叙せらる 法印に進む 号は仙庵 又は仙巌 又は仙巌斎 又は仙巌道三 又は仙巌道三 又は仙巌道三

一翁（イチオウ）　名ハ院豪長楽寺の僧ニシテ詩ヲ善クス正安中殁ス

一之（イッシ）　江蘇ノ人ニシテ詩画ヲ善クス明ノ洪武ノ末ニ在リ

一線（イッセン）　又一枝ニモ作ル名ハ文守殁ス宝ノ流ヲ汲ム下賀茂ニ在リ源寺ノ中興丹石法常寺ノ開山鳥丸光広ノ参師ニシテ協遠別派ナリ仮称ト友ス

壹演（イチエン）　備前沼知ノ男相国寺ノ第二山貞訳九月殁ス名ハ士偲元ホ波法名ハ友山

一急（イッキュウ）　安中殁東福寺ノ僧ニシテ天流ノ法ヲ嗣ク

一天（イッテン）　名ハ宗法撰号ハ天民中殁大徳寺ノ禎ヲ継ク

佚山（イッサン）　宇ハ黙隠常足ト号初メ僧ニシテ後ニ俗ニ反ル

人家（ジンカ）　所ノ人書法ハ張長篇文画ノ如キ是ナリ

雄長老（イウチャウラウ）　建仁寺ノ僧ニシテ詩ヲ善クス

祐天（イウテン）　姫上寺大信忌祐天寺ノ第二世ナリ

石田検校（イシダケンギャウ）　名ハ基ノ三絃ヲ善クス

石村検校（イシムラケンギャウ）　名ハ文三絃ノ名手ナリ

生田検校（イクタケンギャウ）　八橋ト共ニ一流ヲ出ス

（井）大明（ダイミン）　宇ハ元孫常楽山ト号ス

（井）延宝（エンポウ）　元年四月十一日殁

惟宗（イソウ）　名ハ法橋南径流ノ人ニシテ詩ヲ善クス

惟然（イネン）　雲水ノ僧ニシテ俳人ナリ

維肖（イショウ）　名ハ得巌南径流ノ人ニシテ文名アリ

（漢）伊尹（イイン）　殷湯王ノ賢相

伊ノ先生（イノセンセイ）　姓ハ程名ハ頤宇ハ正叔明道ノ弟ニシテ洛ノ学統ヲ継ク安中殁

江馬（エマ）　氏ノ人宇ハ孔孟ノ学ヲ修メ詩ヲ善クス

輝（キ）　也又書ヲ善クス

海也（カイヤ）　堂芦野雁門ノ門人ニシテ詩ヲ善クス

伊尹九（イインキュウ）　等ノ号アリ浜ノ長ノ孫ニシテ画ヲ善クス

（井）殷湯王（インタウワウ）　名ハ履聖人ニシテ夏桀ヲ放チ天下ヲ救ヒ民ヲ救フ

有子（イウシ）　名ハ若宇ハ子有孔門ノ高弟ナリ

游定夫（イウテイフ）　名ハ酢程門四先生ノ内

游撲庵（イウボクアン）　名ハ勲宇ハ元周清ノ書家

熊希華（ユウキクヒ）　宇ハ千鍾清ノ書家

（井）殷紂王（インチウワウ）　名ハ辛湯王ノ第三十代ノ孫ニシテ暴虐ヲ行ヒ周武王ノ為ニ滅サル

六條（ロクデウ）　源家ノ男ニシテ義ト称ス元ノ軍攻ヲ其子義胡ニ至ルマデ守ル

六代（ロクダイ）　前平維盛ノ女文覚上人ノ命ヲ以テ助命ス尼ト称ス

六条（ロクデウ）　源氏ノ系ニシテ息所ト称ス倭文ノ名ノ如シ

六角承禎（ロクカクジョウテイ）　佐々木ノ一統

露占（ロセン）　名ハ内海北州義英彦根ノ人ニシテ俳名ノ達人

路考（ロスイ）　水　青木氏白梅園ト号ス俳林立圃門人彩雲ノ如シ

六角（ロクカク）　氏ノ方

六条（ロクデウ）　宮ノ舞手ニシテ俳名ノ如シ

六代（ロクダイ）　御前（ゴゼン）　平維盛ノ女文覚上人ノ命ヲ以テ助命ス尼ト称ス

六条（ロクデウ）　源氏ノ系ニシテ息所ト称ス倭文ノ如シ

六角（ロクカク）　承禎（ジョウテイ）　佐々木ノ一統

露占（ロセン）　名ハ内海北州義英彦根ノ人ニシテ俳名ノ達人

路考（ロスイ）　水　青木氏白梅園ト号ス俳林立圃門人彩雲ノ如シ

（井）殷湯王（インタウワウ）　名ハ履聖人ニシテ夏桀ヲ放チ天下ヲ救ヒ民ヲ救フ

殷紂王（インチウワウ）　湯王ノ廿八世名ハ辛姐己ガ色ニ惑ヒ忠良ヲ殺シ民ヲ苦シメ武王ノ為ニ滅サル

（井）殷湯王（インタウワウ）　名ハ履聖人ニシテ夏桀ヲ放チ天下ヲ救ヒ民ヲ救フ

殷紂王（インチウワウ）　湯王ノ廿八世名ハ辛姐己ガ色ニ惑ヒ忠良ヲ殺シ民ヲ苦シメ武王ノ為ニ滅サル

（井）大明（ダイミン）　宇ハ元孫常楽山ト号ス

（井）延宝（エンポウ）　元年四月十一日殁

惟宗（イソウ）　名ハ法橋南径流ノ人ニシテ詩ヲ善クス

惟然（イネン）　雲水ノ僧ニシテ俳人ナリ

維肖（イショウ）　名ハ得巌南径流ノ人ニシテ文名アリ

（漢）伊尹（イイン）　殷湯王ノ賢相

雄長老（イウチャウラウ）　建仁寺ノ僧ニシテ詩ヲ善クス

祐天（イウテン）　姫上寺大信忌祐天寺ノ第二世ナリ

石田検校（イシダケンギャウ）　名ハ基ノ三絃ヲ善クス

石村検校（イシムラケンギャウ）　名ハ検校三絃ノ名手ナリ

生田検校（イクタケンギャウ）　八橋ト共ニ一流ヲ出ス

（井）大明（ダイミン）　宇ハ元孫常楽山ト号ス

（井）延宝（エンポウ）　元年四月十一日殁

惟宗（イソウ）　名ハ法橋南径流ノ人ニシテ詩ヲ善クス

惟然（イネン）　雲水ノ僧ニシテ俳人ナリ

維肖（イショウ）　名ハ得巌南径流ノ人ニシテ文名アリ

（漢）伊尹（イイン）　殷湯王ノ賢相

尹士甫（インシホ）　周ノ世ノ賢人

尹和靖（インワセイ）　名ハ焞宇ハ彦明宋朝程門ノ高弟

尹松亭（インショウテイ）　名ハ義逸号ハ松亭ト号ス

尹誕（インタン）　漢ノ墓法ノ名家ナリ

（尺）行阿（ギャウア）　周王ノ世ノ賢人

（漢）魯山（ロザン）　名ハ玄璠南径流ノ人ニシテ詩ヲ善クス

（漢）甪里先生（ロクリセンセイ）　商山四皓ノ一人張子房ノ師ト伝フ

（井）為霖（イリン）　名ハ道昭号ハ円ノ人ニシテ天文暦数ヲ善クス

（井）茗荷（ミョウガ）　名ハ智船秋潭ト号ス

（井）因掲陀尊者（インカダソンジャ）　十六羅漢第十三

（口）之部

六孫王経基（ロクソンワウツネモト）　清和帝ノ皇孫始テ源姓ヲ称ス

天公（テンコウ）　小俣ノ山城住ノ僧ニシテ詩ヲ善クス

（漢）甪里先生（ロクリセンセイ）　商山四皓ノ一人張子房ノ師ト伝フ

小俣（コマタ）　山城住ノ僧ニシテ詩ヲ善クス

漢高帝（カンカウテイ）　ノ軍師ニシテ天文暦数ヲ善クス

盧生（ロセイ）　邯鄲ノ邸舎ニ呂翁ノ枕ヲ借リ五十年ノ栄華ヲ夢ミシ人

盧照隣（ロショリン）　字ハ昇之唐ノ人四傑ノ内

盧仝（ロドウ）　自ラ玉川子ト号ス唐ノ衛人

盧見曽（ロケンソウ）　雅雨ト号ス清ノ玄家

路温舎（ロヲンジョ）　漢ノ時貧ニシテ蒲ヲ織リ尚書ヲ誦シテ名ヲ挙ケシ人

樓鑰（ロウヤク）　宇ハ大防攻媿ト号ス宋ノ時書ヲ善クス

（尺ロクキ）六奇 名ハ韜晦江と号清の高僧

八之部

速火津媛 伊弉諾尊の御女 水神ヲ祭ル

速見親祐 紀伊国井流の手ヲ汲ム

速水友益 大内の書吏 乃池流ヲ出ス

原見王 五世の孫 人臣ニ降ス

原昌房 従四位下 白河山荘ニ隠ル

春道列樹 弓ノ達人

畠山幸忠 祖父ノ名ヲ司ル 次郎 孫ノ名ヲ継ク

右ノ外寛仁ノ長者 僧人ノ名ヲ略ス

秋田物外 資盛ノ伯母 勇力アリテ兵器ヲ善ク使フ

一旦修ヒ立テ 利ヲ一系遠ク

秦武文 弓ヲ善ク射 人口ニ炙ラル

秦竹探 号大坂ノ人 妻ト共ニ

書ハ名ノ下ニ係中没

林道春 名ハ勝永 幼ニシテ 京ニ出テ 藤惺窩門人 視聽ヲ

道春ト称スルノ法ヲ改ム 子孫 之ニ倣フ

林鵞峰 名ハ春斎 父ノ名ヲ 継ク

林読耕斎 名ハ恕 父ノ名ヲ 継ク

林道栄 名ハ述 号ヲ 鳳岡 ト改ム 大学頭

唐話書ハ名ノ下ニ儒名ヲ加フ

八之部

東条一堂 名ハ弘毅 通称ハ 源吾 号ヲ 一堂 ト改ム

服部蘇門 名ハ天游 字ハ 伯和 蘇門ト号ス

宗門ノ儒家ニテ 秦ノ姓ヲ 称ス

秦鼎 名ハ載 字ハ 鼎臣 松窓ト号ス 法眼ニ 叙セラル

法橋森川 名ハ 春 字ハ 子和 後ニ 春斎ト改ム

法水白雲 名ハ 遠 字ハ 子遠 後ニ 白雲ト改ム

馬場信武 法ノ儒ヲ 受ク

英一蝶 名ハ 安信 通称ハ 次郎兵衛 後ニ 多賀朝湖ト号ス

寺泊観海 寛永中ノ人 名ハ深空 法ヲ 天海ニ 受ク

法純上人 仙台ノ人 名ハ源空 法ヲ 忍徳川将軍家綱ニ 謁ス

服部蘇門 名ハ天游 字ハ伯和 蘇門ト号ス

宗門ノ儒家ニテ 秦ノ姓ヲ 称ス

秦鼎 名ハ載 字ハ鼎臣 松窓ト号ス 法眼ニ 叙セラル

法橋森川 名ハ春 字ハ子和 後ニ春斎ト改ム

法水白雲 名ハ遠 字ハ子遠 後ニ白雲ト改ム

馬場信武 法ノ儒ヲ 受ク

英一蝶 名ハ安信 通称ハ次郎兵衛 後ニ多賀朝湖ト号ス

林浪仙 名ハ読 通称ハ 次郎三郎 後ニ 浪仙ト改ム

林榴岡 名ハ信篤 通称ハ 大学 後ニ 榴岡ト改ム

林鳳谷 名ハ信充 通称ハ 大学 後ニ 鳳谷ト改ム

林錦峰 名ハ信智 通称ハ 大学 後ニ 錦峰ト改ム

林述斎 名ハ衡 通称ハ 大学 後ニ 述斎ト改ム

林復斎 名ハ煒 通称ハ 大学 後ニ 復斎ト改ム

林大学頭 名ハ 皇 通称ハ 大学 後ニ 大学頭ト改ム

林学士 名ハ 復 通称ハ 大学 後ニ 学士ト改ム

林大学頭 名ハ 衡 通称ハ 大学 後ニ 大学頭ト改ム

林学士 名ハ 皇 通称ハ 大学 後ニ 学士ト改ム

林大学頭 名ハ 復 通称ハ 大学 後ニ 大学頭ト改ム

林学士 名ハ 衡 通称ハ 大学 後ニ 学士

百里奚　虞国の大夫君を道さるゝに去て秦に
小食牛を以て仕へ秦穆公に
賢らるゝ後ち秦を穆公を相とし

織の時和田家を畠山
手もこまを討
西室俗中 契沖の祠堂有
甲斐守門弟
西村方石 京の人明丁の比
書をうくとり
西ノ水村齋 名八正休又改多
天文歴数
をうくとて
西川祐信 自得齋と号師
女の画域臣大和
画師と呼る一流より初て
永納門人と後一流を成
新田義貞 添胡氏の男八代
位下九中将従
四年誠の足利
もとめく討死
新田美我奥 等員の次男義清
佐近文左衛門尉
十二日毎名天台八代仏供
等う奸斗して
ニッポン 日東 名八祖師日蓮流の
頂俗号永中叡
ニチデン 日田 名八利渉系福流の
る俗名徳中叡
ニッポウ 日山峯 名八法胡天竜寺の住僧
号永中叡又大徳寺
同称あり名八宗舜妙心寺
同の法嗣文明中
の号を揚よさべて
くき書を
ニシカワ 西川伯耆仲の女儒名う
隼人の祢社の斗
ホンダ 本田昔光 姓氏紀氏
名昔光寺の隊
本田昔助 名昔光の男と
右同人
ホンダ 本多行忠 次郎と
たの作
の時跡
孔
ホンマ 本間永昌 平
ホンミョウジ 本明寺 ろ
本肉坊 叡光寺の
野
孫を
没
本阿弥光甫 名八正
儒と号
本阿弥光悦 名八正
書と称
ホリカワ 堀河 名八宗
院の女房名
堀江名已斎 名八宗
堀江流 水墨 伝
一流
堀正意 字八教文
悔斎門人
堀南湖 名八正修字八身之
正意と称
孫義別の
儒
堀景山 名八正紹字八君樹
助と称南湖の従弟
藝名の
儒
堀玄厚 小清先生と
余の儒家
堀内前 名八正
称
堀内光甫 名八正
称
本阿弥光甫 光悦
齋と号
又陶器を製
焼と
号
ホンメウシュウキ 本目政辰 称左兵衛と
伝書一流
ホフデウ 北條時政 平時兼の男で帥
と称源実家の外
戚物語に
ホフデウヨシトキ 北條義時 時政の男江間小
帥と称後執権
ホフデウヤストキ 北條泰時 義時の男四郎
ホフデウトキヨリ 北條時頼 八代にて最明寺
乃業と称
(漢)(尺)ニチナン 日南 名八昇白湖の号俗
庵と号
ホ 之部
ホソスリノミト 火鑽降 又火敵打ふも仕
覆久梓その
ホンメウシュウキ 本目政辰 称左兵衛と
伝書一流
ホフデウ 北條時政 平時兼の男で帥
と称源実家の外
戚物語に
ホフデウヨシトキ 北條義時 時政の男江間小
帥と称後執権
ホフデウヤストキ 北條泰時 義時の男四郎
ホフデウトキヨリ 北條時頼 八代にて最明寺
乃業と称

ニュカワ 牛川 忠信 撫同と号撫山
ニナガハシ 堆川 新八 画法一家
ニッタ 日蓮聖人 こゝろ氏を房州の人
是は房蓮長と
称後日蓮と改法華経を
一宗やゝ頭月妙唱文永八年
伊豆へ流さるゝ安元年十月中
三日武州池上にて寂六十五後醍醐
帝菩薩の号
ニチザウホサツ 日像菩薩 日蓮の弟子九老
の内妙顕寺
ニッコウ 日興 八日蓮宗六老の門葉
日向八
ニッチン 日親 世に祖師と称
後小田原にて大小の刹を修る
享二年四月七日寂八十二
(尺)ニチレン 日蓮聖人 こゝろ氏を房州の人
是は房蓮長と
称後日蓮と改法華経を
一宗やゝ頭月妙唱文永八年
伊豆へ流さるゝ安元年十月中
三日武州池上にて寂六十五後醍醐
帝菩薩の号
ホンダ 本多行忠 次郎と
たの作
の時跡
孔
ホンマ 本間永昌 平
ホンミョウジ 本明寺 ろ
本肉坊 叡光寺の
野
孫を
没
本阿弥光甫 名八正
儒と号
本阿弥光悦 名八正
書と称
ホリカワ 堀河 名八宗
院の女房名
堀江名已斎 名八宗
堀江流 水墨 伝
一流
堀正意 字八教文
悔斎門人
堀南湖 名八正修字八身之
正意と称
孫義別の
儒
堀景山 名八正紹字八君樹
助と称南湖の従弟
藝名の
儒
堀玄厚 小清先生と
余の儒家
堀内前 名八正
称
堀内光甫 名八正
称
本阿弥光甫 光悦
齋と号

細川幽斎（ホソカハユウサイ）道晴と号法名常沢（ジヤウタク）
細川幽斎（ホソカハユウサイ）幽齋公名ハ藤孝ト称ス入道シテ玄旨ト号ス
細川三斎（ホソカハ）公 三位肥後侯本
氏源氏名家ニシテ幽斎公ノ男ニテ家風雅ノ人ニ優ル事一等
細井廣澤（ホソヰクワウタク）名ハ昌格字ハ公謹玉ノ葉ト林庵
等ノ号アリ江戸大火ノ時焼死ス
その人となり温厚ニシテ人ニ愛セラル
享保ホニ年没ス男孔鼻ト名ク侍医ニテ父ニ劣ラズ
細井平洲（ホソヰ）名ハ徳民字ハ世馨
初メ二名ヲ称ス
(ホ)
儒家
星野恒（ホシノワタル）名ハ龍字ハ子雲
小平太ト称ス

数度の
牡丹花肖柏（ボタンクワセウハク）姓ハ源肖伯ト名ク
の民勅ヲウケ新歌ヲ案ズ
加賀連歌ノ名人宗祇ニ歌学ヲ
拍子ヲ知リ女ヲ侍女ニ
世ニ堺流ト称ス大永中没ス男
半井ト春千男又女ノ姓名
を錄ス侍医ニテ和歌ヲ
凡兆（ボンテウ）野氏ノ
北枝（ホクシ）加賀人ニテ沢ノ鷹工
(尺)菩提僊（ボダイセン）名ハ法印ノ位
林凡（ボンリン）方 玉瞬子知足ト号ス
豊蔵房（ホウザウバウ）名ハ信海又玄圃
風潭（フウタン）名ハ政敬波村豊蔵ノ
子洪服ヲ脩ニシ漫遊

平親王將門（ヘイシンワウマサカド）相馬小次郎
平相國清盛（ヘイサウコクキヨモリ）公 忠盛ノ男天
奏ヲ経ズシテ東国ノ民ヲ悩乱セシモ
病ニテ薨ス世ニ伝フ
平大納言時忠（ヘイダイナゴンときただ）公 時忠ノ
子ニ非ズ
源義経（ミナモトノヨシツネ）又祖赤坂ニ生ル
檜扇ヲ持ス
源頼朝（ミナモトノヨリトモ）公 義朝ノ
台閣ニ坐シ威儀アリ
静（シヅカ）女 義経ノ妾ニテ
遠路ヲ慕ヒ来ル
平知盛（ヘイトモモリ）公 清盛ノ
碇ヲ負ヒ海ニ入ル
平重衡（ヘイシゲヒラ）公 清盛ノ
奈良ヲ焼ク
宋萬鍾（ソウバンセウ）字ハ仲詔友石ト号
明朝ノ書家
趙孟頫（テウモウフ）字ハ子昂松雪ト号
元朝ノ画家
(尺)平野（ヘイヤ）名ハ戒養
平蹤（ヘイセウ）名ハ九皐山石艇ト号
明ノ人

松尾に葬ル
寺沢遠（テラサハヲバクエン）
揚王（ヨウワウ）西国ノ人世名ハ海外
釈迦ヲ好ミ毎ニ梵語ヲ挿ム
時ノ人ナリ

之部

墨子（ボクシ）名ハ翟ト称ス
墨子ノ弟子ナリ
豊道生（ホウダウセイ）字ハ有生ト号ス明朝ノ学者
鳳翔（ホウシヤウ）字ハ羽皇桐村ト
号ス明朝ノ学者
布袋和尚（ホテイクワシヤウ）弥勒ノ化身トイヘリ
背ヲ一眼ヨリ衣ノ
袋ヲ着ヒ市ニ遊ブ那ヲ継ヒ
ヲ以テ字ス明ノ末ノ
定慧大師ヲ追贈ス
弗多羅（フツタラ）尊者 十六羅漢
ノ第八

辨圓（ベンエン）名ハ円尓聖一
遍昭（ヘンセウ）良岑宗貞ト名ク桓武帝
ノ子トナリ僧正ニ補セラル
寛平二年寂
小野篁（オノノタカムラ）名ハ岑別ニ号ス
小野道風（オノノトウフウ）名ハ毎世ニ
小野傳（オノデン）名ハ家教大法流ノ祖
又元ノ僧日本ニ帰化ス
田祿アリ名ハ妙圓建仁寺ニ住ス
(漢)扁鵲（ヘンジヤク）姓ハ秦名ハ越人
人ヲ医ス
卞莊子（ベンサウシ）力ノ人
卞和（ベンクワ）楚人和氏ノ玉ヲ山ノ下ニ獲テ
楚王ニ献ジ両足ヲ刖ラル

のち和氏ノ璧ト称ス
平原君（ヘイゲンクン）趙ノ恵王ノ弟
名ハ勝
宋元章（ソウゲンシヤウ）名ハ芾鹿門ト号ス海岳
外史襄陽漫士ノ称
あり宋ノ書家ニテ米友仁
父子元暉ト共ニ三米ノ
ト称ス
宋萬鍾（ソウバンセウ）字ハ仲詔友石ト号
明朝ノ書家
邕景昭（ヨウケイセウ）字ハ文進一名雪
明朝ノ画家
邉楚芳（ヘンソウ）又楚ノ祥ト代ル昭ノ
ヲ以テ画ヲヨクス
(天)平野（ヘイヤ）名ハ戒養
萍踪（ヘイセウ）名ハ九皐山石艇ト号
明ノ人

之部

豊坊（トヨクボウ）道生ノ子
豊坊亭尊（トヨクボウテイソン）天孫ト号ス
二代

豊石容命（トヨイハヒノミコト）　奇石容命と倶に太玉命のゆずりを
門をまもる人今の
矢大臣ぞ

舎人親王（トネリシンワウ）　天武帝の皇子なり
俊秀なり

葛井周八（フヂヰノコレヤ）　中ごろの白の男儒同
三司なりこの頃の人

葛篭茂（フヂノカツシゲ）　大内記
行人

葛惟成（フヂノコレナリ）　九中兵推官の男父伝の
校訂と行和給遺の撰者

葛文鄙麿（フヂノブンレイ）　従五位下加賀介兼
名義抄後尉と号

安永の比画海
内に行る

葛益道（フヂノエキダウ）　書は
名に

都良香（トリヤウキヤウ）　文章生対策及第
文徳実録を撰す

敏行（トシユキ）　按察使従五位下兼
伊勢介

俊頼（トシヨリ）　大納言経信卿の男
九条大夫と号

友則（トモノリ）　紀有朋の男
大内記古今撰者の内

知盛（トモモリ）　平清盛公の男新中納言
知章（トモアキラ）　紀氏の男母は一の谷の軍に討死して又女もあり
知忠（トモタダ）　仲二位中原師遠の女
敦仲の妾後和田義盛に

下手ながら和歌をよく
書り

常盤（トキハ）　源氏の男胡小呉王経
をはじめ漢平相国をせむる

時致（トキムネ）　河津三郎祐泰の男第
九工藤祐経を討ち朝
比奈と

富樫介（トガシノスケ）　利仁将軍の後裔加
賀一向宗城掠へ守護
安宅の関守となり義経の
東下の時通りあひ

富永若春（トミナガワカハル）　道明寺屋吉東
門人にて古風の
俳諧を好み名と称す三百万年
と

豊臣秀吉（トヨトミヒデヨシ）　尾州の人統一の
大業を成す

吉丸木下右衛門佐藤吉公　尾州の男幼名日
吉丸木下右衛門佐藤吉公と称す

鮮大明と和睦軍実白ふ公大谷刑
部と共に義を起し三成と不
和と称す

月十日巽乾を出大坂城に籠
城三成公に属し関ヶ原合戦
に敗北

徳大寺公維（トクダイジきみつな）　花山院流の名家
なり

大永中歳

土岐富景（トキトミカゲ）　従五位下美濃守
入道

東野州（トウヤシウ）　秋元氏、寛永の比能林
真門江戸本郷の内
尾州の別荘に
出家

東亭（トウテイ）　吐田氏名は鱗字は子徴
文次郎と称す

東江（トウカウ）　沢田氏名は
文次郎と称す

東里（トウリ）　名は公尊字は子高
俳名一文保二年寂

氏のごく用ゐる
法橋の位

等伯（トウハク）　長谷川氏久蔵と称す
この人画名中洛西の画家

等顔（トウセキ）　牧雲子と号す
画は居（ゐ）ながら別段に仕

等春（トウシュン）　俳諧前の人風文のある身
なり俳画もこの時よりはじまる

等本（トウホン）　風文を舟の
画にかく

徳元（トクゲン）　秋庭氏、寛永の比能林
真門江戸本郷の内
尾州の別荘に
出家

土岡（トコク）　才画
出家菊九と号す

鳥羽僧正（トバノソウジャウ）　名は覚猷
久安の人

頓阿（トンア）　若年出て世捨歌よみ
和歌の四天王と称せり
この連俳の人

十市遠忠（トヲチトヲタダ）　名は永禄元の俳日本帰
化一天竜寺の僧真泊中叙

鳥徘徊（トリカイ）　名は健易自得流の
立永中叙

鳥養良宗（トリカヒヨシムネ）　名は法照空一の法嗣三聖
寺の第二文永中叙

鳥山（トリヤマ）　名は至元の俳空一に従ひ
日本に来て福寺に住し

東州（トウシウ）　名は公尊字は子高
俳名一文保二年寂

浪花の一大宗
匠と称す

東陵（トウリョウ）　名は雲春東福流の
一時のそうくわん

鳥山芝（トリヤマシバ）　名は雲春東福流の
大夫と称し
俳名あり

鳥山松岳（トリヤマショウガク）　名は宗成字は世
章字は内と称す

東山（トウザン）　名は雲春東福流の
俳名あり

東庵（トウアン）　名は宗璧初め天竜寺然る
の後俳諧に入

東沼（トウセウ）　名は周曠相国流の
一家俳諧に入

持芳（ヂハウ）　名は雲春東福流の
出家石仏と改

独立（ドクリフ）　名は牡易和載氏名は立
字は昌玄明人

ドクヒ名ハ世卿 字ハ孫流
獨孤 書ヲヨクス
獨文 名ハ方炯 字ハ孫流
書ヲヨクス
ドクシウ 名ハ乾文 妙心寺の
獨秀 ヲル僧
トクジヤウ 名ハ壬麟 相玖ト書ス南ヲル
徳祥 後大竜寺の住僧頑学
トクラク
徳翁 名ハ宗頑 法名の人大法
寺狄翁の法嗣ヲル僧
ドンウ 字ハ周爰 変云の子
曇芳 画ヲヨクス
トウゼン
等禅 甫庵と号ス毎の一人
宋元の画法ヲ学ブ
トウサイ
等歳 九州の人ヲル牡山の僧ニ
ヲヨ毎の小人画ヲヨク
トウキ
等貴 書ヲヨクス
トクエン
(漢)東園 公 三岡山四皓の一人
漢恵帝ニ仕ス
トウバウサク
東方朔 字ハ曼倩 多の丈九尺
三寸歳星の化身トス

トウボク
杜牧 字ハ牧之 唐の僧人
トエン
杜衍 宋の仁宗の
時ノ宰相
トキン
杜董 字ハ言賓 青霞亭長と号ス
トファンジヨ
杜旻女 女ニシテ画ヲヨク
トファンホウ
都嬪豊 字ハ子年 浅の画家
ドウレヤウレイ
童曰齢 字ハ鹿遊 浅の書家
(天)ドンウンムサン
曇無讖 梁の時 智徳
チヨウ
丁 之部
チヤウキヨ
丈石 姓ハ川氏 千載堂
と号ス 伽林
チヨ
千代 女ニシテ書ヲヨク
千代 伽林
チヤクハウ
迂叟 浄福寺ニ住ス
(天)ヂヤウテウモン
定朝 浅水寺の別当康ヲルの次
男後一条帝の朝仏工ノ長

チヤウ
長兵衛 姓ヲ失ヒ浮長浅の人画
ヲヨクス
張僧 門中の人
チヤウヒヤウ
張瓢 名ハ永海 九兵の人ヲルヲ以
門の画家ニシテ和中ヲヨク
チクラク
竹翁 名ハ七貞 姓ハ永氏ト称ス
チクタン
竹探 秦氏名ハ包 忘憂堂豊
ト号ス夫婦画ヲヨク
チクアン
直庵 紹祥の子ニシテ我氏ノ人物
山水ヲヨク画ヲヨクス
二代目直庵 ヲヨク画ヲヨクス

チヤウハン
中方 名ハ正中 おまき寺の祖ヲル
チヤウアン
仲安 名ハ梵阿 姓ハ永楽の浮画ヲヨク
陳元贇 ヲヨク義都既白山人
と号ス明の亡命ノ人日
本ニ入テ尾名山ヲ
画ヲヨクス
長雅 水下氏 後
と称ス
チヤウガ
長雅 字ハ風月 長好門の
ヲヨク人

チヤウサン
中山 名ハ法顕 おまき寺の祖ヲル
後南禅寺小僧ヲル
チヤウガン
中巌 南禅寺の僧
拾遺の撰ヲル
チヤウガン
中岩 名ハ円月 正中年中元ヨリ
東陽坦輝の法嗣ニシテ
の後遊紀ヲ
チヤウヒヤウ
長兵衛 姓ヲ失ヒ浮長浅の人画
ヲヨクス
チヤウヒヤウ
長瓢 名ハ永海 九兵の人ヲルヲ以
門の画家ニシテ和中ヲヨク
チヤウラク
長楽 名ハ良房 後ニ
ヲヨク人
チヤウヒヤウ
長瓢子 木下氏 後
と称ス
チヤウガ
長雅 字ハ風月 長好門の
ヲヨク人

チヨウ
千葉 名ハ胤盛 後ニ
ヲヨク人
チヨウ
千葉成胤 ヲヨク画ヲヨク
チヨウフク
徐福 秦始皇ノ時日本ニ来リ
熊野ニ止ル秦姓ノ祖
ジヨフク
徐福 秦始皇ノ時日本ニ来リ
熊野ニ止ル秦姓ノ祖
チヨウゲン
陳元贇 ヲヨク義都既白山人
と号ス明の亡命ノ人日
本ニ入テ尾名山ヲ
画ヲヨクス
チヨウセツ
長雪 名ハ雅 後ニ
ヲヨク人
チヨウセツ
長雪 名ハ雅 後ニ
ヲヨク人

チヨウ
千葉 名ハ胤盛 後ニ
ヲヨク人
チヨウ
千葉成胤 ヲヨク画ヲヨク
チヨウカン
長観 名ハ法顕 おまき寺の祖ヲル
後南禅寺小僧ヲル
チヨウカン
長観 名ハ法顕 おまき寺の祖ヲル
後南禅寺小僧ヲル
チヨウカン
長観 名ハ法顕 おまき寺の祖ヲル
後南禅寺小僧ヲル

チヨウケイ
長慶 名ハ良房 後ニ
ヲヨク人
チヨウケイ
長慶 名ハ良房 後ニ
ヲヨク人
チヨウケイ
長慶 名ハ良房 後ニ
ヲヨク人

日本の画家
寿老の字

千庵 名は大緑初東福寺の僧天竜寺の住持永享中寂頑学

沈霖 名は良旭近江の人春屋の法嗣叡山に入後京に帰る

椿庭 名は海壽近江の人南禅流のる法嗣永享寂

凝元 名は大恵初白の嗣なり聖一の後叡山の平法燈玄の弟子となり延慶中寂一統の平法燈玄の弟子となり

智泉 名は円珍入唐の法天台の学なり貞観十四年十月廿九日寂七十八

智月 初名は孫なり別の人和気宅成の男名は円珍入唐の法天台の学なり貞観十四年十月廿九日寂七十八

丈草 大津の人俳句の名

(漢) 仲弓 姓は冉名は雍孔門徳行の科七十子の

張儀 縦横家宏文七年の時

張良 字は子房太公望の兵法を伝て漢王の師となりし智謀抜群の人功成て穀を遊赤松子の遊ぶに比せし三略を著す

張騫 漢武帝の時天河に至牛女二星を見

張仲景 名は機漢の長沙の太守経方に妙く傷寒雑病論を著し後古方の医家多く此人を祖とす

張飛 字は翼徳桃園の義結蜀の三傑の一人

張果老 甕中より紙驢を出し倏ち変じ唐玄宗に通ぜしと称

張芝 字は伯英漢の草聖と書法を学び出蓋の米芾

張友正 宋の人

張即之 字は温夫宋の人

張範 字は深甫孟嚞と号宋の人

張天錫 綿渓老人と号元の人

張鳳翼 明の人伯起

張献 字は徳嚞明の人

張瑞圖 字は無尽二水と号明の人

張靈 字は夢晋明の画家

張渙 字は文甫雲心と号明の画家

張龍章 明朝の画家

張路 平山と号明の画家

陳子昂 字は伯玉唐の詩人

陳老仇 字は希元宋の人

陳知柔 字は体二休斎居士と号天台山に在て安貧に乗て名区小庭を愛す

陳継儒 字は仲醇眉公と号明朝の画を善す

陳獻章 字は公甫白沙先生と号明朝の儒家

陳淳 字は道復白陽と号明の書家

陳洪綬 字は章侯老蓮と号明の画家

陳公甫 江村居士と号明の画家

陳子昇 字は濂仙と号明の画家

陳少逸 字は少和清の人

沈水巷に住す世に若水巷と称す

張旭 字は伯高呉の人大白につく顛なり草書を好酔時は自ら冠を墨に浸して書と云

張衡 字は平子後漢の時五経を属し又天文暦数に妙なり渾天儀を造る

張文成 名は鷟字は子厚号は艾軒名は軾扶溝の大儒

張子厚 名は載字は子厚号は横渠先生と称す

張南軒 名は栻字は敬夫朱文公と講学す

張平 字は孺子漢の相の功臣

陳思王 姓は曹名は植字は子建魏の武帝の三子天下の文章一石あって八斗を得たり又七歩の才と称す

張豫章 字は大奇亭清の人

張士甄 字は倫紫清の人

張公侯 立川と号清の人

張南垣 清朝の画家

張御來 字は篤公適園と号清の画家

張穆 鉄橋乃人と号清の画家

張適 字は嘉氏清の画家

張璐 字は路玉石頑と号清の医家

陳平 字は孺子漢の相の功臣

陳思王 姓は曹名は植字は子建魏の武帝の三子天下の文章一石あって八斗を得たり又七歩の才と称す

陳正卿（チンセイケイ）　清の士人と号
陳虞（チング）　字ハ雲翁止所と号ス
陳鳳占（チンホウセン）　林屋と号ス清人
陳東白（チントウハク）　名ハ斯清人ニシテ花鳥ヲ画ク
陳邦興（チンホウコウ）　字ハ承一雲濤と号ス清人ニシテ山水ヲ善クス
陳繹（チンエキ）　字ハ若冲又ハ若庵と号ス清ノ書家
陳賢（チンケン）　字ハ希二太玄道人と号ス清ノ画家
褚遂良（チョスイリョウ）　字ハ登善ト名ク文弘書隷書ヲ工ニス唐ノ宰相
褚献良（チョケンリョウ）　字ハ明世梅坡と号ス明ノ雲家
褚篆（チョテン）　字ハ蒼書　清ノ雲家

徐樹三（ジョジュサン）　清朝の画家
（天）智者大師（チシャダイシ）　陳隋二朝ノ雲ニシテ唐ノ天台山ニ住シ唐ノ貞観十七年止観ヲ著ハス同廿四日寂ス六十
智永（チエイ）　俗姓王氏右軍ノ遠孫名ハ法極陳ノ世永欽寺ニ住ス能ク草書ヲ善クス寿ハ八十ニシテ唐ノ貞観十一年ニ没ス
智果（チカ）　隋ノ世永興寺ニ居ル能ク草書ヲ善クス寿ハ百余歳ニシテ唐ノ貞観ノ初ニ没ス
智海（チカイ）　名ハ通と号ス清ノ雲僧
中峯（チュウホウ）　名ハ明本ー名ハ天目山ニ住ス元朝ノ雲僧
癡絶（チゼツ）　名ハ道沖宋ノ雲僧径山寺ニ住ス
智果（チカ）　隋ノ世永興寺ニ居ル能ク草書ヲ善クス寿ハ百余歳ニシテ唐ノ貞観ノ初ニ没ス
智海（チカイ）　名ハ通と号ス清ノ雲僧
中峯（チュウホウ）　名ハ明本ー名ハ天目山ニ住ス元朝ノ雲僧
癡絶（チゼツ）　名ハ道沖宋ノ雲僧径山寺ニ住ス
智永（チエイ）　俗姓王氏右軍ノ遠孫名ハ法極陳ノ世永欽寺ニ住ス能ク草書ヲ善クス寿ハ八十ニシテ唐ノ貞観十一年ニ没ス
智果（チカ）　隋ノ世永興寺ニ居ル能ク草書ヲ善クス寿ハ百余歳ニシテ唐ノ貞観ノ初ニ没ス

（天）智者大師（チシャダイシ）　陳隋二朝ノ雲ニシテ唐ノ天台山ニ住シ唐ノ貞観十七年止観ヲ著ハス同廿四日寂ス六十

徐樹三（ジョジュサン）　清朝の画家

柳公権（リュウコウケン）　唐文宗ノ詔ヲ恩ジテ沈ヲ化三歩ノ書ト称セラル又書法ヲ善クス
柳宗元（リュウソウゲン）　字ハ子厚唐ノ世文ヲ善クス名ハ書ニ著ハル
李斯（リシ）　楚人秦始皇ニ用ヒラレ趙高ト倶ニ天下ヲ乱シ帝ノ死ヲ秘シテ胡亥ヲ立テ二世皇帝ト為ス
李夫人（リフジン）　（意）李延年ノ妹漢武帝ノ寵妃傾国ノ美人
李密（リミツ）　隋ノ世牛ニ乗ツテ漢ニ入リ李ノ角ニ掛ケ後官ヲ挙ケシト称シ名ヲ挙ケシ人
李白（リハク）　名ハ翰字ハ太白青蓮居士と号ス唐ノ詩仙酒ヲ嗜ンデ謫セラレ後ニ世ニ出テ太白星ノ化身と称セラル
李道傳（リダウデン）　字ハ仲賁ト名ヲ改メ李延年ノ妹漢武帝ノ寵妃傾国ノ美人
李嘉祐（リカイウ）　字ハ従一唐ノ詩人

（千）

沈南蘋（チンナンヒン）　名ハ詮字ハ衡齋呉興ノ人画風一家ヲ成ス日本ノ人ハ風ヲ唐画ト称シ之ヲ宗ノ祖トス
沈周（チンシュウ）　字ハ啓南石田と号ス清ノ書家
徐昂（ジョガウ）　唐ノ世天文暦数ヲ善ク宣明暦ヲ作ル
徐光啓（ジョクワンケイ）　明朝ノ大臣天文暦数ヲ修メ西洋人ノ述ル所ノ崇禎暦ヲ和訳ス
徐中行（ジョチュウカウ）　字ハ子與天目山人と号ス明ノ詩人文名ノ四傑子ト号ス
徐昌穀（ジョショウコク）　字ハ子嘉と号ス明ノ雲家
徐有貞（ジョイウテイ）　字ハ元玄と号ス清ノ画家
徐嘉齢（ジョカレイ）　字ハ傳舟清人ニシテ篆刻ヲ善クス
徐誥武（ジョカウブ）　字ハ孟堅清ノ雲家

（千り）

注茶半託迦（チウダハンダカソンジャ）　十六阿漢ノ第十六
（り）之部
李欽（リキン）　若冲ノ画ヲ学ヒ名ノ人明ニシテ
李隆基（リリュウキ）　日蓮宗ノ信ヲ篤クス
李衎（リカン）　千氏名ハ中奥ノ人ニシテ竹ヲ画ヲ善クス
立圃（リフホ）　姓ハ計氏名ハ宇ハ立圃ト号ス
李嵩（リスウ）　字ハ巨山唐大暦十才子ノ内
李沙（リヒツ）　唐ノ玄宗ノ時七才子ヲ以テ称セラル
李淳風（リジュンフウ）　唐ノ世暦数ヲ善ク渾儀暦ヲ作ル
李延平（リエンヘイ）　名ハ侗字ハ愿仲延平ト称ス章門人ニシテ朱子ノ師ト為ル
李東垣（リトウエン）　名ハ果字ハ明之元朝ノ名医ト称セラル
李于鱗（リウリン）　名ハ攀龍滄溟と号ス明朝ノ詩家七才子ノ内
李昭玘（リセウキ）　字ハ成季ト宋朝ニ仕ヘシモノ
李建中（リケンチウ）　字ハ得中宋ノ雲家
李維楨（リイテイ）　字ハ本寧ト号ス明朝ノ雲家
李夢陽（リボウヤウ）　字ハ献吉ト号ス明朝ノ雲家
李東陽（リトウヤウ）　字ハ賓之西涯と号ス明朝ノ雲家

（り）

李執 字ハ卓吾 明朝の書家
李流芳 字ハ長蘅 明の画家
李陽海 逸と号 画ヲ善クス
李ハク 字ハ叔承 湘洲又長水居士と号 明の画家
李流芳 と号ス 明の画家
李用雲 字ハ大騰 隨庵と号ス 清朝ノ書ヲ善クス
李漁 字ハ公笠 笠翁 芥子園と号ス 清の著作家
李長燁 研齋と号ス 清の書家
李庚 字ハ長白 清の画家
李良佐 字ハ癡和 清の画家
呂不韋 秦荘襄王の妃か好通シ始皇帝ノ父ト人ノ
ヲシテ云ヒ呂氏ト云ヒ秩ハ
モヲ云フ

呂后 漢ノ祖ノ
皇后
呂馬童 漢ノ祖ノ
司馬
呂布 字ハ奉先 塞ヤ 弓術ノ人
呂洞賓 名ハ山岳 純陽子又回龍
ヲシテ又仙術ヲ
ヲシヘシム
呂蓋田 名ハ大臨 字ハ與叔 猥門
呂原明 名ハ希哲 猥門
呂祖謙 字ハ伯恭 東萊と号ス 原明の孫ニ乾淳三先
生ト称セラル 朱子ト三人ノ
呂氏宋ノ大儒
呂紀 字ハ廷振 明朝の
画家
驪姫 我国ノ女晋ノ献公ニ嫁シ
優シ 太子申生ノ母アリ

陸遜 字ハ伯言 呉ノ丞相
陸績 字ハ公紀 呉ノ人 幼ヨリ文ヲ善ス
陸士衡 名ハ機 身ノ丈七尺ヲ
超ヘ 文ヲ善ス 晋ノ人
陸士龍 名ハ雲 文ヲ善ス 晋ノ人
陸士静 名ハ九渕 象山と号ス 明朱子ト同時ニ学ヲ
講ジ
陸九齢 江西ノ二陸と称セラル
陸東之 唐ノ虞世南ノ甥
陸彦遠 東之ノ子 又ノ名ハ
陸游 字ハ務観 放翁と号ス 書ヲ善ス 兩ノ點滴琵琶
流水ヲ聴ク

(リ)

陸師道 字ハ子傳 元洲又五湖と号ス 明朝の画家
陸士仁 字ハ文規 沈湖と号ス 明朝の画家
陸包山 名ハ治 字ハ平叔 明朝の画家
陸冑 字ハ伯暘 友素と称セラル
陸鳴時 字ハ楷 清の画家
陸向 字ハ子政 後漢の人 説苑
列女傳ヲ著ス
劉伯倫 名ハ伶 晋ノ人 酒徳頌ヲ著ス
劉禹錫 字ハ夢得 唐ノ詩人
劉平叔 名ハ敬叔 詩ヲ善ス
凌廸 字ハ仲像 煮石と号ス 明朝の画家
臨濟慧照禅師下 受業の印可ヲ
受ケ唐ノ咸通七年四月十日寂ス

林希逸 字ハ肅翁 齋と号ス 宋の著作家 又老荘列ノ
口義ヲ著ス
林宏顕 洞陽山人と号ス 明朝の著作家
林脩 字ハ叔脩 明の画家
林良 字ハ以善 明の画家
林文卿 明の画家
林蔚然 字ハ環山 清ノ人
林宏遠 名ハ勛 摸卓山と号ス 明朝の書ヲ善ス
林和靖 名ハ逋 宋朝の君子ヲ
好ミ梅ヲ
妻トシ鶴ヲ
子トシ西湖
孤山ニ
隠ル

劉基 字ハ伯温 青田と号ス 明の画家
劉仲行 泰和の人 明の画家
劉瑜 字ハ尚美 西崖と号ス 明の画家
劉原起 字ハ子正 爽軒と号ス 明の画家
劉輝 字ハ温玉 餘力堂と号ス 清の画家
劉九徳 字ハ陽升 清の画家
梁武帝 姓ハ蕭 名ハ衍 字ハ叡達 位ヲ侯景ニ簒ハル
梁灝 宋の時年九十二ニシテ対策ニ名ヲ挙ゲ
梁有譽 字ハ公実 蘭汀と号ス 明の名人七才子ノ内
梁進 字ハ伯海 雲林厳と号ス 明朝の画家
林和靖 名ハ逋 宋朝の君子ヲ
好ミ梅ヲ
妻トシ鶴ヲ
子トシ西湖
孤山ニ
隠ル

龍猛菩薩（リュウモウボサツ）南天竺の人なり
龍智菩薩（リュウチボサツ）南天竺の人なり
龍樹大師（リュウジュ）西天竺の人なり

（漢）流支三藏（ルシサンザウ）北天竺の人なり

又之部

ル 之部

ヲ 英オ 之部

小野道風（オノノタウフウ）葛城の男名の下に子孫の社を出せり
小野篁（オノノタカムラ）岑守の男野相公と称す
小野宮（オノノミヤ）実頼公を称す
小町（コマチ）絵（ゑ）歌人（うたよみ）女の名の下に出せり
小野小町（オノノコマチ）仙人の女の名の下に出せり
小野道風（オノノタウフウ）葛城の男名の下に子孫の社を出せり
小野篁（オノノタカムラ）岑守の男野相公と称す
小野宮（オノノミヤ）実頼公を称す
小町（コマチ）絵（ゑ）歌人（うたよみ）女の名の下に出せり
小野小町（オノノコマチ）仙人の女の名の下に出せり
小栗（オグリ）判官（ハンガン）兼氏（カネウヂ）の名
小栗（オグリ）判官（ハンガン）兼氏（カネウヂ）の名
小栗（オグリ）判官（ハンガン）兼氏（カネウヂ）の名
小栗（オグリ）判官（ハンガン）兼氏（カネウヂ）の名

大西醉月（オホニシスイゲツ）　京の人　詩を玉蟾門人に画ばなを学ぶ

大田敦素（オホタトンソ）　名ハ質正淳と号ス　永作の儒家

大森玉川（オホモリギョクセン）　源秋と号ス　京の人　墨田川畔の家に門の家塾

大鹽数亀山（オホシホカウガヒ）　名ハ良宅ハ子龍なり　称して名の儒家

大枝流芳（オホエダリウハウ）　大坂の人　書を

大石道教（オホイシミチノリ）　三右衛門と称ス　京の士族

大石良雄（オホイシヨシヲ）　古赤穂藩の老臣　内蔵助と称ス　学を山鹿素行に学ぶ　亡君の仇討を計て泉岳寺に切腹

大高重明（オホタカキメイ）　字又は次郎左衛門と号ス　土佐藩の儒臣

大橋宇政（オホハシヤスマサ）　長左衛門と称ス　武官の史官格也　一流

大橋宗桂（オホハシソウケイ）　又ハ吉田宗悦と云　医ニ天正八年明史

大久保忠教（オホクボタダノリ）　名ハ彦左衛門と称ス　武功の墓　碑文

大磯虎（オホイソトラ）　㊛　名ハ政の遊女ニシテ　十二所神社に勧進帳を納ム

大内義隆（オホウチヨシタカ）　名ハ良興ト号ス　周防長門の大名　後ニ家臣陶晴賢ニ亡ボサレ又ハ公人ニテ天文中幸若舞ヲ学ビ　自ラ舞ヒ　又ハ作ル

大内熊耳（オホウチイウジ）　名ハ承裕字ハ子悌　忠左衛門と称ス　南部ノ人　儒医ニシテ　詩ヲ善クス

大畠春ト（オホハタケシュンボク）　名ハ利重　書ヲ善クス　号ハ　医ヲ

大内記（オホウチキ）　名ハ信敦　通称ハ　内記ヲ

大田道灌（オホタダウカン）　名ハ資長　入道シテ道灌ト称ス　扇谷家ノ老臣　持資ノ子　文明中　江戸城ヲ築ク

大橋重保（オホハシシゲヤス）　㊛　京ノ人　古今伝授ヲ受ケ　家桂ノ男　又ハ猶子ニシテ　家業ヲ継ギ　名ヲ重保ト改ム

大田資正（オホタスケマサ）　通称ハ　源六郎　入道シテ三楽斎ト号ス　上杉憲政ニ仕ヘ　後ニ北条氏康ニ降ル

大久保忠世（オホクボタダヨ）　名ハ　新八郎　相模ノ人　父子　兄弟　皆勇ヲ以テ　徳川家ニ仕フ

大内義隆（オホウチヨシタカ）　名ハ　良興ト号ス　周防長門ノ大名　後ニ家臣陶晴賢ニ亡ボサレ　又ハ公人ニテ　天文中　幸若舞ヲ学ビ　自ラ舞ヒ　又ハ作ル

大内熊耳（オホウチイウジ）　名ハ承裕字ハ子悌　忠左衛門と称ス　南部ノ人　儒医ニシテ　詩ヲ善クス

大畠春ト（オホハタケシュンボク）　名ハ利重　書ヲ善クス　号ハ　医ヲ

織田常眞（オタジヤウシン）　伝ハ左の次男　内府信雄ニ仕ヘ　寛永七年

織田道八（オダダウハチ）　名ハ有楽　信長ノ弟　信雄ニ仕ヘ　後ニ京ニ於テ茶ヲ点ス　号ハ　有楽ノ次男　祝髪

織田道八（オダダウハチ）　名ハ有楽　信長ノ弟　信雄ニ仕ヘ　後ニ京ニ於テ茶ヲ点ス　号ハ　有楽ノ次男　祝髪

織田有楽（オダウラク）　信長ノ弟　長益乃其初ト号ス　利純ノ人ニテ宗

織田信長（オダノブナガ）　信長公　男上信忠ノ男　秀信ノ子　秀雄ノ孫　秀信ノ子　秀雄ノ孫

織田信長（オダノブナガ）　信長公　男上信忠ノ男

王子猷（ワウシユユウ）名ハ徽之（キシ）子猷ハ字（アザナ）ナリ羲之（ギシ）ノ子名ハ徽之ノ風流ニシテ竹ヲ愛セシ事ハ筆侍ノ條ニ見ユ

（漢）王倪（ワウゲイ）字ハ君明（クンメイ）本王公ノ号ナリ天文地ノ人物ヲ花言ニ譬ヘ天地人男子女ヲ偶ヘ説ク者ニシテ堯ノ師ト仰ガレシ者ナリ

王子喬（シケウ）周ノ霊王ノ太子ニシテ名ハ晋好ンデ笙ヲ吹ク仙術ヲ得テ白鶴ニ乗ジ緱氏山ニ遊ブ

王質（シツ）石室山ニ入リテ仙人ノ囲碁ヲ観ル間ニ持ル所ノ斧ノ柄腐ルヲ覚ル者ナリ

王陵（リヨウ）子母ヲ救ヒ漢ヲ興ス仕ヘシ事ニ忠ノ功アリ

王莽（マウ）字ハ巨君（キヨクン）漢ノ天下ヲ簒ヒ帝位ニ即ク事ニ十年ニシテ光武帝ニ亡ボサル

王昭君（セウクン）漢元帝ノ宮女匈奴ノ嫁ニ馬上ニテ琵琶ヲ弾ジテ父母ノ国ヲ遥ニ見ル事ヲ詠ジ又明君ト帝ノ命名ヲ遂ル事ヲ云

王允（ヰン）字ハ仲治（チウヂ）漢ノ人

王粛（シユク）字ハ子雅（シガ）魏ノ人

王粛（シユク）字ハ恭敬（キヨウケイ）魏ノ人

王弼（ヒツ）字ハ輔嗣（ホシ）魏ノ人

王祥（シヤウ）字ハ休徴（キウチヨウ）晋ノ人

王戎（ジウ）字ハ濬仲（シユンチウ）晋ノ七賢ノ一ナリ

王羲之（ギシ）字ハ逸少（イツセウ）故ニ右軍ト呼ブ

王子敬（ケイ）字ハ献之（ケンシ）羲之ノ子名ハ徽之ノ風流ニシテ竹ヲ愛セシ事ハ筆侍ノ條ニ見ユ

王献之（ケンシ）羲之ノ子ニシテ父ニ劣ラズ書ヲ善クス

王通（トウ）隋ノ時一家ノ学ヲ以テ門人ヲ教ユ儀礼ヲ画ク事ハ文中子ヲ述ル條ニ見ユ

王氷（ヒヨウ）字ハ叔冷（シユクレイ）好ンデ玄学ヲ談ジ素談ニ通ズ

王維（ヰ）字ハ摩詰（マキツ）画ヲ善クス唐ノ人

王昌齢（シヤウレイ）字ハ少伯（セウハク）唐ノ人

王勃（ボツ）字ハ子安（シアン）文中子ノ孫ニシテ唐ノ人

王邵（セウ）字ハ君懋（クンボウ）勃ノ従弟ニシテ文中子ノ門人

王安石（アンセキ）字ハ介甫（カイホ）宋ノ人

王柏（ハク）字ハ会之（クワイシ）宋ノ人

王応麟（ワウオウリン）字ハ伯厚（ハクコウ）宋人

王立（リフ）明ノ画家

王乾（ケン）字ハ一清（イツセイ）天台峯ト号ス明ノ画家

王世祥（セイシヤウ）戴文進（タイブンシン）ト云ヘル明ノ画家ヲ善クス婿ト画家

王武（ブ）字ハ勤中（キンチウ）文学ヲ以テ明ノ人ヲ画ク

王緒祖（ショソ）字ハ謎之（メイシ）清朝ノ画家

王毓賢（イクケン）字ハ星聚（セイシユ）清朝ノ画家

王清叔（セイシユク）醒庵ト号ス清ノ乾ノ中ノ進士ナリ

王士禛（シシン）字ハ阮亭（ゲンテイ）漁洋ト号ス清ノ画家

王任治（ジンチ）字ハ乳錫（ニウシヤク）永齋ト号ス清ノ画家

王震（シン）一名元震（ゲンシン）字ハ大臯（タイカウ）穉文ト号ス清ノ画家

王従（ジユウ）字ハ紙姑（シコ）灌齋ト号ス清朝ノ画ヲ善ク

王粛（シユク）字ハ敬美（ケイビ）麟洲（リンシウ）抜秋（バツシウ）ト号ス明ノ画家

王世懋（セイボウ）字ハ敬美（ケイビ）号ハ麟洲（リンシウ）抜秋（バツシウ）ト号ス明ノ画家

王一龍（イツリユウ）字ハ履二（リジ）後履吉（リキチ）雅宣山（ガセンザン）人ト号ス明朝ノ画家

王穀祥（コクシヤウ）字ハ禄之（ロクシ）号ハ酉室（イウシツ）ト号ス明朝ノ画ヲ善ク

王力（リキ）字ハ幼學（ヨウガク）慈湖（ジコ）ト号ス清人書ヲ善ク

王安中（アンチウ）字ハ履道（リダウ）ト号ス清人書ヲ善ク

王都中（トチウ）字ハ元恕（ゲンジヨ）元朗（ゲンラウ）ノ従弟ニシテ文中子ノ門人

王淵（エン）字ハ文治（ブンチ）元ノ画家

王陽明（ヤウメイ）名ハ守仁（シユジン）字ハ伯安（ハクアン）明朝ノ儒家ニシテ書ヲ善ク

王鏊（ガウ）字ハ濟之（セイシ）号ハ守溪（シユケイ）ト号ス明朝ノ画家

王登（トウ）字ハ百穀（ヒヤクコク）青羊（セイヤウ）ト号ス明朝ノ画家

王世貞（セイテイ）字ハ元美（ゲンビ）弇州（エンシウ）ト号ス明朝ノ画家

王世懋（セイボウ）字ハ敬美（ケイビ）麟洲（リンシウ）抜秋（バツシウ）ト号ス明朝ノ画家

王一龍（イツリユウ）字ハ履二（リジ）後履吉（リキチ）雅宣山（ガセンザン）人ト号ス明朝ノ画家

王穀祥（コクシヤウ）字ハ禄之（ロクシ）号ハ酉室（イウシツ）ト号ス明朝ノ画ヲ善ク

王楊烈（ヤウレツ）字ハ幻學（ゲンガク）清人書ヲ善ク

王遠昌（エンシヤウ）字ハ世七（セイシチ）清人ニシテ書ヲ善クス

王蘆洲（ロシウ）名ハ晋（シン）清人ニシテ書ヲ善ク洲ノ字音義未詳

王克寛（コククワン）環谷（クワンコク）ト号ス明朝通鑑綱目考異ヲ著ス

汪道昆（ダウコン）字ハ伯玉（ハクギヨク）一ノ字ハ南溟（ナンメイ）又大函（タイカン）ト号ス明ノ画家

王肇（テウ）字ハ徳初（トクシヨ）海雲（カイウン）ト号ス明ノ画家

王晋徴（シンチヨウ）字ハ函齋（カンサイ）清ノ画家

王鵬（ボウ）字ハ宗翮（シユウカク）竹里（チクリ）ト号ス清人画ヲ善ク

汪旭（キヨク）半酣居士（ハンカンキヨシ）又光雲亭堂（クワウンテイダウ）ト号ス清ノ画家

汪繩武（ジヨウブ）名ハ永（エイ）号ハ泌齋（ヒサイ）清人ニシテ花鳥ヲ画ク

力之部

カシコネノミコト
惶根尊 天孫降臨の時に供奉した神

カグツチノミコト
軻遇突智命 火産霊と称す 天照大神の母

葛原親王 カツラバラノシンワウ 桓武帝の皇子 世に孫王と称す

ナガヲカノミカド
葛城王 美努王の子 母は縣犬養三千代 井手の花大臣と号す 天平宝字元年薨 ㊀

鎌足 カマタリ 中臣の人 文祖仕え侍るの初めなり 天智天皇の大織冠を賜わり藤原と改む 系は大織冠の條に詳かなり

藤会右大臣 フヂノヘノウダイジン 南家の祖 夫大納言実綱

々和多の村に居しより姓の称とす 暁鶴岳にて二王を殺す

鎌田政清 カマダノマサキヨ 源義朝の家臣

菅原相参 参河是なり 乃ち菅原の姓名 乃ち字ハ三文字なり 後天満大自在天神と号す

菅原淳茂 菅家の祖 男なり 文章博士なる名

菅野雄規 菅野氏 男なり 孫山蔭も従五位下なる

菅原幾 菅野氏 男なり 大学少允なる

菅三品 菅原氏 男なり 式部大輔文時と称す 従三位なる名

菅野忠臣 菅野氏 男なり 大内記 従三位なる名

菅野真道 菅野氏 男なり 大納言 従二位なる名

菅野高継 菅野氏 男なり 大納言 従二位なる名

菅野真澄 菅野氏 男なり 大納言 従二位なる名

菅野高年 菅野氏 男なり 大納言 従二位なる名

菅野高世 菅野氏 男なり 大納言 従二位なる名

菅野高名 菅野氏 男なり 大納言 従二

片桐宗実　石見守貞正と称　茶山若辺門人家
乃一叔也小石川流と為　近室
久年十月二日卒年六十
助と称　法名宗源と称

片倉八十郎　姫路の士　名は世璠字は仲寶
宇山孟明　名は孝と称　通称喜傳次

亀井右馬　金沢の士　軍学の
亀家　法号祝院義室の
実人遠不遠詳ならず
也通俗一称

柏木左馬　源氏の
薫大将　源氏の
覚明　俗称義人通度七郎右
字は伯と称　西宗流佐

叔と称　本号武仲号淡斎
場と称　文学の近人なり

鴨長明　風流多人なり
賀茂註平　二六流の
賀茂眞淵　号は清士と称
字は通称

加藤良齋　名は久清と称
加藤盤齋　号は
加藤一友　名は
桂秋齋　名は

古風を慕ふ
古学を学ぶ
宝暦中没

桂川甫周　名は国瑞　号は
行風　号は白堂　号は浪速の
葛西應禎　名は
貝原篤信　名は
貝原好古　名は
甲斐德本　永田氏甲州の
香川宣阿　物月堂と称　医
狩野伊信　名は
狩野周信　名は
狩野常信　名は
狩野探幽　名は
狩野永徳　名は
狩野永納　名は
狩野山楽　名は

(カレジン)
貝金眞 姓八淳干 辰旦 安中寿の
伯俗天平勝宝三年日
女浮雅宇称
ひろむ

カノハン
賞鏡 祀おの人平初の頃乱
康治二年十月十二日
叙四千九 永福中奥教大師
と追号
カクシン
賞修尼 又八親寛多母八日光
庵縦々の女まも別
寺の家山
しょう

カクベン
賞恵 禅宗のう俗本香湯
カクヨウソウ
賞養 俗名八岡山雲寺の開山
一条院つかえ
近侍尚通公の
男ふて出家
名ハ了

カクベン
賞沙 海雲堂と号
う俗の僧

カクバツ
賞大師 俗姓八佐伯氏
う法大師 名ハ空海入唐の僧

う寺山今創基寺号を宇治拾
小納言 嘉和二年二月廿二日叙
六十一 位参ら給へども
世を遁れいろはのまなび
カウケンソウサン
う智法師 弥勒仏の出世を待
カウホウ
う山の傘 名ハ影目う法俄帝の
う山の傘 名ハ空海入唐の僧

寛山西和
寺中叙

カウセン
う泉 名ハ牡蠣売
流のう俗

カウアン
う庵 名ハ芝五東福流
のう俗

カセイ
河清 名ハ祖剛姓紀流の
う俗

カフク
可竜 名ハ宗俗頂をふかて
画をよくも

カセキ
可頂石 迎也浄家の
名ハ宗祇破沙盆と号
カワイ
河陽 就ての人大江流のう

カンケイ
瀾渓 う俗 名ハ周
ガクサン
鄂陽 名ハ琴 宋末
て竜流のう
名永中叙

(漢)
カウサイ
高仲 名ハ宗
う俗 天文中叙

ガクヨウヨ
娥皇女英 帝尭の二女
虞舜の妃や
う泉 名ハ宗泉州心流の
う俗 天文中叙

カノウ
夏禹王 夏十七世の帝也名ハ
願癸をろおして
民を苦め殷の湯王ハ
滅さる

カノウオウ
夏黄公 商山四皓の一人
漢恵帝を佐く

カククン
高覲 赤魏の人性淡泊にて
栄を好まず変化神のごと
カウタイコウ
高太后 宋英宗の后陝西
甘中の産海と称
カウテイレイ
高廷礼 宇ハ伯恭月人
カウシカウ
高士彩 宇ハ楚之白儒居と
カウヘイキン
高秉鈞 宇ハ補皇よく
花をを画て

カウカン
高乾 宇ハ其昌浮庵と号
カウキキ
高鈞 霽亭と号
多木を画

カンヒン
韓斌子 韓ほの公子荊名
一家のうをとる
カンシン
韓信 市人の股を潜て能く
漢る功に従ひ一王の王
ふ封ぜらる後
呂后ふ滅さる

カンタイセ
韓退之 名ハ愈唐の白居易
同時文学ふ名

カ

カノウエイ
狩野永納 名ハ宗玩慣号子又伸
永納中叙

カノウ
狩野 名ハ宗元と号泉石堺の人春
屋の法嗣
寛永年中叙

カウセツ
江雪 名ハ宗元と号泉石堺の人春
屋の法嗣
寛永年中叙

カウシ
孔子 名ハ丘字ハ仲尼魯の人
孔門の聖
孔子の孫
子思 名ハ伋
孔子の孫
孟子 名ハ軻
孔子の孫
子思の門人

カウゲン
皇元 名ハ永和
宋末元初の人

カウイ
皇以 宇ハ立徳房と号男山の
社僧也と云
カウシン
功叔 名ハ仲兼 一条院つかえ
近侍尚通公の
男ふて出家
カウリウ
幸龍 名ハ永慶 永禄天正の
カウサツ
耕宴 名ハ利休道
カウキュウ
剋中 名ハ宗二 千家宗旦の利休道
名ハ宗二 千家宗旦の利休道

カチャウ
夏昌永 字ハ仲昭
カダイテイ
夏大貞 字ハ吉庵
清の画家
ガンテン
顔潤 名ハ回孔門の亜聖せり
歳ありて白髪ありて卒
ガンシコ
顔師古 名ハ子籍唐の世
前漢出名を
ガンロ
顔魯公 名ハ真卿出名を
ふるふて
ガンキ
顔輝 字ハ秋月
元の画家
ガントクキ
顔徳輝 字ハ仲璞
元の画家
ガンカウメウ
顔耕道 林泉野老と称
元の画家
カウサイ
高崇 字ハ子羔孔門
カウリキシ
高力士 唐玄宗の
辟臣
カウテキ
高適 字ハ達夫
唐の詩人

韓忠彦（カンチュウゲン）宋徽宗の賢相
韓侂胄（カンタクチュウ）宋胡十七章改を執政を務めるカンショウジョ
韓秀実（カンシュウジツ）明朝の画家
漢高祖（カンコウソ）姓は劉名邦字は季楚の項羽と天下を争い竟に一統の功をカノウテイ
漢武帝（カンブテイ）名は徹在世の帝
楽毅（ガクキ）趙の国の軍師望諸君とボウショクン
楽正子（ガクセイシ）名は春孟子の門人よく孟子の学を伝えたりと
葛洪（カッコウ）字は稚川後漢の鄭玄の孫にして法術を好みカツイクセン
抱朴子を著す
葛由仙人（カツイウセンニン）未詳

何晏（カアン）魏の人字は平叔夏侯玄等と談論を事とし
論語集解を著す
何承天（カジョウテン）劉宋の時天文家元嘉暦をつくる
何尚之（カショウシ）字は子平廬州の人号は栄期
何中（カチュウ）字は大虚元の画家
何尚福（カショウフク）明の画家
何景明（カケイメイ）字は仲默大復と号明の詩家
耳石（カンセキ）名は徳齊人
奚飛（ケイヒ）宋の良臣字は勝挙と称
幼にして人秦檜帝の詔と偽り獄に下し殺せり
賀葉（ガヨウ）字は遐人逸明唐のころの人

賀知章（ガチショウ）字は季真会稽の人若くして詩
文をよくし
賈誼（カギ）漢文帝の時長沙王の太傅に左遷せらるるも
賈島（カトウ）字は浪仙唐人初僧となり
韓退之の教を受けて文筆を以て名あり
加藤清正（カトウキヨマサ）豊太閤の時朝鮮を征伐し
又文禄慶長の役に
功あり
好忠（ヨシタダ）名は曾禰氏丹後掾
能宣（ヨシノブ）大中臣氏神祇基の男後撰集撰者の内
義孝（ヨシタカ）従五位の男容貌のおよび
義家（ヨシイエ）源経信の男八幡太郎と称し
陸奥守として奥州の逆人
安倍氏を討ち
義朝（ヨシトモ）為義の男にして源氏長田
庄にて殺されり
義経（ヨシツネ）為朝の孫男牛若丸と
云て平家を
亡し大功を立又奥州にて
果ぬ義経と称
寒山（カンザン）拾得（ジットク）散聖二人の名文
殊普賢の変化

戒賢（カイケン）論師大乗小乗
戒賢（カイケン）名は戒賢
可一（カイチ）名は照遠寄山と号
加藤（カトウ）姓は清正肥後の人
加藤（カトウ）姓は嘉明天皇敏達帝の皇子
加藤（カトウ）姓は清正肥後の人

良基（ヨシモト）二条関白従一位
良基（ヨシモト）名は照遠寄山と号
吉田（ヨシダ）神道家
吉田（ヨシダ）名は兼倶
吉田（ヨシダ）名は一味斎
吉野（ヨシノ）名は雅定
吉村（ヨシムラ）名は周山
吉益（ヨシマス）名は東洞
吉村（ヨシムラ）名は恒益
吉野（ヨシノ）名は秀業

(漢)豫譲 晋の智伯の臣にして人の仇趙襄子を討んねるために漆ぱ厠の壁を塗て乞食に変じ厠を過るに襄子を殺さんとし近付んとするに襄子を怪り何ぞ汝一人にて多人を殺さんとするに豫曰天下に義士を殺さんと欲す

余綾 字ハ天心青陽と号 元朝史をよくせし画家

(足)呉昌碩 名ハ俊卿 昌碩ハ字なり清の徴士

夕之部

手力雄命 思兼命の子 天石戸開山祖

湍津姫 素盞嗚尊の妻

田心姫 素盞嗚尊の女

天照姫 大王平命の妃 下照姫ハ命の祖母

(タ)

多田家菊 源氏の家人 多田満仲の孫

武内宿禰 孝元帝の皇子 長寿の人 仕ること五朝 紀氏の祖

(タ)

多田満仲 源氏の人 多田家菊の子

多田行綱 満仲の孫 大夫時忠入乃法 性院第山甲冑を仗一命を助 多田家の菊の良将を男 男弱くして天文年中甲州の目山にて

竹田定加 名ハ姫 良医なり

竹田近江 源氏の人 竹田定加の子

竹本俳優 浄瑠璃操芝居の元祖

(タ)

多田満仲 源氏の人 多田家の菊の子

多田頼光 満仲の子 摂津守 刑部お酒呑童子を征伐 後世頼光四天王と称す

(タ)

多田行綱 満仲の孫 頼光の子 摂津守 平家の侍大将 性質を傷 平家の祖なり

(タ)

武甕槌命 建御雷命 日本武尊征討の時 海上を鎮 国譲の時 大国主命に迫る

醍醐天皇 宇多帝の皇子 十七代延喜の帝と尊 延喜の治と称す

田原天皇 光仁帝の皇子 桓武帝の父 皇后井上内親王を廃して皇后の位を奪 皇子他戸親王を廃して太子の位を奪 母子共に幽死す

当麻蹶速 垂仁帝の時 力の強きを以て名あり

平貞文 好色の人

平清盛 太政大臣 入道して浄海と号

(タ)

田村麿 坂上氏 延暦の征夷大将軍 蝦夷を征伐

田達音 忠臣 の裔 琴の名人

田原秀郷 俵藤太 将門を誅す

多田満仲 源氏の人 多田家の祖

多田忠重 桂林寺と称

(タ)

平貞文 好色の人

平清盛 太政大臣 入道して浄海と号

(タ)

当麻蹶速 垂仁帝の時 力の強きを以て名あり 野見宿禰と角力の始 負をとる

滝口入道 横笛を恋 出家 高野に住

滝口時頼 斯波氏の祖 高野に住

滝口横笛 滝口入道を恋 出家

滝口道弘 滝口入道の子 文学文筆共に人に勝る

滝口宿禰 孝元帝の皇子 武内宿禰の子

滝口邦武 後に改名 探山門 人相家の画を善くす 刑部の画行

滝口吉良 源氏の人 大夫時忠入乃法 性院第山甲冑を仗一命を助 多田家の菊の良将を男 男弱くして天文年中甲州の目山にて

竹田定加 名ハ姫 良医なり

竹田近江 源氏の人 竹田定加の子

竹本俳優 浄瑠璃操芝居の元祖

(タ)

為家 藤原氏 冷泉家の祖 歌人

為憲 源氏の人 刑部お酒呑童子を征伐 後世頼光四天王と称す

為雅 藤原氏 為家の子 歌人

為頼 源氏の人 為憲の子 刑部お酒呑童子を征伐 後世頼光四天王と称す

為朝 源氏の人 為義の子 鎮西八郎と称す 伊豆大島に流され 後に自害

(タ)

多田家菊 源氏の家人 多田満仲の孫

醍醐天皇 宇多帝の皇子 十七代延喜の帝と尊 延喜の治と称す

田原天皇 光仁帝の皇子 桓武帝の父 皇后井上内親王を廃して皇后の位を奪 皇子他戸親王を廃して太子の位を奪 母子共に幽死す

当麻蹶速 垂仁帝の時 力の強きを以て名あり 野見宿禰と角力の始 負をとる

田村麿 坂上氏 延暦の征夷大将軍 蝦夷を征伐

田達音 忠臣 の裔 琴の名人

田原秀郷 俵藤太 将門を誅す

多田満仲 源氏の人 多田家の祖

多田忠重 桂林寺と称

(タ)

平貞文 好色の人

平清盛 太政大臣 入道して浄海と号

(タ)

当麻蹶速 垂仁帝の時 力の強きを以て名あり 野見宿禰と角力の始 負をとる

滝口入道 横笛を恋 出家 高野に住

滝口時頼 斯波氏の祖 高野に住

滝口横笛 滝口入道を恋 出家

滝口道弘 滝口入道の子 文学文筆共に人に勝る

滝口宿禰 孝元帝の皇子 武内宿禰の子

滝口邦武 後に改名 探山門 人相家の画を善くす 刑部の画行

滝口吉良 源氏の人 大夫時忠入乃法 性院第山甲冑を仗一命を助 多田家の菊の良将を男 男弱くして天文年中甲州の目山にて

竹田定加 名ハ姫 良医なり

竹田近江 源氏の人 竹田定加の子

竹本俳優 浄瑠璃操芝居の元祖

(タ)

為家 藤原氏 冷泉家の祖 歌人

為憲 源氏の人 刑部お酒呑童子を征伐 後世頼光四天王と称す

為雅 藤原氏 為家の子 歌人

為頼 源氏の人 為憲の子 刑部お酒呑童子を征伐 後世頼光四天王と称す

為朝 源氏の人 為義の子 鎮西八郎と称す 伊豆大島に流され 後に自害

の附立別大綱ホ
流ス

タキヤウ 滝世尺 二條大納言
タキヤウ 為之ノ 上京染物大納言
タカナ 高名 加賀田口流紀州波
タカミ 高考 壬生と北土えた郷の男
タカミ 高見 忠岑の男摂津守同
タカノリ 高度 又ゴ条の男摂津守
タカミツ 高光 平安城門人風流多人
タカヤス 高保 為家卿浦云の一男子位
タカヨシ 高義 なれ法名如実と号ス人
タカヒサ 高久 高見 孫祖徠門人
儒家
タカクケイホ 高久敬甫 竹堂秋法眼牧谷
門の画家室一ノ中波

ジヨウ 大成 名照漢文孫流
タクアン 澤庵 名宗彭但馬の人宣之
又東海寺を開き号大徹
但州有馬寺に於て一頃住寺
号ス享保二年十二月十日寂七十三
タクホク 卓爾 書家の僧探幽門人
画をよくス
タツキ 妲己 (支) 蘇護の女殷紂王
の妃と妖世ホ九尾ノ狐
の舊狐変ホ殷ヲ紂王を惑
日本ニ来て玉藻前と号ホ
タイコウボウ 大公望 姓ハ呂名尚渭濱ヨ
釣ヲ垂レ文王ヲ
待ヲ以テ聞ヘ周武王ヨ
ヲ師トシ殷ヲ亡シ天下ヲ周ノ
封ヲ受ル
タツトウ 盜蹠 蹠ハ堯帝の時の大盜の
名ヲ魯ノ大夫柳下惠ノ
弟ナルヲ以テ世ニ
ヒカクシテ云フ

ダイブンシン 戴文進 靜庵又玉泉ト号ス明ノ画家
タイメイヨウ 戴明說 當麻ノ画家
タウセイビ 唐世美 月樓ト号ス
元ノ画家
タウイン 唐寅 字ハ伯虎六如居士ト号ス
明ノ画家
タウケン 湯垕 字ハ子厚ト号ス元ノ画家
ダンセイキ 段成式 字ハ柯古唐人博学強記
ダシ 脫脫 西陽雜俎を著ス
字ハ大用元朝中名右丞相
ト為リテ大学士ヲ兼ヌ
宋史遼史金史
ヲ撰ス

タクソウ 卓宗 字ハ仁甫遠藤ト号
ダウカイ 道開 (月) 名元慶寺の僧
ダウクウ 道空 徑山寺の画家

タイヨウ 玉藻前 近衛院の御女御ニ
化ノ狐ノ変ジテ殷ノ妲
己ノ如ク天竺ノ波羅奈
王ヲ惑シ終ニ下大ヲ行ル愚ガ
如キ者ヲ云
タマカツラ 玉葛 歌ヲ以テ名ヲ顯ス
タマキ 玉置香道 江府ノ吏官ニテ
俗ニ一流ヲ起ス下大ヲ行ル愚ガ
タマキ 玉木 祖父高井氏名ハ仲賢與五
タマキ 玉井持軍 名ハ守住加助ト称
タマキ 玉巻 (支) 江戸名家中方字屋
の菓子ノ名ヲ云フ
タイキヨク 大極 二間尺ノ仲ノ如
タイゲン 大玄 名ハ心長ト号ス
タイシ 大志 孫祖徠門人
儒家
タカクケイホ 竹堂秋法眼牧谷
門ノ画家室一ノ中波

タイヨウ 探幽 狩野安信ノ子
タク 大祇 俳諧
ダイスイ 閙水 俳諧
タイゲンキヨ 泰元居 名ハ守信ト称ス
タイシヨウ 大象 名ハ守住加助ト称
タイシヨウ 大象 孫祖徠門人
タイホウ 大峰 名ハ守住加助ト称
タイメイ 大明 名ハ守住加助ト称
タイヨウ 太陽 名ハ守住加助ト称
タイヨウ 太陽 名ハ守住加助ト称
**タイヨウ 太陽

靈源（レイゲン）　名ハ海脈英傑流ノ頂相ヲ畫ク

了庵（レウアン）　名ハ桂梧ニモ稱ス流ノ名僧又元祖ノ像ヲ圖名ハリ名ハ伊年法橋ノ人物ヲ畫ク

漢列子（カンレツシ）　名ハ禦寇ト稱ス虛堂ニ於テ唐ノ時ノ虛眞人ト諡ス莊ノ書ヲ著ス

鹿食縣（ロクサツケン）　家貧ニシテ書ヲ讀ミ漢ノ相ト爲リ功アリ軍中數ヲ知ル一書ヲ著ス

靈照女（レイセウヂヨ）　魔居士ノ女常ニ行ノ淵ヲ稱ス

令狐德棻（レイコトクフン）　名ハ德棻ト稱ス唐ノ史ヲ撰ス後周ノ書ヲ編ス

廉頗（レンパ）　藺相如ト刎頸ノ交ヲ結ビ後ニ和ス

廉布（レンフ）　字ハ宣仲射伏光農ト號ス元ノ人

宗泉（ソウセン）　清ノ次氏松泉ト號ス畫家

宗祐（ソウイウ）　名ハ桂梧ニモ稱ス流ノ名僧又元祖ノ像ヲ圖名ハリ

宗達（ソウタツ）　名ハ伊年法橋ノ人畫風一家

宗碩（ソウセキ）　宗祇ノ門人月村齋ト號ス連歌ノ達人

宗長（ソウチヤウ）　陸奥ノ人宗祇ノ門ニ學ビ連歌ヲ能クス

宗牧（ソウボク）　紹巴ノ門人連歌ヲ能クス

宗養（ソウヤウ）　宗牧ノ門人連歌ヲ能クス

宗珠（ソウシユ）　姓ハ永貞俗ノ名ハ孫次郎ト稱ス

宗珠ハ成ヲ宗悟ト改ム

宗悟　土宮ト稱ス紹巴ノ門人連歌ヲ能クス

存義（ゾンギ）　馬場氏有竹庵紀門ト稱ス

素月（ソゲツ）　姓ハ井氏名ハ元景字ハ素福西湖ト號ス畫ヲ善ク

世ノ評判ヲ聞テ鉦ヲ打ツ坂氏波龍鱗ノ如シト稱ス七十餘ニシテ近年沒ス今人名ヲ利ニ及ルヲ以テ存義素月ヲ逃ル士乃遺ス所ナリ鉦ヲ打ツヲ世ノ伯父ヲ男ノ井永吉若州小濱藩ノ在田良庵門人ニテ印判ヲ善ク素ト遍照俗ノ時ノ子ニテ近ノ文ヲ能ク

尊敎（ソンキヤウ）　楊梅阿闍梨ト稱ス

尊圓（ソンエン）　入道親王ト稱ス

大宰帥（ダイサイノソチ）　名ハ敦實親王ト稱ス

大宰權帥（ダイサイゴンノソチ）　名ハ經平ト稱ス

大宰大貳（ダイサイノダイニ）　名ハ高遠ト稱ス

大宰少貳（ダイサイノセウニ）　名ハ資業ト稱ス

大宰府（ダイサイフ）　筑紫ニ在リ

大宰權帥（ダイサイゴンノソチ）　名ハ經平ト稱ス

大雅堂（タイガダウ）　名ハ玄賞字ハ公敏ト號ス又九霞山樵ト稱ス

大江匡房（オホエノマサフサ）　名ハ匡房ト稱ス

大江定基（オホエノサダモト）　名ハ定基ト稱ス

大江定基ノ女（オホエノサダモトノムスメ）　名ハ斯波氏ニ嫁ス

大江定基ノ女ノ乳母（オホエノサダモトノムスメノメノト）　名ハ某氏ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツト）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトト）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカド）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大江定基ノ女ノ乳母ノ夫ノ弟ノ妻ノ子ノ妻ノ父ノ家ノ門ノ前ノ車ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者ヲ射ル者（オホエノサダモトノムスメノメノトノヲツトノオトトノメノコノツマノチヽノイヘノカドノマヘノクルマヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノヲイルモノ）　名ハ某ト稱ス

大椿（チン）　名ハ周亭ト号ス張流ノ
ラ伝

大方（ハウ）　名ハ源用ト云ヒ元ノ人張
ノラル伝明伝元ノ条ニ録
名ハ添忠天竜流ノ
ラ伝

大進（シン）　名ハ宗如元ノ人法花ノ
僧ニシテ大仏寺ニ住ス
名ハ宗泰大仏流ノ頂住
花海南宗ヨリ宋ニ渡リ
中叙爵ヲ賜フ時ノ号

大象（ザウ）　名ハ宗範大仏流ノ
頂住

大抹（マツ）　名ハ宗泰大仏流ノ頂住ニ
ラ伝

大模（モ）　名ハ宗範大仏流ノ
頂住

大心（シン）　名ハ宗流巨勢ノ又東堂
ト号ス大仏流ノ頂住ニラ伝

大原（ゲン）　名ハ宗字宗泰ト号ス建
仁寺ニ住シ後ニ退テ六角中納
言時光ニ仕フ

大眉（ビ）　名ハ性名ヲ云ハス張流ノ俤
ヲトル

大鵬（ボウ）　名ハ正銀ト号ス狩野流ノ俤画ヲ
ラ伝

ソ之部

素堂（サウダウ）　名ハ元ノ人ト号ス天照大神ノ岩戸ニ
ラ伝

田歌紙娶ラレテ二十一反ヲ求メ和
ヲ頌ノ牛臥天王ト山宗ヨリ
ラル

衣通姫（ソトホリヒメ）　允恭帝ノ妃大中姫妹
和歌ノ祖神玉津島ニ
ラル

宗心（ソウシン）　名ハ永円ト称ス
狩画家

祖酒（ソシュ）　新宮ノ人ト称ス
ラ伝又別家ニ画家

画（ソガ）　名ハ正雪ト号ス画家
ラ伝

素意（ソイ）　近江ノ人息長氏ト称ス土佐
ラ伝法眼ニ叙ス慶長三年二月
廿日叙七十五首ノ歌ヲ
ラル

宗易（ソウエキ）　利休ノ
ラ伝

宗閑（ソウカン）　名ハ如水ノ子ト号ス
ラル画ノ名

宗因（ソウイン）　連歌ハ昌琢門人ニテ梅
翁ト称ス俳諧ノ祖ト
ラル

宗長（ソウチョウ）　名ハ九成
明ノ画家

宗泉（ソウセン）　名ハ宗泰ノ子
ラル画ノ名

宗祇（ソウギ）　名ハ九成
明ノ画家

宗儀（ソウギ）　名ハ九成
明ノ画家

宗達（ソウタツ）　名ハ俵屋ト号ス
ラル画ノ名

宗徳（ソウトク）　名ハ宗泰ノ子ニテ
ラル画家

宗聖（ソウセイ）　名ハ宗泰ノ子ニテ
ラル画家

宗道（ソウダウ）　名ハ達磨ノ画ヲ
ラル

宗紹（ソウセウ）　名ハ宗泰ノ子ニテ
ラル画家

宗雪（ソウセツ）　名ハ宗泰ノ子ニテ
ラル画家

宗比丘尼（ソウビクニ）　名ハ宗泰ノ子ニテ
ラル画家

宗紫石（ソウシセキ）　名ハ君林ト号ス
ラル画ノ名

宗湛（ソウタン）　名ハ水墨ノ人画ヲ
ラル

宗園女（ソウエンニョ）　名ハ別ニ
ラル

曽呂利（ソロリ）　新左衛門ト称ス
ラル

素堂（ソダウ）　山口氏今日庵
芭蕉ト
ラル

陶朱公（タウシュコウ）　越ノ范蠡齊ニ
ラル

陶淵明（タウエンメイ）　名ハ潜字ハ元亮五柳
先生ト称ス晋朝ノ人遠
磨ノ風アリ

陶宗進（タウソウシン）　名ハ文昭字ハ晋生
元朝ノ画家

陶鉞（タウエツ）　菊村ト号ス
元ノ画家

陶宗儀（タウソウギ）　字ハ九成
明ノ画家

戴徳（タイトク）　後漢ノ人大戴礼ヲ
ラル

戴聖（タイセイ）　徳ノ弟ニシテ礼記ヲ作
ル

戴安道（タイアンダウ）　名ハ達晋ノ時ノ
書画ト琴ノ画ヲ
ラル

戴晋（タイシン）　宋ノ画家

戴昔（タイセキ）　唐大宗ノ名直ノ
ラル

道信（ダウシン）　唐太宗ノ三タビ召セ共ニ起ビ
シム仰ノ首ヲ延テ刀ヲ待ツ様ニ
ラル

道綽（ダウシャク）　七十ニシテ歯ヲ落シ又
ノビ〳〵ニナリ人ヲシテ
ラル

道元（ダウゲン）　名ハ希玄覚院ト号
宋ノ
ラル

達磨（ダルマ）　南天竺ノ三番王ノ第二ノ
子梁ノ人ト云ヒ帝ニ
ラル

曇鸞（ドンラン）　魏ノ人西
ラル

提婆達多（ダイバダッタ）　天竺斛飯王ノ
ノ弟ニ
ラル

大迦葉（カセフ）　釈尊十大弟子
ラル

諾迦跋闍羅尊者（タカハリダソンジャ）　十六ノ羅漢
ノ第二

宗清 名ハ以天画ヲ
よくス

宗通 智恩院ノ門度雲院ノ
修理ス

卽道 頂相ヲ
能ス

卽非 名ハ如一元ト称ス

楚仙 人ト
寺院連俳ヲ
ス

佐竹 家舞ヲ
ス

(漢) 曾子 名ハ參字ハ子輿孔子
門ニ在リ孔子ノ一貫ヲ
ス

曾孫 名統ノ孫ニシテ孔子ノ孫ニ
子思ニ学ビ孟子ヲ教ヘ
ス

曾綿 陰ノ波臣
水ノ画ヲ
ス

孫武 齊人ニシテ呉ニ仕ヘ
軍術ヲ
ス

孫臏 軍機ヲ
ス

楚項羽 名ハ籍字ハ子羽別号
ス

祖父ト共ニ会稽ノ守殷通ヲ
烏江ニ自殺ス

蘇武 字ハ子卿胡ニ
ス

蘇秦 字ハ季子洛陽ノ
ス

蘇味道 唐ノ
ス

蘇頲 字ハ延碩唐ニ
ス

蘇允卿 名ハ詢字ハ明允二十七
ス

蘇子瞻 名ハ軾東坡ト号ス
ス

宋子問 字ハ延清唐ノ
ス

宋江 梁山泊ノ
ス

宋克 字ハ仲温南京ト
ス

宋濂 字ハ景濂元ノ
ス

宋登春 字ハ泰元海ノ
ス

宋比玉 名ハ珏石耕ト号ス清
ス

宗臣 字ハ子相号ハ
ス

僧璨大師 姓ハ
ス

宗祇 姓ハ二条ト称ス
歌ノ心ヲ
ス

宗牧 名ハ妙大姥ヲ師ト
大徳寺ノ一ヲ山
ス

宗珍 名ハ如一ト称ス

宗珂 号ハ
ス

宗達 茂林ト号ス建仁寺ノ
ス

宗鑑 寺ノ
ス

宗長 名ハ妙大姥ヲ師ト
ス

宗牧 名ハ如一ト称ス

宗珂 号ハ
ス

宗達 茂林ト号ス建仁寺ノ
ス

宗鑑 寺ノ
ス

宗長 名ハ妙大姥ヲ師ト
ス

孫權 字ハ仲謀呉ノ
ス

孫康 晋人ニシテ
ス

孫敬 晋人ニシテ
ス

孫思邈 唐ノ
ス

孫克弘 字ハ
ス

孫艾 字ハ世
ス

孫孟芳 字ハ
ス

孫億 字ハ維
ス

孫文雅 字ハ
ス

孫廷相 字ハ
ス

蘇若蘭 (貴)夫遠ク役ニ
ス

蘇鉦 字ハ良声竹坡ト号
ス

蘇舜欽 字ハ子美
ス

蘇天爵 姓ハ
ス

祖瑩 字ハ
ス

宋璽 魏ノ
ス

梵石（ボンセキ）名、梵琦、西齋老人と号
惟肖（イショウ）の門人
繩頬（ジョウケイ）陀（ダ）する者（シャ）十六子の第四

ツ之部

津臣（ツノオミ）　安永佐号の男
祀官也（まつりつかさなり）

堀江（ホリエ）**友声**（トモナ）　名、友諒、通称、源太左衛門、初名、友聞、後改
堀江（ホリエ）**清白**（セイハク）　名、友信、通称、源太左衛門、初名、友聞、後改
経隆（ツネタカ）　安永頃の人、経亮の子、経隆の子、経光を生む
経隆、経亮、経光、三代、経師、
慶円（ケイエン）　慶円の男、光信の商ふて画く、名氏詳ならず
常世（ツネヨ）　井氏、名は、淳、初名、常世、後改、通称、平助、号、松風、村雨、仏樹、貞斎、中渡、
常信（ツネノブ）　右京進、号、松斎、家伝
常長（ツネナガ）　村雨、松風、の門、仏樹、貞斎、中渡、

テ之部

寺井玉山（テライギョクザン）　名、昌明、通称、玄蕃、
寺井玉淵（テライギョクエン）　名、昌言、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉蘭（テライギョクラン）　名、昌房、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉洞（テライギョクドウ）　名、昌時、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉瀾（テライギョクラン）　名、昌亨、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉峡（テライギョクキョウ）　名、昌言、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉潤（テライギョクジュン）　名、昌言、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉淵（テライギョクエン）　名、昌房、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉蘭（テライギョクラン）　名、昌亨、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉洞（テライギョクドウ）　名、昌時、通称、玄蕃、玉山の子、
寺井玉瀾（テライギョクラン）　名、昌言

半井瑞策　通俗和漢三才図会の著述の一人
半井卜養　又は温碧虚ともいう　牡丹を当国の名産とした医師
南陽　南山　名は東徹　字は思聡　号は陽春　医師
南部烟華　名は親真　字は子温　号は倫堂　通仁流の人物志二巻著す
高安大助　名は安高　通称は大助　号は秋水　高安流の祖
南郭服部氏　名は元喬　字は子遷　通称は十蔵　号は南郭　儒家
名古屋山三郎　名は信盛　元祖とされる
名倉隆玄　名は定　字は周南　号は丹水　名倉流の医家
楫取氏　下総の人　播州赤穂に移住
南英　名は雅茂　大徐流の名医
南溟　名は紹北　大徐流の名医
南化　名は玄良　通称は良佐　速仁流の軍山摩老中
南谷　名は性流　号は南谷　大徐流の名医
南堂　名は良佐　号は南堂　速仁流の名医
南源　名は性流　号は南源　大徐流の名医
(漢)南容　姓は南宮　名は括　字は子容　孔子の門人　常に白圭の詩を誦し自ら警む
南宮文仲　名は邦　字は子中　通称は文仲　号は南宮　儒家
南岳大隈　天台山系の僧　大徳九年十二月廿三日寂
榮緒　名は元陸　字は伯緒　号は榮川　大徐流の名医　速仁流の軍山摩老中
(漢)老子　姓は李　名は耳　字は伯陽　又は老聃　諡は聃　道家の祖
洛下閎　字は長公　漢武帝の時　天文暦数に精しく　太初暦を作る
駱賓王　七歳にして詩を作り　唐の初期の詩人　徐敬業の檄文を草し　後に伏誅
羅洛　字は文師　号は羅川　大徐流の名医

(十)

画法一家言あり　瀟湘の雄渾秀逸の気象を写す
(天)安南古渡　人となり詳ならず　名は宗智　号は古渡　儒家
南光坊　奥州の人　天海台旨に従い　台旨を受く　寛永廿年十月二日寂す　年臘二百廿余年の上いくばくぞ　紫眼大師と謚す　東叡山寛永寺の開山なり
南浦紹明　姓は藤原氏　建仁寺に入定の時　自ら像を作り　紹明自讃を付す
大徐流　竜寺に始まる　名医を出す　山脇氏を宗とし　後に諸流を兼ね　その流派は枚挙に遑あらず　軍山後速仁寺に移る　延宝中絶
南江　名は宣法　東福流の医法　延宝中絶
南山　名は士雲　字は一之　東福流の医法　延宝中絶
南海　名は尊朴　東福流の医法　延宝中絶

(十一)

那伽犀那　十六羅漢の第十の者
(ラ)之部
楽山　小西氏　十方堂　他村
羅山子　本郷の松雲院の住持　学を林家に受く　林家の元祖
羅山門人　名は鵞峰　字は仲素　号は梅洞　亀山門人
羅大経　字は景倫　号は鶴林　儒者
羅漢会　明朝の陽明学を慕ふ
羅績　明朝画材
藍瑛　字は田叔　明朝の画家
(天)朗如　名は北光　虚亭と号す　浄土宗の僧
嵐雪　松尾氏　江戸の人　芭蕉門
良弼　姓は藤原氏　名は定房　号は良弼　儒家　こと多く称ひ人の称号なり

(ラ)

羅鄴　唐の徐人　詩法を能くす　合七言詩を得
羅隠章　名は隠　字は仲素　号は胡揚亀山門人
羅大経　字は景倫　儒者
羅逢渓　明朝の陽明学を慕ふ
羅績　明朝画材
藍瑛　字は田叔　明朝の画家
(天)朗如　名は北光　虚亭と号す　浄土宗の僧
嵐雪　松尾氏　江戸の人　芭蕉門
羅十二嵐　天台宗の人　慶長大師を補す　秘奥を極む　泗水の大師の法脈なり　十二嵐の名を以て称す　こと多く称ひ人の称号なり

維摩詰（ユイマキツ）　欽明十六年来朝
羅怙羅（ラゴラ）　釈尊の第十八子

ム之部

村上天皇（ムラカミテンノウ）　延喜の帝の第七皇子　十二歳の帝天暦乃帝と称せらるゝ
村井了設（ムライレウセツ）　京の人　古今風の書を好む
村井昌弘（ムライマサヒロ）　俗の儒
村上友仝（ムラカミイウゼン）　字八漫　東叡山僧と号　那波門人
村上三郎（ムラカミサブラウ）　兼輔の孫　友禄の時の武士　尉官たりまつる
　友三郎と称す　源氏物語を抄りはぶき歌のよのとなれるをとゝ
　ゑの字上に点の字拭ひ消ひるゝ

ムラキミヤウ　源氏の小の字左重の
ムラサキ　紫の上　源氏の妻の女
ムラサキ　紫式部　名香爾　女流
ムラサキ　紫女　名香爾　女流
ムラサキ　紫長　刑部の判官の男　雅俗家の祖
ムラサキ　紫仁　安倍仲麻呂の次男　文章を善くす
　結ぶ名負任せ
ムラモリ　村盛　名信重　通称内蔵允
　家隆の男　承久の乱に大将軍として東海道より攻上る

ムスメカタ　娘形　名浦安　雅人　女形の上手
ムスメカタ　娘若　名国松　女形
ムスメヤウカウ　梅沢如翁　名浦安　雅人　女形の上手
ムレヤ　武者小路実陰　名公香　准大臣　超遠院と号

ムガイニ　無外尼　名八智　天無着と号　俗名
　盛の女　千代野と称　陳奥守泰
　家重の女　学祖元の法嗣
ムサウ　無象　名八静照　入寂　祖元の法嗣
　心の法嗣
ムモン　無文　名八元選　元の人　法
　遠忌百度を示す
ムサウ　無窓　名八照元　聖一の法嗣
ムガイ　無碍　名八利徳　東福寺派　法嗣
ムム　無夢　名八一法　名元中人　宋
　福流の宗　法嗣安中叙
ムゲ　無極　名八志玄　天竜流の宗
　延文中叙
ムゼン　無染　名八浄名丹崖叟と称
　る流れを汲む
ムサン　無関　名八宗関　初心流の
　名香

ウヨウ　右近　名八元　延喜の宮仕の歌人
ウスヤ　臼屋　名八契大　無着と号　俗名
　盛の女　千代野と称　陳奥守泰
　家重の女　学祖元の法嗣
ウスヤ　臼屋　名八照元　聖一の法嗣
　家重の女　学祖元の法嗣
ウヅ　雨月　名八静照　入寂　祖元の法嗣
　心

素水門人ニテ徐雲一家ト門
随素ノ文字ヲ採リシモノ
烏石 松下氏名ハ君嶽後ニ高辰
字ハ仲カト改庚ト門人
カテ一家
浮邱 ㊟老隆ヲ安ト字ハ子僑ノ
文ノ如シ
字伯英 張氏ノ宏ノ
字孟文 漢水 名ハ恵字ハ子通
字ハ子流ト云ヒ子牛ノ
字ハ子中ト曰フ 通儒頑拙ト号ス
昌二門人
儒家
字ハ明叔 名ハ鵬字ハ士新
字ハ子翔ト云フ
儒名
あり
羅阿石磵 名ハ方山字ハ子亜
昭旋門人儒家

ノ之部

野間二竹 字ハ子篤靜ト号ス
松永昌三門人ト号ス
野中宮山 名ハ良継又
菴山ト号ス時中門人
野間玄沢 名ハ幸保ト称ス
医家
野村東皐 名ハ元喬ト称ス
彰左馬ト称ス
儒家
野口立斎 名ハ孝恭ト称ス
医家

ハ之部

服部南郭 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
南郭ハ其ノ別号ナリ
初メ木門ニ学ビ後ニ物徂徠ニ
従ヒ経義ヲ講ス
服部寛斎 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
寛斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭渓 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
蘭渓ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部栗斎 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
栗斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭皐 名ハ元彦字ハ子士
又ハ子美ト称ス
蘭皐ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部白賁 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
白賁ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部天游 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
天游ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部中庸 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
中庸ハ蘭皐ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彦 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
元彦ハ中庸ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元雄 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
元雄ハ栗斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彬 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
元彬ハ寛斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元章 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
元章ハ白賁ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ天游ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス

ヒ之部

平定国 字ハ漢章前漢ノ
末ノ丞相ナリ
平賢 字ハ公仲東晋ノ時
晋記二十巻ヲ編
平安宇 字ハ仲盛唐ノ進士
字ハ子寧ト称ス
烏古孫良楨 字ハ幹卿ト号元ノ
人ニテ一家
ヲ成ス
平定国 字ハ漢章前漢ノ
末ノ丞相ナリ
平賢 字ハ公仲東晋ノ時
晋記二十巻ヲ編
平安宇 字ハ仲盛唐ノ進士
字ハ子寧ト称ス
烏古孫良楨 字ハ幹卿ト号元ノ
人ニテ一家
ヲ成ス
㊟老隆ヲ安ト字ハ子僑ノ
文ノ如シ
字伯英 張氏ノ宏ノ
字孟文 漢水 名ハ恵字ハ子通
字ハ子流ト云ヒ子牛ノ
字ハ子中ト曰フ 通儒頑拙ト号ス
昌二門人
儒家
字ハ明叔 名ハ鵬字ハ士新
字ハ子翔ト云フ
儒名
あり
羅阿石磵 名ハ方山字ハ子亜
昭旋門人儒家

ノ之部

野間二竹 字ハ子篤靜ト号ス
松永昌三門人ト号ス
野中宮山 名ハ良継又
菴山ト号ス時中門人
野間玄沢 名ハ幸保ト称ス
医家
野村東皐 名ハ元喬ト称ス
彰左馬ト称ス
儒家
野口立斎 名ハ孝恭ト称ス
医家

ハ之部

服部南郭 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
南郭ハ其ノ別号ナリ
初メ木門ニ学ビ後ニ物徂徠ニ
従ヒ経義ヲ講ス
服部寛斎 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
寛斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭渓 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
蘭渓ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部栗斎 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
栗斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭皐 名ハ元彦字ハ子士
又ハ子美ト称ス
蘭皐ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部白賁 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
白賁ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部天游 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
天游ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部中庸 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
中庸ハ蘭皐ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ天游ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彦 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
元彦ハ中庸ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元雄 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
元雄ハ栗斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彬 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
元彬ハ寛斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元章 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
元章ハ白賁ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ天游ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス

ヒ之部

平定国 字ハ漢章前漢ノ
末ノ丞相ナリ
平賢 字ハ公仲東晋ノ時
晋記二十巻ヲ編
平安宇 字ハ仲盛唐ノ進士
字ハ子寧ト称ス
烏古孫良楨 字ハ幹卿ト号元ノ
人ニテ一家
ヲ成ス

ウ之部

雲章 名ハ一廣尤侗等ト同ジ
十九年ノ
男南溟流ヲ汲ム寛字ハ子裕
有隣 名ハ知幾門ノ人ナリ
後ニ福寺周山ニ住ス
運慶 南都ノ仏工法橋定朝ノ
六世ノ孫ニシテ
父ノ跡ヲ継ギ
雲中子 殷ノ世賢魔法ヲ
太公ニ学ビ紂ノ
千吉仏人 魏曹操ノ時ニ奇怪
ヲ為ス人

ノ之部

野中宮山 名ハ良継又
菴山ト号ス時中門人
野間玄沢 名ハ幸保ト称ス
医家
野村東皐 名ハ元喬ト称ス
彰左馬ト称ス
儒家
野口立斎 名ハ孝恭ト称ス
医家

ハ之部

服部南郭 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
南郭ハ其ノ別号ナリ
初メ木門ニ学ビ後ニ物徂徠ニ
従ヒ経義ヲ講ス
服部寛斎 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
寛斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭渓 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
蘭渓ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部栗斎 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
栗斎ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部蘭皐 名ハ元彦字ハ子士
又ハ子美ト称ス
蘭皐ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部白賁 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
白賁ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部天游 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
天游ハ南郭ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部中庸 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
中庸ハ蘭皐ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ天游ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彦 名ハ元彦字ハ子美
又ハ子士ト称ス
元彦ハ中庸ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元雄 名ハ元雄字ハ子尚
又ハ子猶ト称ス
元雄ハ栗斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元彬 名ハ元彬字ハ子文
又ハ子温ト称ス
元彬ハ寛斎ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元章 名ハ元章字ハ子采
又ハ子文ト称ス
元章ハ白賁ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス
服部元喬 名ハ元喬字ハ子遷
又ハ子喬ト称ス
元喬ハ天游ノ子ニシテ
父ノ業ヲ継ギ経義ヲ講ス

ウ之部

雲章 名ハ一廣尤侗等ト同ジ
十九年ノ
男南溟流ヲ汲ム寛字ハ子裕
有隣 名ハ知幾門ノ人ナリ
後ニ福寺周山ニ住ス
運慶 南都ノ仏工法橋定朝ノ
六世ノ孫ニシテ
父ノ跡ヲ継ギ
雲中子 殷ノ世賢魔法ヲ
太公ニ学ビ紂ノ
千吉仏人 魏曹操ノ時ニ奇怪
ヲ為ス人

ノ之部

ヒソビリ 呂識 支那三縣の女工雄略帝の朝に漢織等とともに
日本に歸化す 呉服の祖
クメノセン 久米仙人 女の脛の白きを見て通力を失ひ墜落
セイヒを往生
クスミモリカゲ 久澄守景 狩野派の畫家 門人京の画家
クモヰノカリ 雲井鳥 源氏の小野宮左大臣の女源氏あり
クデンミチイエ 九條道家 後京極良經公の男攝政關白
左大臣 号 寺
クタウ 九條 名人
九條軍寺公 秋山公と称

クソ 寵 古今集小出づる
仙者女の名人
ハウカモンサンノジヨウ 宝荷門三條院 常陸院の伯母
太宮大后 後冷泉院の后 後三條帝の皇女
クボウ 工房紅雪 一藤左衛門と称 富士野の狩場にて
ニクカシンソウ 肉香心草 秋
ノウ 能 仕舞
ノガクヘ 能谷直実 相撲 帝の御前にて
タヂカラヲ 手力男 天照大神の御子
ヒヨシマル 日吉丸 秀吉公
ヒヨシヤマ 日吉山 叡山
ヒヨシマツリ 日吉祭 四月
ヒヨシヤシロ 日吉社 近江
ヒヨシヤマヲロシ 日吉山颪 比叡山より吹き下す風
ヒヨシヤマヲロシ 日吉山颪 比叡山より吹き下す風

クシヒゲ 串髭 武光 三条流
クシモト 串本 名所
クシロ 奇路 一家
クスミ 久須美 疎安 号 家号 日門
クダウ 久道 祐筆 名人
クヒヤマ 久比山 名所
クボウ 久保 姓
クボウ 久保 姓
クボウ 久保 姓

虞世南 字ハ伯施文中子ノ門人玄ヲ釈ノ智永ニ学ブ

虞氏 楚項羽ノ妃 名ハ美人

虞般 字ハ仲常元朝 琳々画ヲ善ス

虞集 字ハ伯生蜀ノ人元朝ノ古家

管仲 名ハ夷吾齊桓公用ヒ諸侯ニ両覇ス

管寧 字ハ幼安後漢ノ隠士ナリ

関尹子 名ハ喜老子ノ門人ヲ以テ家一流ヲ立ツ

関羽 名ハ雲長蜀ノ玄徳ニ仕ヘ忠勇ヲ以テ実ニ帝ト称ス

華佗 字ハ元化老ヲ以テ外科ノ奇術ヲ善ス 医ヲ以テ後世ノ称アリ

郭子儀 唐一世ノ賢将ニシテ武王ト称ス

郭縱義 宋朝ノ古家

郭敏 字ハ伯達元ノ画家

郭守敬 天文暦数ニ通ジ元ノ時授時暦ヲ造ル

郭忠恕 宋朝ノ画家

霍去病 漢武帝ノ良臣

霍光 字ハ子孟去病ノ弟ニシテ武帝ノ後ヲ受ケ昭帝ヲ輔ケ政ヲ執ル

皇甫冉 唐ノ詩人

皇甫曾 字ハ孝常冉ガ弟

曜智 字ハ膺夫元ノ画家

區赤軫 字ハ士軫清ノ画家

安貴王 大津皇子ノ御子ニシテ和哥ノ秀逸アリ

安倍 物部田融帝ノ朝ニ仕ヘ文ヲ以テ名アリ

保胤 慶滋ト改ム 文学ヲ以テ円融帝ノ朝ニ仕ヘ法名寂心

朝詩人

保井芳樹 浩川春海ト称ス

邊赤人 聖武帝ノ頃ノ人 山水ヲ善クス 赤人ト称スル人二人アリ 一人ハ名ヲ云ハス

皇甫冉 唐ノ詩人 名ハ晴卿 軍阿ニ学ブ 一家ノ人皆詩ヲ善クス

山本勘助 名ハ晴幸甲陽軍阿ニ学ブ 一家ノ人皆詩ヲ善クス

山本北山 名ハ典 字ハ有裁 一家ノ人皆詩ヲ善クス

弁医ト称ス 魏武帝ニ仕ヘ華佗ヲ殺ス 書ヲ著ス

屈原 名ハ平字ハ霊均楚懐王ノ時三閭大夫ト称ス 讒ニ遇ヒ長沙ニ謫セラル 世人皆醉ヒ我独リ醒ト云ヒ遂ニ汨羅ニ投ジテ死ス 楚辞ヲ著ス

屈遠 字ハ仲達屈原ノ子ニシテ三十一世ノ孫ナリ 漢大使ノ任ヲ以テ三年家七十四唐ニ至ル大海ヲ渡ル

之部

陽成院 清和帝ノ子ニシテ十才ノ帝ニ即キ在ル事八年ニシテ譲ヲ受ケ世ヲ清和ノ子ニ伝フ

日本武尊 景行帝ノ命ヲ以テ東夷ヲ征シ富士北ノ海ヲ渡ル 山ヲ踰エ谷ヲ越ヘ連歌ヲ製ス

傳姫 名ハ季綱ト伝ハル 歌ヲ善クス

家持 大伴旅人ノ男中納言ト称ス

山本復齋（モトフクサイ）源義と称海見
行 家門人儒家
山本維（モトイ）斎（サイ）一派書
山口雲溪（ヤマグチウンケイ） 梅隠と称牧溪
雪舟の風を追ふ
系師近世の
名画
山科（ヤマシナ）李溪富（リケイフ）家隠と号 画家
山崎嘉（ヤマザキヨシ）齋（サイ） 名ハ嘉字ハ敬
義称俗称平馬と
称後仲乃丈又一家ヲなす
垂加翁と称天和二年九月
十二日没六十五才未社ハ犯
山縣周南（ヤマガタシュウナン） 名ハ孝孺字ハ次
ム少助と称徂徠
門人長府の
儒医
山脇東洋（ヤマワキトウヨウ） 名ハ尚徳乃仇と
称東武の皮医古

山田宗偏（ヤマダソウヘン） 宗偏ハ号ハ
家且門家人
山田才麿（ヤマダサイマロ） 近世筆也の
ヤマダサイマロ
也足利
一家ヲなす
慶長中断
矢野（ヤノ）相（ソウ）手（シュ）流 名ハ一流
ヤノソウシュリュウ
実用中興沢と
号 皆の人儒家
楊（ヤン）斎（サイ） 利之清と称
ヤナギリサイ
也家
楊（ヤン）邦美（ホウビ） 名ハ邦美字ハ永
ヤナギクニヨシ
楊（ヤン）巌（ガン） 名ハ尚高と称
ヤナギヒサタカ
山田（ヤマダ）道安（ドウアン） 氏ハ秦と称和名ハ
周文ヲ舟の門
を学ひ一家
をなせり

楊子（ヤウシ） 名ハ朱我ハ子雲ヲ字ハ
立ヲ雲ヲ字ハ子雲ヲ也ヲ二ツ
ヲ並ベ聖人の中庸になぞらへ異端の教ヲ
楊雄（ヤウイウ） 字ハ子雲共ニ漢ノ人ヲ
新の王莽の大夫ヲ
楊惲（ヤウウン） 字ハ子幼ト称儒家潔ヲ
して名ヲ
楊脩（ヤウシウ） 字ハ徳祖魏曹操ニ仕曹
娥の碑の後ヘ
操ヲ主ヲの巳ニ絶ヲる事ヲ
有智ヲ三十里ヲ
楊貴妃（ヤウキヒ） 楊玄琰ノ女小字ハ玉
環寧王ノ妃ニ
又玄宗百官ヲ
楊龜山（ヤウキザン） 名ハ時字ハ仲立程門四
先生の内文靖ト
楊慎（ヤウシン） 字ハ用修ト称安
楊震（ヤウシン） 名ハ伯起ト称安
楊柳（ヤナギ）堂（ドウ）ノ人
楊萬里（ヤウバンリ） 字ハ廷秀
楊人龍（ヤウジンリョウ） 字ハ雲五
楊月澗（ヤウゲッカン） 元朝の
画家
楊補之（ヤウホシ） 字ハ無咎
楊維楨（ヤウイテイ） 字ハ廉夫
楊公濟（ヤウコウサイ） 名ハ載ト称
楊（ヤン）漁（ギョ） 字ハ仲弘ト称
楊（ヤン）龜（キ）山（ザン） 名ハ時字ハ仲立程門四
先生の内文靖ト
楊（ヤン）子（シ） 名ハ朱我ハ子雲ヲ字ハ
立ヲ雲ヲ字ハ子雲ヲ也ヲ二ツ
ヲ並ベ聖人の中庸になぞらへ異端の教ヲ
楊（ヤン）雄（ユウ） 字ハ子雲共ニ漢ノ人ヲ
新の王莽の大夫ヲ
楊（ヤン）惲（ウン） 字ハ子幼ト称儒家潔ヲ
して名ヲ
楊（ヤン）脩（シウ） 字ハ徳祖魏曹操ニ仕曹
娥の碑の後ヘ
操ヲ主ヲの巳ニ絶ヲる事ヲ
有智ヲ三十里ヲ
楊（ヤン）貴妃（キヒ） 楊玄琰ノ女小字ハ玉
環寧王ノ妃ニ
又玄宗百官ヲ
楊（ヤン）龜山（キザン） 名ハ時字ハ仲立程門四
先生の内文靖ト
楊（ヤン）慎（シン） 字ハ用修ト称安
楊（ヤン）震（シン） 名ハ伯起ト称安
楊柳堂ノ人
楊萬里（ヤウバンリ） 字ハ廷秀
楊人龍（ヤウジンリョウ） 字ハ雲五
楊月澗（ヤウゲッカン） 元朝の
画家
楊補之（ヤウホシ） 字ハ無咎
楊維楨（ヤウイテイ） 字ハ廉夫
楊公濟（ヤウコウサイ） 名ハ載ト称
楊（ヤン）漁（ギョ） 字ハ仲弘ト称
楊（ヤン）龜（キ）山（ザン） 名ハ時字ハ仲立程門四
先生の内文靖ト

方一時の
名ヲ
山名元（ヤマナゲンリン）隣 字ハ徳用源ノ人
李ヲ以ヲ称ス
山名宗（ヤマナソウ）全（ゼン） 名ハ全ヲ称ス
名ヲ宗ヲ
人ヲ以テ称ス
宏和尚の
父ヲ
鹿（ロク）素行（ソコウ） 名ハ高祐ヲ素
行ヲ称ス甲州流の
兵ヲ学ヒ家大石良雄も
門人ヘ
下（シタ）慶内（クラウチ） 享保の比赤穂の
遺民
山中道伝（ヤマナカミチツタ） 名ハ元祐ト称ス凡齋ト
光源ト号ス大坂ノ
儒家
山田道安（ヤマダドウアン） 氏ハ秦ト称和名ハ
周文ヲ舟の門
を学ひ一家
をなせり

人寛永ノ比ヲ
野坡（ヤハ） 姓ハ志村ト称ス
八橋検校（ヤツハシケンギョウ） 名ハ
法水門人ヲ
室二ヲ筆ヲ
の法流ヲ
安村検校（ヤスムラケンギョウ） 名ハ
楊月（ヤウゲツ） 和玉ト号ス
陽峯（ヤウホウ） 名ハ宗韶大法流の
養曳（ヤウエイ） 名ハ宗顒大法流の
順学ヲ
養由基（ヤウユウキ） 楚共王の弓名ハ
叔柳ヲ名ヲ
百歩ヲ
妙技ヲ

之部

満仲（マンチュウ） 武芸ヲ以ヲ清和源氏ノ
祖ヲ
狭門（サド） 平良門ノ男ヲ相馬氏平
親王ト称ス慶三年ヲ
反ヲ平良門ヲ
ま
攻滅セリ

雅楽頭 名は至 敬親の四男 文久三年従二位 参議 侯爵 毛利家の祖 元就より十四代

理平 名は元純 通称は鞆之丞 三統 従四位 侯爵 毛利家の祖 元就より十四代

匹澄 名は元功 通称は内蔵之助 毛利家の祖 元就より十四代

正宗 名は元周 通称は内蔵之助 毛利家の祖 元就より十四代

政子 名は元子 通称は内蔵之助 毛利家の祖 元就より十四代

眞鳥 名は元徳 通称は内蔵之助 毛利家の祖 元就より十四代

曲直瀬親純 名は玄鑑 号は一渓 医師

益田崔樓 名は助宅 号は伯陳 白石門人 儒家

万里小路充房卿 権大納言 天正中没

益徒 画の名

前田菊叢 初一郎 後に名は時棟 号は一之進 後に称松山 儒家

貴文 名は義翔 姓は藤原氏 後に称松山 儒家

松岡調 名は恕 号は観瀾 通称は仲平 後に称大和 国学

松永昌易 名は貞徳 号は長頭丸 後に称逍遥軒 俳諧

松浦霞沼 名は儉 通称は八十吉 後に称宗伯 儒家

松尾芭蕉 名は宗房 通称は甚七郎 後に称忠右衛門 俳諧

松下見林 名は秀雅 通称は玄朔 後に称玄仲 儒家

松井幸隆 通称は市右衛門 後に称図書 中院通茂家臣

松永採薬 名は尚三 通称は久庵 後に称宗悦 画家

松村月雪 名は元雄 通称は九郎右衛門 後に称春翠 画家

松田長秀 名は定治 通称は権兵衛 後に称丹治 俳人

松村梅園 名は延年 字は子長 通称は仲介 後に称半助 儒家

松浦静斎 名は信 字は天民 通称は八十吉 後に称儀助 儒家

松永貞徳 名は勝熊 後に称永種 又は永理 号は逍遥軒 俳諧

松永尺五 名は玄之 字は子悦 通称は道喜 後に称剃髪 儒家

松永昌三 名は貞徳の長男 後に称尺五 儒家

松永素元 名は元好 通称は甚七郎 後に称素庵 俳人

孟東野（もうとうや）　名は郊、字は東野、貞曜先生と諡（おくりな）す。唐人。

孟浩然（もうこうねん）　名は浩、字を号として行る。唐の詩人。祖籍襄陽にて年孟（もう）氏五代、鎮蜀のころ医を以て好韓保昇に等しかりし。

蜀本草（しょくほんぞう）　蜀人撰ぶ。唐本草を補正せる者と見えたり。

摩耶夫人（まやぶにん）　天竺二百余人本生の第一の王の妃、釈迦の母。

摩騰（まとう）　中天竺の人、大小乗経に精通し、後漢の永平十年に洛陽に来り、仏法を弘めたる人。時に仏法未だ伝わらざりしなり。

ケ之部

謙徳（けんとく）　自ら法名の下に加えたる字。

謙丸（けんがん）　自ら法名の下に加えたる字。

号（ごう）　本名の外に呼ばれたる名。

三王（さんおう）　夷三王。

源（げん）氏君（じくん）　六十六部廻国の第一の人。

兼（けん）栽（さい）　平姓、法橋宗祇門人。明応の連歌師。

比連（ひれん）　連歌の調。

元旧（げんきゅう）　紀氏の連歌師。

元的（げんてき）　元祐の連歌師。

健甫（けんぽ）　本姓阿比留氏。順素、狩川の儒医。

元旦（げんたん）　連歌の調。

慶運（けいうん）　文禄中画家。

源九郎（げんくろう）　狐のこと。

元政（げんせい）　日政上人と号す。

月洞（げっとう）　思田氏。

連歌（れんが）　和歌の一体。

源（げん）空（くう）　仏名の下に加えたる字。

遊女（ゆうじょ）　

源（げん）為（い）　

源（げん）光（こう）　独庵と号す。有元の法嗣。

玄（げん）昨（さく）　

玄（げん）旨（し）　

玄（げん）光（こう）　独庵と号す。有元の法嗣。

玄（げん）陳（ちん）　

玄（げん）札（さつ）　

玄（げん）也（や）　

玄（げん）賓（ひん）　

玄（げん）昌（しょう）　

玄（げん）恕（じょ）　

玄（げん）旨（し）　

玄（げん）悦（えつ）　

玄（げん）恵（え）　

玄（げん）旨（し）　

源（げん）空（くう）　

源（げん）為（い）　

源（げん）光（こう

珠房ヨリ退候ヘシ稲古ノ年叙
六十二ヨリ乃ヲ名ク
桂林（ケイリン）名ハ法昌建仁流ノ
月舟（ゲッシュウ）名ハ玉寿桂庭二流ノ
月庭（ゲッテイ）名ハ国朗ヨリ多念ノ法嗣
月湖（ゲッコ）名ハ宗珊妙心流ノ
月航（ゲッコウ）名ハ玄沢妙心流ノ
月潭（ゲッタン）名ハ徳誠東福ノ
月耕（ゲッコウ）名ハ稔仙ヨリ万寿寺ノ
継天（ケイテン）名ハ寿戦月舟ノ法嗣
厳中（ゲンチュウ）名ハ周噩九条経教ノ弟
寺住住大徳仏筆
延文中叙

乾峯（ケンポウ）名ハ士昌宗統ノ人南浦
応翁（オウオウ）名ハ関翁ヨリ徳延文中叙
天竜流ノ号ス
瓊林（ケイリン）文永中大宋渡来ノ僧
景川（ケイセン）名ハ宗隆大徳流ノ号ス
明庵中叙
景聡（ケイソウ）名ハ良聡妙心流ノ
景堂（ケイドウ）名ハ玄訥妙心流ノ
景甫（ケイホ）名ハ舟陵ヨリ持法ヲ伝
景徐（ケイジョ）名ハ周麟宜竹ト号
葉海（ヨウカイ）名ハ中洲元ヨリ渡甲州楼
原憲（ゲンケン）字ハ子思孔子ノ弟子
貧ヨリ善ク文章ヲ綴ルヲ
漢ノ元舞（ゲンブ）聖人二帝ノ称
（ケ之二）

元誡（ゲンカン）字ハ仲容名ハ孚ノ子ニシテ
阮咸（ゲンカン）竹ヲ解ノ妙琵琶ヲ弾
ず晋七賢ノ内七ノ人ト号ス
倪覧（ゲイラン）竹竿ノ掛絵ヲ少見ルヲ
倪瓚（ゲイサン）字ハ元鎮元ノ法雲村ト号
元ノ画家
倪康（ゲイカウ）字ハ叔夜名ハ琴ヲ弾ジ琴書ヲ嗜ム
ひさう後ヲ名ク
七賢ノ内ヲ名ク
恵紋（ケイカウ）梁武帝ノ時ノ僧
元鎮（ゲンジン）字ハ微之又元九ト称唐
元好問（ゲンカウ）元ノ
水谷希顔（ケフコクキガン）元ノ
揭傒斯（ケイシ）字ハ曼碩秋宜ト
号ス其ノ子ハ漢ノ書家

揭子宣（ケッシセン）名ハ暄明朝ノ
華厳和尚（ケゴンワジョウ）龍興寺ノ住侶
玄奘三蔵（ゲンザウ）唐ノ人宗ノ時天竺
玄暉（ゲンキ）名ハ博光ノ号ス
恵果阿闍梨（ケイクアジャリ）
京房（ケイボウ）易ヲ好ム
厳子陵（ゲンシリョウ）名ハ光後漢光武帝
蜆子（ケンス）
阮籍（ゲンセキ）字ハ嗣宗ト号ス
自眼ヲ以人ヲ
阮咸（ゲンカン）字ハ仲容名ハ孚ノ子ニシテ
倪瓚（ゲイサン）字ハ元鎮元ノ法雲村ト号
元ノ画家
倪康（ゲイカウ）字ハ叔夜名ハ琴ヲ弾ジ琴書ヲ嗜ム
ひさう後ヲ名ク
七賢ノ内ヲ名ク
恵紋（ケイカウ）梁武帝ノ時ノ僧
元鎮（ゲンジン）字ハ微之又元九ト称唐
元好問（ゲンカウ）元ノ
水谷希顔（ケフコクキガン）元ノ
揭傒斯（ケイシ）字ハ曼碩秋宜ト
号ス其ノ子ハ漢ノ書家

井幹（セイカン）匈奴ノ名ハ北昌健仁流ノ
計ルベカラズ感ヲ
命ヲ隕ス
玄徳（ゲントク）姓ハ劉名ハ備涿州ノ牧ヲ
烈皇帝ヲ
ツヒニ帰足ノ
玄宗（ゲンソウ）唐ノ八主名ハ隆基儒学ヲ好ミ
玄暉（ゲンキ）名ハ博光ノ号ス
玄牡三蔵（ゲンザウ）唐ノ人宗ノ時天竺
余ヨリ経歴一万
六百巻ヲ翻訳ス
厳子陵（ゲンシリョウ）名ハ光後漢光武帝
蜆子（ケンス）
阮籍（ゲンセキ）字ハ嗣宗ト号ス
自眼ヲ以人ヲ
阮咸（ゲンカン）字ハ仲容名ハ孚ノ子ニシテ
倪瓚（ゲイサン）字ハ元鎮元ノ法雲村ト号
元ノ画家
倪康（ゲイカウ）字ハ叔夜名ハ琴ヲ弾ジ琴書ヲ嗜ム
ひさう後ヲ名ク
七賢ノ内ヲ名ク
恵紋（ケイカウ）梁武帝ノ時ノ僧
元鎮（ゲンジン）字ハ微之又元九ト称唐
元好問（ゲンカウ）元ノ
水谷希顔（ケフコクキガン）元ノ
揭傒斯（ケイシ）字ハ曼碩秋宜ト
号ス其ノ子ハ漢ノ書家

揭子宣（ケッシセン）名ハ暄明朝ノ
華厳和尚（ケゴンワジョウ）龍興寺ノ住侶
玄奘三蔵（ゲンザウ）唐ノ人宗ノ時天竺
玄暉（ゲンキ）名ハ博光ノ号ス
恵果阿闍梨（ケイクアジャリ）
京房（ケイボウ）易ヲ好ム
厳子陵（ゲンシリョウ）名ハ光後漢光武帝
蜆子（ケンス）
阮籍（ゲンセキ）字ハ嗣宗ト号ス
自眼ヲ以人ヲ

経津主命（フツヌシノミコト）
香取にまる
そなり
太玉命（フトダマノミコト）
子天児屋根命ト
ともに神代先右の補翊忌部
家の祖なり
武甕槌天皇（ブツミカヅチテンワウ）仁賢帝の皇子ニ
元の画家
倪瓚（ゲイサン）字ハ元鎮元ノ法雲村ト号
倪康（ゲイカウ）字ハ叔夜名ハ琴ヲ弾ジ琴書ヲ嗜ム
ひさう後ヲ名ク
七賢ノ内ヲ名ク
恵紋（ケイカウ）梁武帝ノ時ノ僧
元鎮（ゲンジン）字ハ微之又元九ト称唐
元好問（ゲンカウ）元ノ
水谷希顔（ケフコクキガン）元ノ
揭傒斯（ケイシ）字ハ曼碩秋宜ト
号ス其ノ子ハ漢ノ書家

敬叟（ケイソウ）名ハ昂ノ同宋ノ
傑峯（ケツホウ）名ハ愚鳥石山ノ住
元ノ号ス僧

ケ之部

経津主命（フツヌシノミコト）般若四男命ノ孫
香取にまる
そなり
太玉命（フトダマノミコト）
子天児屋根命ト
ともに神代先右の補翊忌部
家の祖なり
武甕槌天皇（ブツミカヅチテンワウ）仁賢帝の皇子ニ
元ノ好問（ゲンカウ）元ノ
不比等（フビト）字ハ史ノ藤足公
ノ男
不ト（フボク）字ハ村氏俗称
未得ル

不角（フカク）立羽氏松月堂と称す（俳林編集名）

庁前（チョウマエ）

英明（ヒデアキラ）

文室康秀（フンヤノヤスヒデ）前甲斐目文人（フミビト）

文室朝康（フンヤノアサヤス）

深井小将（フカイショウショウ）

深養父（フカヤブ）

深見玄仙（フカミゲンセン）

深見順斎（フカミジュンサイ）

深見宗亜（フカミソウア）

深見友古（フカミユウコ）

深見友昌（フカミユウショウ）

深村庸軒（フカムラヨウケン）

深井斎（フカイサイ）

古川古松軒（フルカワコショウケン）

古川長助（フルカワチョウスケ）

古村見宣（フルムラケンギ）

古田重勝（フルタシゲカツ）

古人（フルビト）

古門長助（フルカドチョウスケ）

古井斎（フルイサイ）

庵（イオリ）

庵梅（イオリバイ）

普化禅（フケゼン）

仁義（ジンギ）

傅説（フエツ）

傅玄（フゲン）

傅孫（フソン）

傅若金（フジャクキン）

無盬君（ブエンクン）

復庵（フクアン）

風洋（フウヨウ）

風虎（フウコ）

福可孝（フクカコウ）

福禄寿（フクロクジュ）

文天祥（ブンテンショウ）

文徴明（ブンチョウメイ）

文中子（ブンチュウシ）

文彦博（ブンゲンハク）

武元衡（ブゲンコウ）

馮子振（フウシン）

不聞（フモン）

仏生門（ブッショウモン）

仏人（ブツジン）

仏之助（ブッシノスケ）

仏心禅師（ブッシンゼンジ）

仏頂尊勝陀羅尼（ブッチョウソンショウダラニ）

仏母（ブツモ）

仏母孔雀明王（ブツモクジャクミョウオウ）

仏母大明王（ブツモダイミョウオウ）

仏母大孔雀明王（ブツモダイクジャクミョウオウ）

仏母大孔雀明王経（ブツモダイクジャクミョウオウキョウ）

仏母大孔雀明王像（ブツモダイクジャクミョウオウゾウ）

仏母大孔雀明王画像（ブツモダイクジャクミョウオウガゾウ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図像（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズゾウ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図像一巻（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズゾウイッカン）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図像一巻元和元年七月（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズゾウイッカンゲンナガンネンシチガツ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図像一巻元和元年七月廿一日（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズゾウイッカンゲンナガンネンシチガツニジュウイチニチ）

仏母大孔雀明王経曼荼羅図像一巻元和元年七月廿一日写之（ブツモダイクジャクミョウオウキョウマンダラズゾウイッカンゲンナガンネンシチガツニジュウイチニチウツス

馮君道（フウクンダウ）元の画家

馮汲二（フウキフジ）宋八家泉

富陽僧業（フヨウソウゲフ）詳の人文なるを

豊干（ブカン）天台山に住せし奇僧

傅大士（フダイシ）名は翕（キフ）梁の普通二年に化を始めて同六年に

双林寺（サウリンジ）に於て円寂せし

大棘（ダイキヨク）元年七月廿七日

化して世に出ぬといふ

不空三蔵（フクウサンザウ）南天竺の人大廣智

智（チ）不空金剛（フクウコンガウ）と号す

後鳥羽院（ゴトバノヰン）諱は尊成（タカナリ）

後堀河天皇（ゴホリカハテンワウ）諱は茂仁（ヤスヒト）

後水尾院（ゴミヅノヲヰン）諱は政仁（マサヒト）

事代主命（コトシロヌシノミコト）

大己貴命（オホナムチノミコト）の子

後陽成院（ゴヨウゼイヰン）

諱は和仁（カズヒト）

後花園院（ゴハナゾノヰン）

諱は彦仁（ヨシヒト）

後柏原院（ゴカシハバラヰン）

諱は勝仁（カツヒト）

後光明峯寺入道前関白太政大臣（ゴコウミヤウホウジニフダウサキノクワンパクダジヤウダイジン）

諱は道家（ミチイヘ）

後花園院（ゴハナゾノヰン）

諱は彦仁（ヨシヒト）

後陽成院（ゴヨウゼイヰン）

諱は和仁（カズヒト）

後水尾院（ゴミヅノヲヰン）

諱は政仁（マサ

呉山 名ハ一挙天竜寺の行僧
ホシヲヒ 近文中叙

瑚海 名ハ中珊叩水後絨後意
光ちふ伝ハ順法

興宗 名ハ宗拡大法流のる後

呉外明 名ハ宗宏大法流のる後
コンゲンイ 法中叙

(漢) 孔子 名ハ丘字ハ仲尼生ル
ちくの聖人ナリ三
子人周永王四十二年四月八日
来七十三後小文宣王ヲ追封ス
天下庸談建祀ス一千九百十
陛世今帝王ニ至ル孫孔ヨリ
今ニ至ル

孔鯉 字ハ伯魚
孔子の子

孔伋 字ハ子思孔子の孫
中庸ヲ作ル

孔武 字ハ子順孔子ノ八世の孫
魏の相タリ

孔忠 字ハ子魚秦始皇ニ仕ル
孔子九世孔義子ヲ作ル

孔安國 字ハ子国漢武帝の
太夫孔子十二世

孔明 出ル
子明

孔文仲 字ハ経父ノ
弟ナリ

孔融 字ハ文挙孔子二十世の孫
孔子ノ小海の相後漢の儒
家タリ

孔治長 字ハ子長孔子の弟子ニシテ
公治長婿ニ況ンヤヲ出遠キヲ
解ス

孔西赤 字ハ子華孔門七十子の
一人ナリ

公孫龍 字ハ子石孔門七十子の
内一家の学ヲ立

公孫弘 漢の時者ニ学ビ
公孫ニ従ヒ学ブ人

伍子胥 名ハ員楚人呉王ニ
ハヤラレ一ヒ眉間ニ尺

呉の澄 字ハ幼清満の
と号蘆庵先生と称ス

呉鎮 字ハ仲圭揚
え胡の画ヲ

呉大素 字ハ泰号元の画家

呉国倫 字ハ明卿川撲と号
明の行人七子ノ内

呉の賢 字ハ友ラ松亭と号
呉門画家

呉の雁門 野農と号
呉門画家

呉の苑 字ハ楞香
呉の人

顧孝先 字ハ振生
呉の人

顧鳳翔 字ハ羽屋桐村と号
呉の人

胡安國 字ハ康侯謝上蔡
門人宋朝春秋伝ヲ
名ハ寅字ハ明仲安
のち子安ニ

胡致堂 名ハ宏字ハ仁仲安
胡五峯 のち子安の儒家

胡寿民 字ハ伯仁
元のち家

胡憲 字ハ原仲籍渓と号安
その従子ニシテ誰ニ従ヒ学
胡瑗 字ハ翼之教授ヨリ
経学文而ニ政事文而ニ
シテ教ヘ范文正ノ門人
少ニシテ安定と号

胡炳文 雲峯先生
安の儒家

胡益 字ハ士弘
元の人家

胡敬齋 明朝の
儒家

九食ヲ双剣ヲ
ヨリ孔門ニ

伍福 字ハ天錫
元の人家

呉王夫差 越王勾践ニ
滅ボサル

呉起 兵法ヲ教ヘ
ル魏ノ人又楚ノ人

呉玠 宋の時ノ
人家

呉道子 名ハ元玄ト
唐ノ画家

呉鎮 字ハ季重号
清ノ画家

呉偉 字ハ士英号
清ノ画家

顧可久 字ハ子新
号清ノ画家

顧愷之 字ハ長康晋陽ノ
人ナリ元ノ画家

顧炎武 字ハ寧人亭林と号
清ノ人家ニシテ学ヲ
ノ家ニ生ル

顧亭林 字ハ汝嘉
清ノ人家

顧言 字ハ君夫虞ニ
イラ元ノ画家

顧野王 字ハ希馮陳ノ時
呉ノ人家

顧仲瑛 名ハ元昭字ハ
ホシヲヒ 近文中叙

五柳先生 陶淵明ヲ
リウセイ

侯夫人 宋の時ノ
人家

呉王闔閭 呉ノ王ニ
ハヤラレ一ヒ眉間ニ尺

呉玠 宋の時ノ人家

呉の賢 字ハ友ラ松亭と号
呉門画家

呉の雁門 野農と号
呉門画家

呉の苑 字ハ楞香
呉の人

顧寿先 字ハ振生
呉の人

顧鳳翔 字ハ羽屋桐村と号
呉の人

胡安國 字ハ康侯謝上蔡
門人宋朝春秋伝ヲ
名ハ寅字ハ明仲安
のち子安ニ

胡致堂 名ハ宏字ハ仁仲安
胡五峯 のち子安の儒家

胡寿民 字ハ伯仁
元のち家

胡憲 字ハ原仲籍渓と号安
その従子ニシテ誰ニ従ヒ学
胡瑗 字ハ翼之教授ヨリ
経学文而ニ政事文而ニ
シテ教ヘ范文正ノ門人
少ニシテ安定と号

胡炳文 雲峯先生
安の儒家

胡益 字ハ士弘
元の人家

胡敬齋 明朝の
儒家

五呂五衍（ゴキョゴエン）字ハ子行　元の士家
貢師泰（コウシタイ）字ハ仲章　元の宰家
國姓爺（コクセンヤ）日本肥前平戸の民　姓ハ鄭成功と称明亡びたるのち清と戦　永暦三年二月堵伽沙古（ボサツ）に没す
㊀護法菩薩（ゴホウボサツ）天竺の人　六経一論に通ぐ
支那に没せし仏家の祖師
今昔物語（コンジャクモノガタリ）南天竺の人　龍智と云ふ
唐の開元（カイゲン）十四年
虎丘（コキュウ）名ハ紹隆　宋朝の名僧
古林（コリン）名ハ清茂　元朝の名僧

工　英工之部

蝦夷（エゾ）蘇我馬子の男入鹿の父
遠友盛遠（エンドウモリトオ）渡て婦女を殺害　婚
姚浚昌（エウゴショウ）眼画の名人
村雪齋（センサイ）名ハ宗俊　松尾家の儒家実文
中波有（ナカバアリ）一百業
枝至元（エダシゲン）皇人と称す　定家流の書
㊀塩冶高貞（エンヤコウテイ）足利氏の臣　太平記に見ゆ
㊁役行者（エンノギョウジャ）名ハ小角　文武帝の朝　苦慨して入唐せんとす
一松果を含みて一言なし　一説に一松果を含みて一言なし　一説に一松果を含みて一言なし
㊂

（工）

㊀蝦夷（エミシ）蘇我馬子の男入鹿の父
㊁遠友盛遠（エンドウモリトオ）渡て婦女を殺害　婚
㊂姚浚昌（エウゴショウ）眼画の名人
村雪齋（センサイ）名ハ宗俊　松尾家の儒家実文
中波有（ナカバアリ）一百業
枝至元（エダシゲン）皇人と称す　定家流の書
㊃塩冶高貞（エンヤコウテイ）足利氏の臣　太平記に見ゆ
㊄役行者（エンノギョウジャ）名ハ小角　文武帝の朝　苦慨して入唐せんとす
一松果を含みて一言なし　一説に一松果を含みて一言なし　一説に一松果を含みて一言なし
㊅

（工）

虞（エイソン）南宋の画人
九皐寂九十歳の老僧
栄西（エイサイ）字ハ明庵　宋朝の名僧
燕丹（エンタン）燕国の太子　名ハ丹　秦の虞卿（ぐけい）と白虹貫日の故事
燕山雪梅（エンザンセツバイ）元の画家
延祐（エンユウ）元朝の年号
姚思廉（ヨウシレン）隋の姚察の子　伯著作佐郎
姚最（ヨウサイ）字ハ士会　梁の画家
姚綬（ヨウジュ）字ハ公茂　号を叔山と云ふ　明の画家
姚安（ヨウアン）元朝の画家
姚広孝（ヨウコウコウ）字ハ斯道　号を独庵と云ふ　明の画家
姚文奐（ヨウブンカン）字ハ惟恩　墨竹を善くす
姚綬（ヨウジュ）字ハ公茂　号を叔山と云ふ　明の画家
姚広孝（ヨウコウコウ）字ハ斯道　号を独庵と云ふ　明の画家
姚文奐（ヨウブンカン）字ハ惟恩　墨竹を善くす

（工）

袁了凡（エンリョウハン）名ハ黄　字ハ坤儀　明朝歴史綱鑑を著す
袁宏道（エンコウドウ）字ハ仲郎　明の儒士　十集を著す
袁尚統（エンショウトウ）字ハ士晋　清の画家
衛夫人（エイフジン）名ハ鑠　字ハ茂猗　王羲之の妻　書の大家
衛瓘（エイカン）字ハ伯玉　晋朝の人　又顕名を法芝と改む　瓘ハ草文を善くす
衛恒（エイコウ）字ハ巨山　晋朝の人　瓘の子　恒ハ隷書を善くす
永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊆永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊇永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊈永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊉永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊋永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊌永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊍永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊎永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊏永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊐永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊑永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊒永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊓永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊔永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊕永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊖永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊗永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊘永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊙永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊚永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊛永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊜永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊝永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊞永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊟永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊠永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊡永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊢永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊣永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊤永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊥永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊦永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊧永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊨永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊩永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊪永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊫永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊬永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊭永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊮永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊯永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊰永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊱永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊲永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊳永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊴永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊵永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊶永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊷永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊸永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊹永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊺永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊻永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊼永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊽永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊾永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十
㊿永沢（エイタク）清朝の人　一日寂八十

（工）

禅の朝かほ
うまし

慧可（エカ）禅の二祖なり心法眼蔵に法衣を受階の開宝十三年三月十六日寂太祖強請と號

慧能（エノウ）初て又小猴と諡し勅を拝毎年春天渡経の文祖ふ忌大師かは雄坊白拝のうるをもて大師法衣をもて祖とうり七十二ヵ年にして寂大鑑禅師と諡

慧可（エカ）より下代の人伝を廬山下三十余年影山に住び遠僧に会を送りて虎溪を界とせず唯十二大尖禅師と諡

慧門（エモン）名知師法のうち

テ之部

天智天皇（テンチテンワウ）舒明帝の皇子母は皇極帝天智の即位十年冬十月崩

天武天皇（テンムテンワウ）天智の弟舒明帝の第三子母は同帝の皇后なり

定家卿（テイカキヤウ）名は二位為家の男京極黄門と称小倉山荘と中興の祖上代様古今集の撰あり法名を定家流と称仁治二年八月廿日寂

貞信公（テイシンコウ）名は忠平昭宣公の男実は白河院の落胤なり延喜の治人之

貞徳翁（テイトクオウ）松永氏

貞室（テイシツ）安原氏心章一号初め貞徳門俳枝延宝中没

貞徳（テイトク）俗名は吉田氏仰雲軒今徳門俗貞徳門之孫中没

貞柳（テイリウ）一名伝右衛門通称を称永田氏（十）

出口延佳（デグチノブヨシ）伊勢度会の神官垂加門人

蝶々子（テフテフし）貞室門俳林貞室門人

堤亭（テイてい）下邑氏其角門俳林

（天）徳教大師（テンギヤウ）東漢献帝の後裔江左の人三津氏百枝の男名は最沈日本台宗の祖延暦寺の開山入滅の後慈覚大師と称

超元（テウゲン）字は乃者南山と号明の僧寛永中長崎に寓日本仏法開くる僧多し後ち（後水尾帝の時）世に乃者元と称禅家之

適庵（テキアン）名は法以天竜派の僧

天與（テンヨ）名は紀昭明帝の人儒学仁寺の住僧碩学

天鏡（テンキヤウ）名は灵致南禅派の僧

天英（テンエイ）名は周防相良流芸州台徒山家の大師と称

天縦（テンジュ）名は宗実天永中大徳

徹翁（テツワウ）名は宗亨号妙智院法嗣大徳寺の住僧

天秩（テンチツ）名は紹孫大徳流の天釈（テンシヤク）名は紹果号大徳寺住僧

徹書記（テツショキ）姓は紀名は心徹字は法岩東福寺の書記招

天室（テンシツ）名は宗珍一如子と号大徳流の僧

貞恕（テイジョ）俗氏は北条氏名は宗哲号は永中没

貞陸（テイリク）俗称は玄門

懐太郎（テイタラウ）光室と称

貞高（テイカウ）俗称は古奈屋名は重高号は仰雲軒

光雅（テルまさ）（表）平城帝の皇子融公の孫にて高人ありて名を光雅と改

寺井養拙（テラヰヤウセツ）名は子共号は洋々門人也

寺島良安（テラジマリヤウアン）和漢三才図会の作名は大橋氏

寺田ダム禅（テラダムゼン）名は正辰号は友古又は禄亭保の氏俗称玄一流

北殿司（キタドノヅカサ）渋川の人本福寺の坂司より吉北又破芭蕉と号丹者の妹なり緑名は宗哲又石砂漢の像を画今天井ふ蛟竜を画ハ此像なり

鉄舟（テッシウ）字は徹秋浪滅観光院冥山号会公の弟子画像

鉄山（テツザン）名は宗洗奥州心流の祖元和中寂

鉄叟（テッソウ）名は宗秀妹江流の祖

鉄眼（テツガン）名は光訳号は敬信の子京都の僧

鉄牛（テツギウ）名は機仙宏大年寺の住僧

鉄梅（テツバイ）名は秀吉号は竹華

天眞（シン）名ハ宗昇始心流の祖

（漢）帝喾（テイコク）陶唐氏名ハ放勳大便ヲ以テ号ス

趙高（テウカウ）秦始皇ニ仕ヘ改ヲ専ラニシテ秦ヲ亡ス

のおそるゝを捨て鳥ゝと云ふ元の已に従ふを例法後滅す

趙飛燕（テウヒエン）漢の成帝ニ立て后トセラレ初ハ長安の宮女ニ舞ヲ学ビ後ニ傾城の美質ヲ以テ燕ノ如シト称セラル

趙雲（テウウン）字ハ子龍蜀ノ猛将英雄ノ志良シ

趙岐（テウキ）後漢ノ人幼ヨリ経学ニカヲ用ヒ孟子ノ註ヲ作ル

趙至（テウシ）字ハ景眞晋ノ恵康ノ学士舎ノ邀ヲ辞ス

趙嘏（テウカ）字ハ承祐唐朝ノ儒家

趙汸（テウダク）字ハ撝謙休寧ノ賢相

趙普（テウフ）字ハ則平宋ノ相

趙孟頫（テウモウフ）名ハ孟頫松雪ト号ス元朝ノ学士書画ヲ能ス

趙子昂（テウスカウ）名ハ孟頫松雪ト号ス元朝ノ学士書画ヲ能ス

趙雍（テウヨウ）字ハ仲穆子昂ノ子ニシテ書画ヲ善ス

趙式（テウシキ）明ノ画夫

趙壽（テウジユ）字ハ南山明ノ画家

趙琦（テウキ）字ハ枝期初名之碩ト改ム八十五明朝画ヲ善ス

趙宧光（テウクワンクワウ）字ハ凡夫明朝ノ学ヲ好ミ篆書ヲ善クシテ又草隷ヲ能クス独リ説文長箋ノミハ独解セラレズ

趙繼宗（テウケイソウ）字ハ子直敬徳ト号ス明朝ノ医家

趙獻可（テウケンカ）養葵ト号又ハ閻子明朝ノ医家

趙開美（テウカイビ）号ハ常ノ人ト号ス明ノ医家

趙均（テウキン）字ハ灵均号ハ清ノ書家

趙子澄（テウシチヨウ）字ハ素廉宋ノ宗室清ノ書家

趙潤（テウジユン）字ハ錫爵号ハ爵淞陽又玉清ノ書家

趙徵（テウチヨウ）字ハ徵之号ハ清ノ画家

趙儀（テウギ）字ハ康成後漢ノ融ノ門人大名ヲ以テ示記ヲ作ル

程鉅夫（テイキヨフ）名ハ文海号ハ雪楼元ノ書家

程雲（テイウン）字ハ無用元ノ画士ト号ス

鄭錄（テイロク）字ハ克敬元ノ書家

鄭培（テイバイ）字ハ山如古亭ト号ス元ノ画家

鄭文賢（テイブンケン）字ハ宗仁明ノ書家

鄭子龍（テイシリヨウ）字ハ元虹明ノ書家

丁雲鵬（テイウンホウ）字ハ南沙古雲号ハ洛明朝ノ画家

丁守訓（テイシユクン）字ハ璿懐石樵ト号ス書家

丁鳳（テイホウ）字ハ文瑞竹渓ト号ス明朝ノ医家

丁元薦（テイゲンセン）字ハ長孺曲肱ト号ス明朝ノ医家

程子（テイシ）姓ハ程名ハ顯字ハ伯淳明名ト号ス分名頤字ハ正叔伊川ト号ス共ニ宋朝周恵叔ノ門人ニシテ大儒ト称ス

程雲（テイウン）字ハ克敬元ノ書家

程震（テイシン）雨亭ト号ス清ノ書家

程連城（テイレンジヤウ）号ハ秋潭ト号ス清ノ画家

程鈖南（テイケンナン）字ハ玉根竹渓ト号ス楷書ヲ善クス

ア之部

（テ）

趙普（テウフ）字ハ則平宋の相

趙孟頫（テウモウフ）名ハ孟頫松雪ト号ス元朝の学士書画ヲ能ス

趙子昂（テウスカウ）名ハ孟頫松雪ト号ス元朝の学士書画ヲ能ス

趙雍（テウヨウ）字ハ仲穆子昂ノ子ニシテ書画ヲ善ス

趙式（テウシキ）明ノ画夫

趙壽（テウジユ）字ハ南山明ノ画家

趙琦（テウキ）字ハ枝期初名之碩ト改ム八十五明朝画ヲ善ス

趙宧光（テウクワンクワウ）字ハ凡夫明朝ノ学ヲ好ミ篆書ヲ善クシテ又草隷ヲ能クス独リ説文長箋ノミハ独解セラレズ

趙繼宗（テウケイソウ）字ハ子直敬徳ト号ス明朝ノ医家

趙獻可（テウケンカ）養葵ト号又ハ閻子明朝ノ医家

（テ）

鄭高（テイカウ）字ハ天成後頴渓ト号ス清ノ画家

鄭單山（テイタンザン）字ハ衛生ヲ善クス

鄭錯（テイサク）漢ノ人初ノ名ハ

晁補之（テウホシ）字ハ无咎宋ノ書家

鉄枴（テツカイ）李ヲ注釈ヲ作ル仙術ヲ得ル仙人ニシテ

丁令威（テイレイヰ）仙術ヲ得テ鶴ニ化シテ遼東ニ帰リシト云フ

丁書嵓（テイシヨカン）宋朝ノ書家

丁徳用（テイトクヨウ）宋ノ医家補綴ヲ善クス

丁雀羊（テイクワクヨウ）海巣ト号ス元ノ書家

丁野夫（テイヤフ）回教ノ人元ノ画家

天照皇大神（アマテラスオホミカミ）地神第一伊弉諾尊ノ子

天忍穂耳尊（アメノオシホミミノミコト）地神第二

天津甕星（アマツミカボシ）

天御中主尊（アメノミナカヌシノミコト）

天細女命（アメノホソメノミコト）太古ノ女人

天穂日命（アメノホヒノミコト）出雲ノ祖

天兒屋根命（アメノコヤネノミコト）與登姫命ノ御中ニ降リ中臣ノ祖

足摩乳（アシナヅチ）稲田姫ノ祖

脚摩乳（アシナヅチ）

阿保親王（アホシンワウ）平城天皇ノ第三ノ皇子

漢織（あやはとり）　肢那県の名、呉織と同じ

女工雄略の時に呉織と共に来朝す

（ア）

敦忠（アツタダ）　大納言時平公の男

枇杷中納言と称す

敦盛（アツモリ）　平家従三位経盛の男

大夫一の谷にて討死す

顕輔（アキスケ）　刑部卿清輔の男

文大夫と称す

二条中納言

安倍仲麻呂（アベノナカマロ）　中古の和学の博士

唐に渡り晁衡と改む

安倍貞任（アベノサダトウ）　安倍頼時の男

奥州にて討死す

安倍晴明（アベノセイメイ）　陰陽の博士

安達盛長（アダチモリナガ）　後九年の役に将軍頼義の臣

足立遠元（アダチトオモト）　盛長の弟

別家す

足利尊氏（アシカガタカウヂ）　三河源氏の嫡流

征夷大将軍

二位大納言

（イ）

赤松大膳亮（アカマツダイゼンノスケ）　名は弘字、敷用

赤松龍南（アカマツリョウナン）　名は春字、有年

赤井雅楽之介（アカヰウタノスケ）　名は恭

水谷勝左衛門（アカヰカツザエモン）　名は勝

赤井得斎（アカヰトクサイ）　名は時

赤井兵部之介（アカヰヒヤウブノスケ）　名は忠

赤井井頭之介（アカヰイトウノスケ）　名は直

赤松円心（アカマツエンシン）　浅野の出

播州の人

赤松則祐（アカマツノリスケ）　円心の男

赤松満祐（アカマツミツスケ）　則祐の男

赤松義則（アカマツヨシノリ）　満祐の父

赤松義雅（アカマツヨシマサ）　義則の男

赤松義村（アカマツヨシムラ）　義雅の男

赤松義政（アカマツヨシマサ）　義村の男

赤松義秋（アカマツヨシアキ）　義政の男

赤松義晴（アカマツヨシハル）　義秋の男

赤松義藤（アカマツヨシフヂ）　義晴の男

赤松義祐（アカマツヨシスケ）　義藤の男

赤松義村（アカマツヨシムラ）　義祐

孫肥後隱本姓の
僧侶
(ア)
(ア廿)
(十)
(漢)
(尺)
(ア)
(廿)
(十)

定好（サダヨシ）　公任（キンタウ）の男権大納言
在五中将（サイゴノチウジヤウ）　㊐在原業平
指神子（サスノミコ）　安倍晴明（アベノセイメイ）　此人世俗陽
　成帝私通元年御年胡
　作佐留卒と
　あり
猴山閑暁（サヤマノカンギヤウ）　実ハ狭卿（サケウ）不言爾
　朝臣出仕一流を立安永の
　比海門大よ伝る
山路用（サンロノモチヰ）　帝潜竜の時
　流罪まされ此の名を改
　とある容を牧童ニやつし山林
　と号し家毛を遂て伏住る
山西令徳（サンセイレイトク）　姓氏未詳海部城
　麿住し後大阪
　浦の山よりう船を引通
　せ処を名づけ死して
　石となる
佐理（サリ）　左京敦敏の男参議正
　三位勅使従まで世に佳蹟と
　称ス従四位上行成まで上代の
　名筆日本三蹟と
　称ス
佐為継伝（サヨツギヅタ）　三色の清涼平
　第一の教経の矢よ矛
　たをあらそふ
佐友忠伝（タスケヅタ）　継伝の弟に清経投水の
　事を経し後の

　絵をもまた父の跡
　出のうまれ
佐手束（サテヅカ）　名人醍醐
　帝の
　御代に
佐手束源太（サテヅカゲンタ）　名人手潜宇ハ
　弁長と称ス和田氏の
佐為則（サタノリ）　名ハ重方宇ハ
　子正み治承の
　頃の儒士
佐為業（サタナリ）　名ハ周定公子ハ
　紗門人杜平
　この儒家
佐文字（サモジ）　建仁の比筑紫の
　刀工姓ハ源名ハ九
　坂上是則と
　延喜の比大内記
　学人

最明寺時頼（サイミヤウジトキヨリ）　北条右馬介時
　宗と号ス二代執権
　遺跡を立奉坐禅のうまく
　天下よく
　治りぬ
西園寺公経（サイオンジキンツネ）　名ハ実門摂政
　太政大臣従一位
　改天台歌人と
　寛元
　二年薨
西武（サイム）　山城氏秋岡自門七
　仙仙の門延宝中没七十三
西鶴（サイカク）　井原氏二万句を一日
　二万句七ツ仙林元禄中
　没京周門人
西吟（サイギン）　西翁仙林　西翁門人松尾の
　系ハ
里村昌叱（サトムラショウシツ）　京の人紹巴門
　休と称ス宗牧門人玄仲
　宗匠

　安倍氏
　陽家
坂倉伊勢（サカクライセ）　名ハ美仲
　号ス初
　茶書
　和歌人㊐
酒田令時（サカタノヨシトキ）　公時よりして
　源朝臣ニてす
佐藤為清（サトウタメキヨ）　名ハ維磐元六を
　秋藤と称ス
　源為朝
　男
遠田与一（トホタノヨイチ）　家広と称ス
　三位の男新
　左衛門尉
薄手忠度（ウスデノタダノリ）　平清盛
　の弟㊋

沢田(サワダ)吉右(オキナ)衛門(ウエモン)
沢一齋(サワイツサイ) 名八字潮字文拱風月主盟之一人
沢村琴所(サワムラキンショ) 名八維駒字八伯揚與二兄之一人
称儒家
桜井基尤(サクライモトスケ) 中勢丞と称家祇同時の連歌師
榊原玄輔(サカキバラゲンポ) 字八希翊號渕と号朝共称八人
紀州の儒家
宝永二年没
相阿弥(ソウアミ) 名八古の相阿弥と号秋と号多能の人
戈壁(サイヘキ) 推本氏舊姓谷海大坂の俳林之文中没八十二
定免(サダメ) 服部氏俳林者組八人

(廿)

杉風(サンプウ) 江戸俳林初魚を称
蕉翁(ショウオウ) 歌楽蛟芝最の之祖と称す三部
猿蓑(サルミノ)を初三部 歌楽蛟芝最の之祖と称す三部
私の附合の発句を場本ともうまたそれをそえ又系統をうかがう
衣裳をのこし
(天)西行(サイギョウ) 佐藤氏名義清法名円位
院の上北面にうる私家の集人の名にて大実坊円位と称す
久安六年二月叙爵兵庫頭に任ず
鼓の打合の秘伝を場本ともうまたそれをそえ又系統をうかがう
衣裳をのこし
西行(サイギョウ) 佐藤氏名義清法名円位
院の上北面にうる私家の集人の名にて大実坊円位と称す
久安六年二月叙爵兵庫頭に任ず
鼓の打合の秘伝を場本ともうまたそれをそえ又系統をうかがう
衣裳をのこし
西源(サイゲン) 名八系師東福流の
法意あり二年寂
西順(サイジュン) 名八俊成おもちの俳伯
法名を西永申寂
西浦(サイホ) 名八宗清法名西宗京泉涌寺の
軍山ちる住
西吟(サイセン) 名八宗淵姓心寺流の
ちる住
西山宗因(サイザンソウイン) 名八号梅翁風月主盟之一人称家
の情林儒伯ちる
下の初孔ス
沢村琴所(サワムラキンショ) 名八維駒字八伯揚與二兄之一人称
家
桜井基尤(サクライモトスケ) 中勢丞と称家祇同時の連歌師
榊原玄輔(サカキバラゲンポ) 字八希翊號渕と号朝共称八人
紀州の儒家
宝永二年没
相阿弥(ソウアミ) 名八古の相阿弥と号秋と号多能の人
戈壁(サイヘキ) 推本氏舊姓谷海大坂
の俳林之文中没八十二
定免(サダメ) 服部氏俳林者組八人

(廿)

(漢)倉頡(ソウケツ) 黄帝の史官仰ぎ
る迹をうつくりて始て文字を
倉公(ソウコウ) 斉の大夫大倉の長男ハ
淳于名ハ意大后文帝
の時の良医
巣父(ソウホ) 堯の時山居深遠樹を
巣とし人となりを愛せず名
を知るもの
散宜生(サンギセイ) 周の賢人
宮我(サイガ) 名八予字八子我孔子の
門子天性利口多弁
春秋伝を祖今の
左氏明(サキョウメイ) 春秋伝を祖今の
左氏明(サキョウメイ)春秋伝を祖今の
左氏明(サキョウメイ)
廖の田常こと
斑固(ハンコ) 字八孟堅後漢の人
漢書を撰述
班昭(ハンショウ) 字八恵姫固の妹
曹大家(ソウタイカ)と称
蔡倫(サイリン) 漢の世にはじめて
紙を漉とも
蔡元定(サイゲンテイ) 字八季通朱子門人
称呂新安の
蔡沈(サイチン) 字八仲黙元定の子
蓍と号朱子門人
をうけ書を父子家初の
儒家
蔡謨(サイボ) 字仲堅晋の
蔡襄(サイジョウ) 字君謨宋の
出家
蔡卞(サイベン) 字八元実徽元の
出家
蔡法(サイホウ) 字八允邦一の字八法令
法の出家
蔡簡(サイカン) 字八隆閑唐法士又
顛を称法の
曹子建(ソウシケン) 魏武帝の三子七
歩の才と称陳思王

(廿)

(廿)

西浦(サイホ) 名八宗清法名西宗京泉涌寺の
軍山ちる住
西吟(サイセン) 名八宗淵姓心寺流の
ちる住
西山宗因(サイザンソウイン) 名八号梅翁風月主盟之一人称家
の情林儒伯ちる
下の初孔ス
策彦(サクゲン) 名八周良俗称と号梅
洗虎叩又西湖の
策傳(サクテン) 撃剣
落ち
ふあ乐
こるる
才蔵(サイゾウ) 名八宗
て
在山(ザイサン) 名八素
在中
象初(ゾウショ) 名八中
ち住
洲竜(シュウリュウ) 名八宗樹
ま
画
とり
曹洞行脚(ソウトウアンギャ) 村上帝九代源亜
相五ツの男法

尤思(サイシ) 字八太沖晋
ける
成て家
こまが
左蘇(サソ) 二玉の
兵人
荘子(ソウジ) 宋人名八周字八子休孟
子と時を同一千字
ざる
と
荘周生(ソウシュウセイ) 漢
画家
蔡宝邑(サイホウユウ) 字八伯喈漢の人
を正史六経の文字
延又
を
蔡元定(サイゲンテイ) 字八季通朱子門人
称呂新安の出家
蔡琰(サイエン) 字又昭邑ちる
とり
蔡沈(サイチン) 字八仲黙元定の子
蓍と号朱子門人
をうけ書を父子家初の
儒家
蔡謨(サイボ) 字仲堅晋の
蔡襄(サイジョウ) 字君謨宋の
出家
蔡卞(サイベン) 字八元実徽元の
出家
蔡法(サイホウ) 字八允邦一の字八法令
法の出家
蔡簡(サイカン) 字八隆閑唐法士又
顛を称法の
曹子建(ソウシケン) 魏武帝の三子七
歩の才と称陳思王

(廿)

曹攄（サウリョ）　字ハ顔遠　晋ノ偏裨ノ職ヲ歴ル人

曹彬（サウヒン）　字ハ道冥　宋ノ武ノ家

曹時中（サウジチウ）　初名ハ定　唐ノ文宗ノ時ノ画家　居士ト号ス

曹霊挙（サウカンゼ）　字ハ仲将　唐ノ開元ノ画家

曹振（サウシン）　初名ハ玉　字ハ二百　清ノ画家

塞翁（サイオウ）　ヨリ転ジテ老ヒ耄ケタル者ヲ呼ブ語トナリ

山濤（サントウ）　字ハ巨源　晋ノ竹林七賢ノ内

崔瑗（サイエン）　字ハ子玉　漢ノ崔駰ノ子　善ク文ト作ル　蔡邕ヨリ名家ト称セラル

山崔鴻（サイカウ）　魏ノ博学ノ士ニシテ　著ス所ノ書十六冊アリ

山崔顕（サイケン）　唐ノ詩人ニシテ　夙ニ英名ヲ擅ニシ　善ク書ヲ能クス

保同（ホドウ）　二司ニ同ジ　保ハ安ンジ　同ハ和スルヲ云フ

紀納（キノウ）　字ハ子言　紀長公楹ノ子ニシテ　紀侯ノ名世ニ

寛（カン）　仲文ト称ス　晋ノ人ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀在昌（キザイシャウ）　長公楹ノ祖父ニシテ　文人ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀淑（キシュク）　長公楹ノ父ニシテ　名ハ文ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀伊（キイ）　字ハ内叔　紀侯ノ弟ニシテ　平侯ノ叔父ニシテ　善ク書ヲ能クス

妹喜（バツキ）　夏ノ桀王ノ后ニシテ　桀ノ暴虐ヲ助長シ　遂ニ桀ヲシテ南巣ニ放逐セシメタル悪婦人ナリ

紀侯（キコウ）　名ハ不詳　紀ノ最後ノ君主ニシテ　斉ノ為ニ滅ボサレタリ

紀侯大去其国（キコウタイキョソノクニヲサル）　紀侯ノ弟ノ紀季ガ　紀ノ国ヲ斉ニ譲リテ　紀侯ヲ去ラシメタルヲ云フ

紀季以酅入于斉（キキイケイヲモッテスナワチサイニイル）　紀季ガ酅ノ地ヲ以テ　斉ニ入リテ　斉ノ附庸トナリタルヲ云フ

紀信（キシン）　字ハ武臣　漢ノ高祖ノ臣ニシテ　高祖ノ為ニ身代リトナリテ　項羽ニ焼殺サレタル忠臣ナリ

紀侯大去其国　紀侯ノ弟ノ紀季ガ　紀ノ国ヲ斉ニ譲リテ　紀侯ヲ去ラシメタルヲ云フ

紀季以酅入于斉　紀季ガ酅ノ地ヲ以テ　斉ニ入リテ　斉ノ附庸トナリタルヲ云フ

紀信　字ハ武臣　漢ノ高祖ノ臣ニシテ　高祖ノ為ニ身代リトナリテ　項羽ニ焼殺サレタル忠臣ナリ

木曾義仲（キソヨシナカ）　源ノ為朝ノ男ニシテ　源ノ頼朝ノ従兄弟ニアタル人ナリ

清田君綿（キヨタクニキン）　名ハ綿僖　又ノ名ハ文人ニシテ　孔衍ノ撰文ニ与ル

紀納（キノウ）　字ハ子言　紀長公楹ノ子ニシテ　紀侯ノ名世ニ

寛（カン）　仲文ト称ス　晋ノ人ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀在昌（キザイシャウ）　長公楹ノ祖父ニシテ　文人ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀淑（キシュク）　長公楹ノ父ニシテ　名ハ文ニシテ　善ク書ヲ能クス

紀伊（キイ）　字ハ内叔　紀侯ノ弟ニシテ　平侯ノ叔父ニシテ　善ク書ヲ能クス

妹喜（バツキ）　夏ノ桀王ノ后ニシテ　桀ノ暴虐ヲ助長シ　遂ニ桀ヲシテ南巣ニ放逐セシメタル悪婦人ナリ

紀侯（キコウ）　名ハ不詳　紀ノ最後ノ君主ニシテ　斉ノ為ニ滅ボサレタリ

紀侯大去其国（キコウタイキョソノクニヲサル）　紀侯ノ弟ノ紀季ガ　紀ノ国ヲ斉ニ譲リテ　紀侯ヲ去ラシメタルヲ云フ

紀季以酅入于斉（キキイケイヲモッテスナワチサイニイル）　紀季ガ酅ノ地ヲ以テ　斉ニ入リテ　斉ノ附庸トナリタルヲ云フ

紀信（キシン）　字ハ武臣　漢ノ高祖ノ臣ニシテ　高祖ノ為ニ身代リトナリテ　項羽ニ焼殺サレタル忠臣ナリ

木下錦里（キノシタキンリ）　名ハ貞幹　字ハ公亮　称ハ弥右衛門　錦里ト号ス　夫妻ノ画ヲ能クス

木村高敏（キムラカウビン）　称ハ弥十郎　江戸ノ人

今宮和（キンノミヤカ）　名ハ義長　和ハ字ナリ

木下錦里（キノシタキンリ）　名ハ貞幹　字ハ公亮　称ハ弥右衛門　錦里ト号ス　夫妻ノ画ヲ能クス

木村高敏（キムラカウビン）　称ハ弥十郎　江戸ノ人

今宮和（キンノミヤカ）　名ハ義長　和ハ字ナリ

木村永光（キムラナガミツ）　名ハ弥右衛門　永光ト号ス　江戸ノ人

木下逸雲（キノシタイツン）　名ハ貞幹　逸雲ト号ス　錦里ノ弟ニシテ　亦夫妻ノ画ヲ能クス

木村永光（キムラナガミツ）　名ハ弥右衛門　永光ト号ス　江戸ノ人

木下逸雲（キノシタイツン）　名ハ貞幹　逸雲ト号ス　錦里ノ弟ニシテ　亦夫妻ノ画ヲ能クス

木戸忠次（キドチウジ）　名ハ孝允　忠次ト称ス　長門ノ人ニシテ　維新ノ元勲ナリ

木戸孝允（キドタカヨシ）　名ハ孝允　忠次ト称ス　長門ノ人ニシテ　維新ノ元勲ナリ

木戸忠次（キドチウジ）　名ハ孝允　忠次ト称ス　長門ノ人ニシテ　維新ノ元勲ナリ

木戸孝允（キドタカヨシ）　名ハ孝允　忠次ト称ス　長門ノ人ニシテ　維新ノ元勲ナリ

木戸孝正（キドタカマサ）　名ハ孝正　通称ハ準一郎　孝允ノ嗣子ニシテ　侯爵ヲ襲ケリ

木戸孝正（キドタカマサ）　名ハ孝正　通称ハ準一郎　孝允ノ嗣子ニシテ　侯爵ヲ襲ケリ

木戸幸一（キドコウイチ）　名ハ幸一　孝正

キタムキウンチク八唐人ニ学ビ孫忠家小石雲外ニ学ビ倭士桃李猿小原白山ニ一幅絹ヲ与ヘ古良勝実村橋ノ門人ナリ孫蘭達比ノ師ニシテ中華傷ヲ愛ス

キクガハナンヤウ名ハ包揚字ハ伯暘孫儒臣山長秋ト称ス出法一流

キウヤ玖也 家園ノ門人

キカク其角 宗井氏宝晋ト称ス晋ニ学ビ俳林中興ノ一人ナリ其角ノ門ニ俳林ノ号ヲ与フ

キサイ素丸 姓ハ井上氏名ハ正興通称ハ十郎兵衛ト云ヒ又ハ半左衛門ト改ム別ニ一家ヲ立テ俳林ニ名アリ

キシ其師 姓ハ松尾氏名ハ芭蕉ト改ム俳林中興ノ一人ナリ

ギシウ義仲 姓ハ源氏名ハ義仲通称ハ次郎ト云ヒ又帯刀先生ト称ス為朝ノ孫ニシテ左馬頭義賢ノ子ナリ木曾ニ住シ兵ヲ挙ゲテ平家ヲ討チ後ニ頼朝ノ為ニ滅ボサル

ギシウ義周 姓ハ源氏名ハ義周通称ハ幸若丸ト云ヒ義経ノ子ナリ父ニ従ヒ奥州ニ赴キ衣川ノ館ニ於テ父ト共ニ自殺ス

ギシウ義重 姓ハ源氏名ハ義重通称ハ次郎ト云ヒ新田ト号ス義国ノ子ニシテ頼朝ノ為ニ滅ボサル

ギシウ義周 姓ハ源氏名ハ義周通称ハ幸若丸ト云ヒ義経ノ子ナリ父ニ従ヒ奥州ニ赴キ衣川ノ館ニ於テ父ト共ニ自殺ス

ギシウ義重 姓ハ源氏名ハ義重通称ハ次郎ト云ヒ新田ト号ス義国ノ子ニシテ頼朝ノ為ニ滅ボサル

許王堂 宋ハ名ハ忠ヲ字ス仙
許自宏 宋ハ君如ト山水ヲ善クスルノ画ヲ名ク
許巨川 名ハ漢ト山水ノ画ヲ善クス
許谷 宋ハ默公ト字ス胡
言ヲ善クス
箕子 殷紂王ノ庶兄周ノ武王殷ヲ亡シ箕ニ封ゼラルヽ大賢ヲ知テ胡銓ヲ以テ封ゼラルヽ洪範ハ其ノ述ル所ナリ
遠伯玉 衛ノ賢大夫
季子文子 魯ノ賢大夫
李里綺 商山四皓ノ一人漢ノ恵帝ヲ輔ク
魏曹操 宋ハ孟徳ト字ス沛ニ生ル天下ノ争乱ヲ平ゲ武帝ト諡ス後魏ヲ追述シテ文皇ト諡ス後魏ヲ追述
魏收 宋ハ伯起北齊ノ儒ノ巨擘ノ人
魏徴 宋ハ子元文中子ノ門人唐ノ大臣ナリ其ノ事ハ別ニ出ヅ
魏雲端 宋ハ詳卿元ノ書家
魏時應 宋ハ濮州ノ人醫中牲祝ノ字ナリ名ニ
魏際昌 宋ハ伯奨雄飛ト号ス明胡ノ書家
魏喈鳳 宋ハ劍名伯莊泰始ノ頃ヨリ頃ヨリ頃ヨリ

湯山三郎兵衛流ヲ出ツ近清流ヲ出ツ
雪旅 牧谿ヲ改メテ雪旅ト号ス画ノ
(尺)遊行 蒲沢住浄光寺ノ僧俗四日ヲ遊行ト云フ
浦達 姫路ノ人
(漢)俞鎮 字ハ伯貞 元朝ノ画家
俞伯澄 元朝ノ画家
俞斎 字ハ大年清朝ノ画家
(尺)維摩 名ハ某 画ク所ノ維摩ノ形ハ岩屋ノ山岩屋ノ方丈ニ坐セシ時ノ形ヲ写セシモノ

馬鳴大師

天竺三巻ノ内ノ人 摩族三巻ノ内ノ人

妙楽大師

荊渓ト号ス 姓ハ戴氏名ハ湛然

(三)ユ部

湯浅

(尺)湯浅 紀伊ノ湯浅ノ城主ノ家

湯浅定宗

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗重

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗藤

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗弘

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗光

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗治

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗基

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗幸

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗貞

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗氏

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗秀

湯浅ノ城主ノ家

湯浅宗経

儒家

宮田今峯（ミヤタキンポウ）　名ハ明実ハ子亮　字ハ子奉　号ハ今峯ト称ス儒家

宮川尼（ミヤガハノアマ）　初メ名ハ智恩ト称ス

皆川淇園（ミナガハキエン）　名ハ愿字ハ伯恭　原茂ト称ス儒家

光信（ミツノブ）　京師の男子ニテ古法眼ト号ス古法眼ノ子ナリ

画家

光起（ミツオキ）　光琳ノ門人　古法眼ノ甥ニテ養子トナル

光琳（ミツリン）　光悦ノ門人　古法眼ノ甥ニテ養子トナル

光悦（ミツヨシ）　光信ノ子　古法眼ノ甥ニテ養子トナル

光益（ミツマス）　光悦ノ子ニテ画家

光忠（ミツタダ）　刑部卿法橋ノ家族ニテ画家　右京ト称ス

光特（ミツノブ）　光悦ノ子ニテ画家

光高（ミツタカ）　狩野探幽ト号ス狩野ノ一族ニテ画家

(漢)

眉間尺（ミケンジャク）　楚人父ハ干将母ハ莫耶名ハ赤眉

(ア)

明中（メイチュウ）　名ハ澱之助ノ子

(レ)

之部

新羅三郎（シンラサブロウ）　八幡太郎義家ノ弟ニテ義光ト称ス

新田義貞（ニッタヨシサダ）　源氏ノ一族ニテ上野ノ国ノ人

源義家（ミナモトノヨシイエ）　頼義ノ子ニテ八幡太郎ト称ス

源頼朝（ミナモトノヨリトモ）　義朝ノ子ニテ鎌倉ニ幕府ヲ開キ征夷大将軍ト称ス

源義経（ミナモトノヨシツネ）　義朝ノ子ニテ頼朝ノ弟ナリ

源頼光（ミナモトノヨリミツ）　満仲ノ子ニテ摂津守ト称ス

源満仲（ミナモトノミツナカ）　経基ノ子ニテ多田ノ満仲ト称ス

源経基（ミナモトノツネモト）　清和天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

源為朝（ミナモトノタメトモ）　為義ノ子ニテ鎮西八郎ト称ス

源為義（ミナモトノタメヨシ）　義家ノ子ニテ為朝ノ父ナリ

源実朝（ミナモトノサネトモ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ三代将軍ト称ス

源頼政（ミナモトノヨリマサ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

源仲政（ミナモトノナカマサ）　頼光ノ子ニテ摂津守ト称ス

源頼義（ミナモトノヨリヨシ）　頼信ノ子ニテ八幡太郎ト称ス

源頼信（ミナモトノヨリノブ）　満仲ノ子ニテ河内守ト称ス

源頼家（ミナモトノヨリイエ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ二代将軍ト称ス

源頼国（ミナモトノヨリクニ）　頼綱ノ子ニテ伊予守ト称ス

源頼綱（ミナモトノヨリツナ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

源頼朝（ミナモトノヨリトモ）　義朝ノ子ニテ鎌倉ニ幕府ヲ開キ征夷大将軍ト称ス

源義経（ミナモトノヨシツネ）　義朝ノ子ニテ頼朝ノ弟ナリ

源頼光（ミナモトノヨリミツ）　満仲ノ子ニテ摂津守ト称ス

源満仲（ミナモトノミツナカ）　経基ノ子ニテ多田ノ満仲ト称ス

源経基（ミナモトノツネモト）　清和天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

源為朝（ミナモトノタメトモ）　為義ノ子ニテ鎮西八郎ト称ス

源為義（ミナモトノタメヨシ）　義家ノ子ニテ為朝ノ父ナリ

源実朝（ミナモトノサネトモ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ三代将軍ト称ス

源頼政（ミナモトノヨリマサ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

源仲政（ミナモトノナカマサ）　頼光ノ子ニテ摂津守ト称ス

源頼義（ミナモトノヨリヨシ）　頼信ノ子ニテ八幡太郎ト称ス

源頼信（ミナモトノヨリノブ）　満仲ノ子ニテ河内守ト称ス

源頼家（ミナモトノヨリイエ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ二代将軍ト称ス

源頼国（ミナモトノヨリクニ）　頼綱ノ子ニテ伊予守ト称ス

源頼綱（ミナモトノヨリツナ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

(ア)

明恵上人（メイエショウニン）　紀州ノ人平重国ノ男名ハ高弁ト号ス自ラ自ラ明恵ト称ス

(ミ)

未得（ミトク）　石田氏ノ貞門俳林

未琢（ミタク）　未得ノ子ニテ又狂歌ヲ善クス

光琳（ミツリン）　光悦ノ門人

光芳（ミツヨシ）　古法眼ノ甥ニテ養子トナル

(ム)

無名氏（ムメイシ）　貞門俳林

(メ)

明極（メイキョク）　名ハ楚俊元ノ伯父康元ノ子ニテ中日ヨリ来朝ス

明恵上人（メイエショウニン）　紀州ノ人平重国ノ男名ハ高弁ト号ス自ラ自ラ明恵ト称ス

(モ)

茂吉（モキチ）　名ハ秋哲文保中ニ来朝ス

(ヤ)

山の梅尾ノ隠者（ヤマノウメノオノインジャ）　名ハ高弁ト号ス自ラ自ラ明恵ト称ス

(ユ)

雪舟（ユキシュウ）　名ハ等楊ト号ス画家

(ヨ)

与謝蕪村（ヨサブソン）　名ハ信章ト号ス画家

(ラ)

頼山陽（ライサンヨウ）　名ハ襄ト号ス儒家

(リ)

李漁（リギョ）　名ハ笠翁ト号ス文学ニ長ス

李白（リハク）　名ハ太白ト号ス詩人

李杜（リト）　李白ト杜甫トヲ併セテ李杜ト称ス

(ル)

瑠璃光如来（ルリコウニョライ）　薬師ノ別名ニテ東方浄瑠璃世界ノ教主ナリ

(レ)

蓮如（レンニョ）　名ハ兼寿ト号ス浄土真宗ノ僧ニテ本願寺ヲ興ス

(ロ)

六条左大臣（ロクジョウノサダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条右大臣（ロクジョウノウダイジン）　名ハ顕通ト称ス

六条院（ロクジョウイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

六条宰相（ロクジョウノサイショウ）　名ハ有房ト称ス

六条中将（ロクジョウノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

六条内大臣（ロクジョウノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前大臣（ロクジョウノサキノオトド）　名ハ顕通ト称ス

六条前右大臣（ロクジョウノサキノウダイジン）　名ハ顕通ト称ス

六条前左大臣（ロクジョウノサキノサダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前内大臣（ロクジョウノサキノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前太政大臣（ロクジョウノサキノダイジョウダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前中納言（ロクジョウノサキノチュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

六条前中将（ロクジョウノサキノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

六条前内大臣（ロクジョウノサキノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前太政大臣（ロクジョウノサキノダイジョウダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前中納言（ロクジョウノサキノチュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

六条前中将（ロクジョウノサキノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

(ワ)

和気清麻呂（ワケノキヨマロ）　名ハ広虫ト称ス女子ニテ和気氏ノ一族ナリ

(ヰ)

井上内親王（イノウエノナイシンノウ）　光仁天皇ノ皇后ニテ他戸親王ノ母ナリ

(ヱ)

恵美押勝（エミノオシカツ）　名ハ藤原仲麻呂ト称ス

(オ)

大友皇子（オオトモノミコ）　天智天皇ノ皇子ニテ弘文天皇ト称ス

大伴旅人（オオトモノタビト）　安麻呂ノ子ニテ家持ノ父ナリ

大伴家持（オオトモノヤカモチ）　旅人ノ子ニテ万葉集ヲ撰ス

大伴安麻呂（オオトモノヤスマロ）　名ハ御行ト称ス

大伴御行（オオトモノミユキ）　名ハ安麻呂ト称ス

大伴金村（オオトモノカナムラ）　名ハ室屋ト称ス

大伴室屋（オオトモノムロヤ）　名ハ談ト称ス

大伴談（オオトモノカタリ）　名ハ連ト称ス

大伴連（オオトモノムラジ）　名ハ馬飼ト称ス

大伴馬飼（オオトモノウマカイ）　名ハ咋ト称ス

大伴咋（オオトモノクイ）　名ハ狭手彦ト称ス

大伴狭手彦（オオトモノサテヒコ）　名ハ金村ト称ス

大伴金村（オオトモノカナムラ）　名ハ室屋ト称ス

大伴室屋（オオトモノムロヤ）　名ハ談ト称ス

大伴談（オオトモノカタリ）　名ハ連ト称ス

大伴連（オオトモノムラジ）　名ハ馬飼ト称ス

大伴馬飼（オオトモノウマカイ）　名ハ咋ト称ス

大伴咋（オオトモノクイ）　名ハ狭手彦ト称ス

大伴狭手彦（オオトモノサテヒコ）　名ハ金村ト称ス

(カ)

花山院（カザンイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

(キ)

吉備真備（キビノマキビ）　名ハ下道ト称ス

(ク)

草壁皇子（クサカベノミコ）　天智天皇ノ皇子ニテ文武天皇ノ父ナリ

(ケ)

源氏（ゲンジ）　清和天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

(コ)

孝謙天皇（コウケンテンノウ）　聖武天皇ノ皇女ニテ女帝ナリ

(サ)

佐伯今毛人（サエキノイマエミシ）　名ハ清岡ト称ス

(シ)

持統天皇（ジトウテンノウ）　天智天皇ノ皇女ニテ女帝ナリ

(ス)

崇徳院（ストクイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

(セ)

清和天皇（セイワテンノウ）　文徳天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

(タ)

橘諸兄（タチバナノモロエ）　名ハ葛城ト称ス

(チ)

智証大師（チショウダイシ）　名ハ円珍ト称ス

(テ)

天智天皇（テンチテンノウ）　舒明天皇ノ皇子ニテ大友皇子ノ父ナリ

天武天皇（テンムテンノウ）　舒明天皇ノ皇子ニテ持統天皇ノ夫ナリ

(ト)

藤原仲麻呂（トウノハラノナカマロ）　名ハ恵美押勝ト称ス

藤原不比等（トウノハラノフヒト）　名ハ史ト称ス

藤原鎌足（トウノハラノカマタリ）　名ハ中臣ト称ス

藤原清河（トウノハラノキヨカワ）　名ハ河主ト称ス

藤原広嗣（トウノハラノヒロツグ）　名ハ宇合ト称ス

藤原宇合（トウノハラノウマカイ）　名ハ房前ト称ス

藤原房前（トウノハラノフササキ）　名ハ不比等ト称ス

藤原不比等（トウノハラノフヒト）　名ハ史ト称ス

藤原鎌足（トウノハラノカマタリ）　名ハ中臣ト称ス

藤原清河（トウノハラノキヨカワ）　名ハ河主ト称ス

藤原広嗣（トウノハラノヒロツグ）　名ハ宇合ト称ス

藤原宇合（トウノハラノウマカイ）　名ハ房前ト称ス

藤原房前（トウノハラノフササキ）　名ハ不比等ト称ス

(ナ)

中納言（チュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

(ニ)

仁徳天皇（ニントクテンノウ）　応神天皇ノ皇子ニテ履中天皇ノ父ナリ

(ヌ)

額田王（ヌカタノオオキミ）　鏡王ノ女ニテ天智天皇ノ妃ナリ

(ネ)

根本大塔（ネモトノダイトウ）　名ハ興教ト称ス

(ノ)

野見宿禰（ノミノスクネ）　名ハ土師ト称ス

(ハ)

八幡太郎（ハチマンタロウ）　義家ノ別名ニテ源氏ノ一族ナリ

(ヒ)

日野資朝（ヒノスケトモ）　名ハ俊基ト称ス

(フ)

藤原（フジワラ）　名ハ中臣ト称ス

藤原（フジワラ）　名ハ中臣ト称ス

(ホ)

法然（ホウネン）　名ハ源空ト称ス

(マ)

松尾芭蕉（マツオバショウ）　名ハ宗房ト称ス俳諧師

(ミ)

源実朝（ミナモトノサネトモ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ三代将軍ト称ス

源頼政（ミナモトノヨリマサ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

源仲政（ミナモトノナカマサ）　頼光ノ子ニテ摂津守ト称ス

源頼義（ミナモトノヨリヨシ）　頼信ノ子ニテ八幡太郎ト称ス

源頼信（ミナモトノヨリノブ）　満仲ノ子ニテ河内守ト称ス

源頼家（ミナモトノヨリイエ）　頼朝ノ子ニテ鎌倉ノ二代将軍ト称ス

源頼国（ミナモトノヨリクニ）　頼綱ノ子ニテ伊予守ト称ス

源頼綱（ミナモトノヨリツナ）　仲政ノ子ニテ摂津守ト称ス

源頼朝（ミナモトノヨリトモ）　義朝ノ子ニテ鎌倉ニ幕府ヲ開キ征夷大将軍ト称ス

源義経（ミナモトノヨシツネ）　義朝ノ子ニテ頼朝ノ弟ナリ

源頼光（ミナモトノヨリミツ）　満仲ノ子ニテ摂津守ト称ス

源満仲（ミナモトノミツナカ）　経基ノ子ニテ多田ノ満仲ト称ス

源経基（ミナモトノツネモト）　清和天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

源為朝（ミナモトノタメトモ）　為義ノ子ニテ鎮西八郎ト称ス

源為義（ミナモトノタメヨシ）　義家ノ子ニテ為朝ノ父ナリ

(ム)

村上天皇（ムラカミテンノウ）　醍醐天皇ノ皇子ニテ冷泉天皇ノ父ナリ

(メ)

明恵上人（メイエショウニン）　紀州ノ人平重国ノ男名ハ高弁ト号ス自ラ自ラ明恵ト称ス

(モ)

茂吉（モキチ）　名ハ秋哲文保中ニ来朝ス

(ヤ)

山の梅尾ノ隠者（ヤマノウメノオノインジャ）　名ハ高弁ト号ス自ラ自ラ明恵ト称ス

(ユ)

雪舟（ユキシュウ）　名ハ等楊ト号ス画家

(ヨ)

与謝蕪村（ヨサブソン）　名ハ信章ト号ス画家

(ラ)

頼山陽（ライサンヨウ）　名ハ襄ト号ス儒家

(リ)

李漁（リギョ）　名ハ笠翁ト号ス文学ニ長ス

李白（リハク）　名ハ太白ト号ス詩人

李杜（リト）　李白ト杜甫トヲ併セテ李杜ト称ス

(ル)

瑠璃光如来（ルリコウニョライ）　薬師ノ別名ニテ東方浄瑠璃世界ノ教主ナリ

(レ)

蓮如（レンニョ）　名ハ兼寿ト号ス浄土真宗ノ僧ニテ本願寺ヲ興ス

(ロ)

六条左大臣（ロクジョウノサダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条右大臣（ロクジョウノウダイジン）　名ハ顕通ト称ス

六条院（ロクジョウイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

六条宰相（ロクジョウノサイショウ）　名ハ有房ト称ス

六条中将（ロクジョウノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

六条内大臣（ロクジョウノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前大臣（ロクジョウノサキノオトド）　名ハ顕通ト称ス

六条前右大臣（ロクジョウノサキノウダイジン）　名ハ顕通ト称ス

六条前左大臣（ロクジョウノサキノサダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前内大臣（ロクジョウノサキノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前太政大臣（ロクジョウノサキノダイジョウダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前中納言（ロクジョウノサキノチュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

六条前中将（ロクジョウノサキノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

六条前内大臣（ロクジョウノサキノナイダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前太政大臣（ロクジョウノサキノダイジョウダイジン）　名ハ有房ト称ス

六条前中納言（ロクジョウノサキノチュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

六条前中将（ロクジョウノサキノチュウジョウ）　名ハ顕通ト称ス

(ワ)

和気清麻呂（ワケノキヨマロ）　名ハ広虫ト称ス女子ニテ和気氏ノ一族ナリ

(ヰ)

井上内親王（イノウエノナイシンノウ）　光仁天皇ノ皇后ニテ他戸親王ノ母ナリ

(ヱ)

恵美押勝（エミノオシカツ）　名ハ藤原仲麻呂ト称ス

(オ)

大友皇子（オオトモノミコ）　天智天皇ノ皇子ニテ弘文天皇ト称ス

大伴旅人（オオトモノタビト）　安麻呂ノ子ニテ家持ノ父ナリ

大伴家持（オオトモノヤカモチ）　旅人ノ子ニテ万葉集ヲ撰ス

大伴安麻呂（オオトモノヤスマロ）　名ハ御行ト称ス

大伴御行（オオトモノミユキ）　名ハ安麻呂ト称ス

大伴金村（オオトモノカナムラ）　名ハ室屋ト称ス

大伴室屋（オオトモノムロヤ）　名ハ談ト称ス

大伴談（オオトモノカタリ）　名ハ連ト称ス

大伴連（オオトモノムラジ）　名ハ馬飼ト称ス

大伴馬飼（オオトモノウマカイ）　名ハ咋ト称ス

大伴咋（オオトモノクイ）　名ハ狭手彦ト称ス

大伴狭手彦（オオトモノサテヒコ）　名ハ金村ト称ス

大伴金村（オオトモノカナムラ）　名ハ室屋ト称ス

大伴室屋（オオトモノムロヤ）　名ハ談ト称ス

大伴談（オオトモノカタリ）　名ハ連ト称ス

大伴連（オオトモノムラジ）　名ハ馬飼ト称ス

大伴馬飼（オオトモノウマカイ）　名ハ咋ト称ス

大伴咋（オオトモノクイ）　名ハ狭手彦ト称ス

大伴狭手彦（オオトモノサテヒコ）　名ハ金村ト称ス

(カ)

花山院（カザンイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

(キ)

吉備真備（キビノマキビ）　名ハ下道ト称ス

(ク)

草壁皇子（クサカベノミコ）　天智天皇ノ皇子ニテ文武天皇ノ父ナリ

(ケ)

源氏（ゲンジ）　清和天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

(コ)

孝謙天皇（コウケンテンノウ）　聖武天皇ノ皇女ニテ女帝ナリ

(サ)

佐伯今毛人（サエキノイマエミシ）　名ハ清岡ト称ス

(シ)

持統天皇（ジトウテンノウ）　天智天皇ノ皇女ニテ女帝ナリ

(ス)

崇徳院（ストクイン）　後白河ノ皇子ニテ二条帝ノ后ト成リ高倉帝ノ母ニ当ル

(セ)

清和天皇（セイワテンノウ）　文徳天皇ノ皇子ニテ六孫王ト称ス

(タ)

橘諸兄（タチバナノモロエ）　名ハ葛城ト称ス

(チ)

智証大師（チショウダイシ）　名ハ円珍ト称ス

(テ)

天智天皇（テンチテンノウ）　舒明天皇ノ皇子ニテ大友皇子ノ父ナリ

天武天皇（テンムテンノウ）　舒明天皇ノ皇子ニテ持統天皇ノ夫ナリ

(ト)

藤原仲麻呂（トウノハラノナカマロ）　名ハ恵美押勝ト称ス

藤原不比等（トウノハラノフヒト）　名ハ史ト称ス

藤原鎌足（トウノハラノカマタリ）　名ハ中臣ト称ス

藤原清河（トウノハラノキヨカワ）　名ハ河主ト称ス

藤原広嗣（トウノハラノヒロツグ）　名ハ宇合ト称ス

藤原宇合（トウノハラノウマカイ）　名ハ房前ト称ス

藤原房前（トウノハラノフササキ）　名ハ不比等ト称ス

藤原不比等（トウノハラノフヒト）　名ハ史ト称ス

藤原鎌足（トウノハラノカマタリ）　名ハ中臣ト称ス

藤原清河（トウノハラノキヨカワ）　名ハ河主ト称ス

藤原広嗣（トウノハラノヒロツグ）　名ハ宇合ト称ス

藤原宇合（トウノハラノウマカイ）　名ハ房前ト称ス

藤原房前（トウノハラノフササキ）　名ハ不比等ト称ス

(ナ)

中納言（チュウナゴン）　名ハ有房ト称ス

(ニ)

仁徳天皇（ニントクテンノウ）　応神天皇ノ皇子ニテ履中天皇ノ父ナリ

(ヌ)

額田王（ヌカタノオオキミ）　鏡王ノ女ニテ天智天皇ノ妃ナリ

(ネ)

根本大塔（ネモトノダイトウ）　名ハ興教ト称ス

(ノ)

野見宿禰（ノミノスクネ）　名ハ土師ト称ス

(ハ)

八幡太郎（ハチマンタロウ）　義家ノ別名ニテ源氏ノ一族ナリ

(ヒ)

日野資朝（ヒノスケトモ）　名ハ俊基ト称ス

(フ)

藤原（フジワラ）　名ハ中臣ト称ス

藤原（フジワラ）　名ハ中臣ト称ス

(ホ)

法然（ホウネン）　名ハ源空ト称ス

(マ)

松尾芭蕉（マツオバショウ）　名ハ宗房ト称ス俳諧師

(ミ)

澁川春海（渋川春海）　名被仍又傳井
算数ヲ遊ノ指南ヲ擬ス
日本貞享暦ヲ作ル初メテ朔
日官従リ家ヲ継ク

白女（白女）　源遠ノ女ニ口ノ遊女ヲ
白井字周（白井宇周）　白雲山人ト号ス
大坂ノ儒医

加古春皐（加古春皐）　名ハ定ノ字ハ子文静軒ト
称ス儒家

清水冬白（清水冬白）　字ハ子奏ト称ス儒家

静（静）　白拍子ノ一流ヲ立ツ

沼尻墨仙（沼尻墨仙）　名ハ元凱字ハ公旋墨仙ト号ス
画ヲ能ス

清水谷（清水谷）　実ハ正親町家ノ出ナリ

清水谷実業（清水谷実業）　大納言
中逝

清水冠山（清水冠山）　名ハ宗仲ノ字ハ
細々巻テ大坂ニ
在セシ頃逝テコトヲ
聞ク

清水谷家（清水谷家）　京ノ豪家世々風
流ノ宗匠ト称ス

清水谷英（清水谷英）　字ハ子発ト称ス儒家

静（静）　白拍子ノ一流ヲ立ツ

沼尻墨仙（沼尻墨仙）　名ハ元凱字ハ公旋墨仙ト号ス
画ヲ能ス

志道軒　近世街に奇品説法せし者
古今の物識れども卒に化す其後
自笑　余かもて綽号（あだな）を知る人なり
自休　禅門に入つゞき表徳（ひょうとく）
任俠を好き京師の
娼門に接（まじわ）りて浪世界の
徒となれりそ
自堕落先生　名八俊明字
八垣不量坊
雲龍院梨秋確蓮坊と
号俗称小治二代目
こか能く歯八枚に歯朶の漆芭蕉
風の如きを好り自ら堕落先
生と号え文中没但十六初冬
㊀猿猴庵　名八光四八俗称
聖一国師　名八元心俗姓
聖王法国師　徳川の人光化帝
の法流負給ふ

天文易経医卜筮　文章
技芸百般摸写
多くの人に通し
サに通一堕落も
浄恵　号溪と号
ひそう画技
浄辨　和
運
侍
浄念　一心院の
七月十九日寂
寂蓮　俳諧の
の男中務
正長と称
寂念　俗名
俗名
寂玄　俗名元光
法嗣
心敬　十徳心院
門人
年中
寂

寂心　名八元心俗姓三人丹波
俗名
心敬
寂恵　姓八安倍
寂玄　俗名
歌を
寂玉　名八元光
法嗣
寂超　俗名
点の男
和歌
寂と云
寂超　俗名
業
寂超

寂心　名八元心俗姓三人丹波
俗名
心敬
寂恵　姓八安倍
寂玄　俗名
歌を
寂玉　名八元光
法嗣
寂超　俗名
点の男
和歌
寂と云
寂超　俗名
業

山滝本坊と称す清誠山と号す
学ぶ所は一家を滝水流と称す
又画も狩野山楽を学ぶ一家
なり寛永十六年没す五十六

松岳 名八宗綜要心流の一
尾張瑞泉寺の僧

信叔 名八光雄心流の一
浪花湊竜寺の僧

信海 名八光雄心流の一
僧なり称松苑堂の号あり
七絶を善くす

叔方 名八周仲丹州の人建仁
寺の僧永享の年寂

子健 名八宗忠大徹流の一
西堂と称す相国寺の僧画を善く
永正中寂

宗傳 名八弘法薩州の人宝
福寺第二十九世永禄九年寂

守堂 名八光弘薩州の人宝
福寺第山元守九年寂

茨帝 漢鹿の孫小伐之子
指南車を発指南の子なり姓姫
氏名を軒轅と称す世の
賢君

商高宗 殷の賢王
武丁と号す傅説を得て
天下を治む殷中興の
英主なり

商鞅 七雄の一秦に用られ井
田を廃し阡陌を開き
選要を定む

周文王 姓姫名昌殷の西伯
侯たり姫氏八百年の基業
を開く聖人なり易を
演ず羑里に幽せらる

周臣 名八泮卿東村と号
明の画家

周憲王 徽称と号明の医家
救荒本草を著す

周文華 明の医家医方
選要を著す

周朱 名八寅之明の医家
医統正伝を編す

周季式 清初の医家女科
方論を著す

周公 名八恩清秋と号
清の儒家

周紹蓬 名八元相蒙泉と号
清の古家

周亮工 号八櫟園老人と号
清の古家

周度 名八思王
清の画家

子貢 姓八端木名八賜孔門
の一哲学魯国の相
として富千金を
累ぬ

松月 名八宗顕大徹流の一
九州の人画家明の人
画の妙を究む

周文 名八宗旦祐清東福寺
の古僧画風一家
世に徹書記と称す

周徳 惟馨と号防州雲谷
等与の門人なり一家

周耕 名八光雄心流の一
門人山水を善く鍾旭と称す

松元堂 名八昭叟中沼氏
初め浚慶を学ぶ八幡

終南 名八浄華蒋山と号
紀州の人妙心寺
の古僧なり

春屋 名八妙葩又宗園不昧
子と号甲斐の人妙心
寺の古僧なり

春日影 名八永恩建仁流の一
天正元年寂

春径 天竜流の一

春浦 名八宗顕大徹流の一

春深 名八光雄心流の一

(漢)神農 姓姜名石烈山氏
又は厲山氏と称す
人身牛首

山鬼尤 神農の時諸侯
蚩尤と称す
獣身人語暴虐

周芾 名八浄華頭源渓と号
千洲為を称し明の
末の大儒

周伯琦 字八伯温と号元の古家

周天球 字八公瑕初海又六
逸士と号明の古家

周之冕 字八服卿謙庵少谷
と号明の画家

周鉉 字八勒山古家

周王孫 雪川又後園小山と
号古家

周昇 字八有冷禹川と号
古家

周麟 字八完卿と号
古家

周履靖 字八逸之梅顛石人
又顧龍と号明の古家
又山水の画を
よくす

子路 姓仲名由又季路孔門の高弟衛の蒲邑の宰となり孔悝を輔佐して孔悝の邑を保ちしが衛の内乱に遇ひ死す

子游 姓ハ言名ハ偃孔門の文学を称す

子夏 姓ハト名ハ商孔門の文学を称す

子張 姓ハ顓孫名ハ師孔門の一

子賤 姓ハ宓名ハ不斉孔門の人

子羔 姓ハ高名ハ柴宋の人

子産 鄭の卿大夫公孫僑字ハ子産

漆雕開 字ハ子若孔門の一

司馬牛 名ハ耕孔門の人

司馬桓魋 宋の大臣孔子を害せんとせし人

秦始皇 名ハ政周の末天下を統一す阿房宮を造営し万里の長城を築き苛政を行ひ二世胡亥の初め趙高を丞相となし政を専にし楚の項羽ために滅さる阿房宮を火攻三月ぐらひ燃ゆ

秦舞陽 燕の太子丹荊軻に副ひ秦皇を刺んとして殺さる

秦観 字ハ少游又太虚

秦檜 宋紹興二帝を迎へ奉り迎ひ帰りし後講和を主張し岳飛を忌殺す

司馬光 字ハ君実陝西の夏県の人宋の名臣資治通鑑を著す

司馬遷 十歳右文を通じ漢の太史令となり史記を修む良史と称す

司馬懿 字ハ仲達魏の元帥晋の天下をひらく

司馬炎 字ハ安世晋の武帝

司馬貞 字ハ子徴唐の文院学士史記索隠を著す

司馬穰苴 呉孫子兵術を通ず司馬法を著す

司馬温公 名ハ光字ハ君実宋の政相資治通鑑を著す

慈童 俗に彭祖七百年の称用の穆王に仕へ菊水を汲み傍山に放たれ菊水の仙となる

荀子 名ハ況姓ハ孫字ハ卿漢の時の儒者

朱買臣 字ハ翁子呉の人漢武帝に仕へ会稽太守となる

朱雲 漢帝侍臣鄭崇の人となりを漢帝怒て退けんとせしに檻をつかんで諫めしかば帝後悔して修復せしめず

朱子 名ハ熹字ハ元晦孔孟の学を称す又晦庵と号す宋の大儒

朱松 字ハ喬年韋斎と号す朱の父

朱大年 元朝の画家

朱丹溪 名ハ震亨字ハ彦修医術を以て元朝に聞ゆ

朱璟 字ハ徳潤元の画家

朱倫 字ハ文衡樗山と号す

朱之蕃 字ハ元价明の文家

朱多燉 字ハ垣次崇藩と号す明の画家

朱紫儒 字ハ輝之松雪と号す明の画家

朱文治 字ハ尚叔明朝の儒

朱三殿 人物の画

朱綬 字ハ佩章又端芳と号す画法妙なり

鍾離權　字ハ知通和合ス文王陽ノ裔ト云フ後漢ノ時吐蕃ヲ征一利ヲ失ヒ山谷ニ走ル人ニ遇仙術及ビ竜虎ノ劍法ヲ授ケラル

鍾繇　字ハ元常　胡昭劉徳升ト字ヲ並ベ魏ノ名筆トス　鍾会ノ父ナリ

鍾馗　唐玄宗ノ時病ミ夢ニ鬼ヲ見ル其ノ像ヲ図画シテ之ヲ懸ケ厄ヲ避ケシ故ニ其ノ画図ノ名トス

鍾皓　字ハ鄧伯道　七画神名ナリ

鍾離　字ハ伯牧退谷ト号ス　明ノ士家又山水ヲ画ク人物トシテ

鍾惺　字ハ伯敬　明ノ士家

鍾廷儀　観天ト号ヲ

車渠　車馬ハ馬瑙ヲ

車馬　車馬ハ馬瑙ヲ

初平　羊氏後ニ赤松子ト号ス　会元山ニ在リ一日兄ヲ

奴トス第ノ

車渠　字ハ硨磲　明ノ士家

車馬ハ馬瑙ヲ

車馬　車馬ハ馬瑙ヲ

顕立言 姓の不詳 医を以て名
初唐世 宋の侯家より出要決又は不老延年
施沛 字、沛然 号、明胡の医家
施永昭 字、仁山 明の医家
施也光 号、梁庭 明の医家
施見二 号、文山 明の医家
支秉中 汝秩と号 明胡の医家
祝世禄 字、延祉 号、無功 明の名家
祝九明 字、希哲 枝山と号 明の名家又善く画
翁輿年 名、文暉 趙昌と称す 善く人物を画
家天王 流沸国の王 法西八百万胡姓なり

大里桜部の女に県し一子を生む
浮る後捨てられ尋ひ老いたる母に
壽老人 姓孫 寿一人なり
悉陀太子 釈迦の未だ唐よ一切智を得ざる
淨飯王 天竺摩訶陀国の王 浄飯王 利
利帝と頗王のこと
釈迦のこと
恩 唐の世恩寺 永淳元年敕して恩寺
の号を改めて慈恩寺と称
慈船 名八元慧 幻雲と号 三月仏の忌日
音安 名八安世 号、三月仏のこと
唱山七 姓稲 名、文人 日こ方
ふと死 俗名、文人 名、文人
偶一 名、文人 名、文人
十二月七日寂 名、文人 名、文人

磐檝 檀越かう紀の世風氏
檀越 施主のこと
平氏 平家
平田 姓 名、文人 名、文人
平四郎 仁安 名、文人 名、文人
平野 名、文人 名、文人
平野門人 名、文人 名、文人
平柯 名、文人 名、文人
平伯 名、文人 名、文人
平倫 字、仲彝 号、文人 名、文人
平仲 名、文人 名、文人
平山 名、文人 名、文人
平山門人 名、文人 名、文人
平山 名、文人 名、文人
平山 名、文人 名、文人
平山

北千般討王の庶文聖人の心ハ七ッの竅あり人を深るやと判てこゝをる微子箕子比干賢人と称せらるゝ

基俊 右府基家公の男九条伯称人

守屋 物部弓削大連守屋の男大連ゝ称ふ

守武 荒木田氏伊勢の神官連俳の達人天文中没

物加茂人 伊賀の産人にて後京都の人上高川流の流れを汲む

物ぐさ太郎 狂言の名人にて後京都大蔵流の祖

作之丞 又作ともかく

基俊 右府基家公の男九条伯称人

守屋 物部弓削大連守屋の男大連ゝ称ふ

守武 荒木田氏伊勢の神官連俳の達人天文中没

物加茂人 伊賀の産人にて後京都の人上高川流の流れを汲む

物ぐさ太郎 狂言の名人にて後京都大蔵流の祖

費長房 仙術を学び鬼魅を役する

費漢源 名ハ深ゝ画ク

費改呂素 呉淞の医家

百丈禅師 馬祖の弟子にて百丈山に住す

(ヒ)

百拙 名ハ元恕字ハ百拙又泊雲子と号ス法眼海北の門人

肥山藤也 名ハ重乃と称ス

久田宗全 千利休の門人にて堺流宗仙門人

久渕寺宗悟 堺の人

久渕寺宗味 宗悟の子

久次 土佐の狩人にて画ク

芳ノ一郎 狩野元信の画工春文或ハ芳ノ一郎ともいふ

(七)

之部

文武天皇 第四十二代の帝和歌を能くす

元良親王 陽成院の皇子

人丸 大変ともいふ

元方 紀氏の人にて歌を能くす

元輔 清原氏清少納言の父

元真 名ハ瑚珀字ハ虚白香を述ぶ

元政 日蓮宗の僧

元明天皇 第四十三代の帝和歌を能くす

元稹 唐の詩人

元信 狩野氏古法眼

元長 狩野氏古法眼

元秀 狩野氏古法眼

元次 狩野氏古法眼

元勝 狩野氏古法眼

元俊 狩野氏古法眼

元心 狩野氏古法眼

元清 狩野氏古法眼

元珍 狩野氏古法眼

元章 狩野氏古法眼

元伯

毛三英（モウサンエイ）　唐門と号す本姓の外に又姓を冒す一世名は
百潮（モウセキ）井元（カゲモト）　名は宣也初め別の流派を
本居宣長（モトオリノリナガ）　名は宣也初め別の流派を
汲む

木道（モクダウ）　土佐の人と称す
文覚（モンガク）　名は遠藤盛遠大悪を
　行て姪を害し剰へ
　主を殺さんとし
　を知て剣
関渓（モンケイ）　名は良聡建仁寺
　塔頭の中叙
門中（モンチウ）　名は淳祖芝居と号
　頑癖ありて
木綿（モメン）　柯和亭と号貞柳
　の人
　安永中没

毛菴（モウアン）　名は性瑞美濃の
　人古の
毛延壽（モウエンジュ）　漢の時画
　人と
　流女児絵を
　ゲ
　醜女に
　辻中にて
毛牆（モウショウ）　古代
毛松（モウショウ）　画く

木庵（モクアン）　名は性瑞美濃の
　の
白令（ハクレイ）　名は宗珀神刀
木綿（モメン）　柯和亭と号貞柳
　の人
　安永中没
毛菴（モウアン）　後漢の人古の
毛延壽（モウエンジュ）　漢の時画
　人と
　流女児絵を
　ゲ
　醜女に
　辻中にて
毛牆（モウショウ）　古代
毛松（モウショウ）　画く

毛晃（モウクワウ）　宋朝の
　讀を
毛苞（モウハウ）　名は
毛奇齢（モウキレイ）　名は
牧溪（モクケイ）　唐の
　かの
　画家の
　月
　牧蓮（モクレン）　仏
紹鷗（ジョウオウ）　武田
　身
　士
　利
紹巴（ジョウハ）　連
紹庵（ジョウアン）　名は
　小
照元（ショウゲン）　仲
　筝
名倫（ショウリン）　名は
　の
　多
清和天皇（セイワテンノウ）　文徳帝の
　の
清姫（セイヒメ）　名は
　の
　多

清水浜臣（セイスイハマオミ）　狂歌
　の
松平定信（マツダイラサダノブ）　楽翁
　の
浦上玉堂（ウラカミギョクドウ）　名は
　の
　琴
　の
　画
　の
　人
　の
　画
　の
　人
　の
　画
　の
　人

慶長十九年
没
千道安（センノダウアン） 眠翁と号利休如
仏病まねく亡中没
千宗旦（ソウタン） 名元叔又元伯咲
称今日庵宗淳の
男万治元年没
八十
千宗拙（ソウセツ） 宗翁壷天と称宗
才旦の男父子不和と云
千宗佐（ソウサ） 宗旦の門宝永三年
新遷源秋江考
と称紀蔭よ
仕ふ
千宗室（ソウシツ） 宗旦の二男紹巴
と号兄と共に表流
を開き千ヶ
元禄十年没
千宗守（ソウシュ） 一翁仙林秋休居
と号宗旦のあと
を紹継ぎ仕延宝
二年没

（七）

センスク
仙鶴 名内氏化笛秋宗の
仙林截画技法実延
中没法流門
セントリヤウ
法源 雲岳氏性千居仏戸
仙林仏名あるおのせん
ゑあり人先の縁を結因明
仏の社地となるをもり
セキエン
石燕 近世仏名画
名もり
（尺セキチ）
釈尺 仏名遠坂出雲掾乗
門称人宮目かわ
センニンコン
千仞 京六角堂の僧連歌
の連人法橋
センイ
千以 称名もの僧
セツシン
雪舟 備中の人小田氏名ハ
号拇室と仏名もる雲
谷派祖渓秋おこす事拇知
室と称画法開文かれもる
明応八庚明天寿の称一名と
ゆて仏永正三年寂八十七

（七）

セイセツ
清拙 名ハ正澄元年日本に渡化一家
名寺の開山
もる住仏業
セイガン
清岩 名ハ宗潤自号大法流のそ僧也
と号
セキシツ
石室 名ハ古渓中そよ
仏名もり名ハ古渓林の法嗣もる
康法
セウセキ
樵谷 名ハ惟仙明応八天童
別山の法嗣住名寺来
寺の号山
ゼンカイ
禅海 名ハ中津ノ夏安の法嗣
もる住 名ハ智光天竜流の
法脈を仏世に室と称
の法脈を仏もり八世に室と称
とて名ハ智光天竜流の
ゼツカウ
絶照 名ハ智光天竜流の
法脈を仏もり住

（七）

ヒツソウ
宅叟 名ハ一純江戸新宅ち
の開山住家のそ住
名ハ宗源大徳流のそ住
仏文初中寂
セツソン
雪村 名ハ友梅元文法名
匡を迎歴一員和中
寂建仁仏流の
セツキ
雪機 名ハ定法英住流
也をもり
センカイ
千呆 名ハ性海英住流
也をもり
センナ
千那 堺田中福寺の住僧
俳人
セウリン
少林 名ハ妙雲正和中元文
姚江流のそ法
小渓 名ハ紹意大徳流のそ住天文中寂
清渓 名ハ通徹入宋一ヶ
法師より得一ヶ徳中
寂天竜寺の役宮の
頭仏名もり
ヒイテン
弁典 韻院易解千仏
名もり
センキゴキ
千鬼五鬼 住のりもの総名二種あり
名もの大小の精霊
おくるのつかあり
（漢）セイハクボ
西伯 周の文王殷仏仕る時
の方伯名ハ姫昌ハ姫姓仏称
西王母 名ハ西宇ハ姫人のごとく豹の尾虎
の歯あり小海住仏
ヒイシ
西施 （呉）名越美女もり
者の女名ハ夷光宇ハ
呉越戦ふり呉仏退呉亡び
越も滅ぶもんと伝ハ春秋五
湖仏放
とそ

（七）

セウコウセキ
召公奭 周公旦の弟
ゼンハクギウ
冉伯牛 名ハ耕孔門のそ弟
住仏名もる
セイトウテイ
昭烈帝 蜀の玄徳帝漢
昌徳号之仏
寿卅年
ゼンイウ
冉有 名ハ求字ハ子有孔門
のそ弟住仏名もり
セキレン
石申 魏の時星の
名を仏名ハ
セキロク
石勒 字ハ世龍東晋の時匈
奴の長仏て潜て趙王
と称孔をもりて兵威
をふるひ退
セキカイウ
石介 宋の徂徠先生
セツキ
銭起 字ハ仲文唐の
セツリヤウイウ
銭良佑 字ハ翼之
元の吉水

錢乙（センオツ）　字ハ仲陽　宋ノ医家

錢侯（センコウ）　字ハ聞礼　宋ノ医家　傷寒百問歌ヲ著ス

錢選（センセン）　字ハ舜挙ト号ス　呉興ノ人　花鳥ヲ画ク

錢穀（センコク）　字ハ叔宝　号ス　明ノ画家

錢徳益（センエキ）　字ハ牧斎　清朝ノ学者

錢塘門（センタウモン）　字ハ秉恭　谷清朝ノ画家

錢封（センホウ）　字ハ叔寧　松屋ト号ス　清ノ学者

錢峻（センシュン）　字ハ楠渓　清ノ医家

全元起（センケンキ）　梁ノ医家　蕭武帝ノ時ニ内侍ヲ召シ素問ヲ解セシム

全九鬼（センクキ）　字ハ斗南　楊州ト号ス　清ノ学者

咸公紱（ヒイコウスイ）　晋朝ノ儒家　千牛ニ寮ス

昭明太子（セウメイタイシ）　梁武帝ノ長子　蕭統字ハ徳施　文選ヲ著ス

蕭顕上（セウケンジヤウ）　字ハ休模　号ス　清ノ医家

蕭炳（セウヘイ）　蒙渓ト号ス　唐ノ医家

蕭子雲（セウシウン）　字ハ景喬　梁ノ王家ニ生ル　唐ノ医家

薛生白（セツセイハク）　名ハ雪　呉門ノ人　清ノ医家

薛雪（セツセツ）　字ハ生白　号ス　呉門ノ人　清ノ医家

薛鎧（セツカイ）　字ハ良武　号ス　清ノ医家

薛已（セツキ）　字ハ新甫　号ス　清ノ医家

邵康節（セウカウセツ）　名ハ雍　字ハ堯夫　宋ノ学者

邵子之才（セウシシサイ）　宋ノ人　傷寒ノ門ヲ著ス

邵亨貞（セウカウテイ）　字ハ復孺　明ノ学者

邵寶（セウホウ）　字ハ国賢　号ス　明ノ学者

邵詩（セウシ）　字ハ元定　程門ノ家儒

謝夢授（シヤボウジユ）　名ハ賀　西山先生ト称ス　宋朝ノ儒家

葉士龍（セフシリヨウ）　名ハ以潜　宋朝ノ医家

葉向高（セフカウカウ）　字ハ進卿　明ノ学者

葉仲和（セフチウワ）　名ハ仲圭　宋朝ノ儒家　傷寒ヲ論ス

葉元（セフゲン）　字ハ伯機　元ノ学者

葉九成（セフキウセイ）　字ハ雲巣　散史又若水ト号ス　元ノ画家

葉清臣（セフセイシン）　字ハ道卿　宋ノ学者

葉雲巣（セフウンソウ）　名ハ賀　西山先生ト称ス　宋朝ノ儒家

葉天士（セフテンシ）　名ハ桂　字ハ天士　号ス　呉門ノ人　清ノ医家

葉桂（セフケイ）　字ハ天士　号ス　呉門ノ人　清ノ医家

葉子奇（セフシキ）　名ハ文奇　字ハ子奇　号ス　明ノ医家

葉秉敬（セフヘイケイ）　字ハ与中　号ス　清ノ学者

葉向高（セフカウカウ）　字ハ進卿　明ノ学者

鮮于樞（センウスウ）　字ハ伯機　元ノ学者

鄭玄（テイゲン）　字ハ康成　雲巣散史又若水ト号ス　元ノ画家

鄭樵（テイセウ）　名ハ漁仲　宋ノ学者

饒魯（ゼウロ）　字ハ仲元　双峯ト号ス　朱子門下ノ儒家

饒鍔（ゼウガク）　字ハ以潜　宋朝ノ医家　明目良方ヲ著ス

詹僖（センキ）　字ハ仲和　泉州ノ人　号ス　明ノ学者

詹嗣賢（センシケン）　字ハ希元　号ス　明ノ学者

詹嵓（センガン）　字ハ東谷　号ス　明ノ画家

詹何（センカ）　清ノ儒家　古画舫ヲ著ス

戚南塘（セキナンタウ）　清ノ儒家　紀効新書ヲ著ス

中行家治（チウカウカチ）　名ハ治　字ハ行之　宋朝ノ医家

程杏軒（テイキヨウケン）　名ハ徳培　号ス　清ノ儒家

程敦（テイトン）　名ハ大訢　号ス　清ノ儒家

程瑶田（テイヨウデン）　名ハ易疇　号ス　清ノ儒家

程雲（テイウン）　名ハ鳳儀　号ス　清ノ儒家

程曦（テイキ）　名ハ扶生　号ス　清ノ儒家

程林（テイリン）　名ハ応旄　号ス　清ノ儒家

程易疇（テイエキチウ）　名ハ瑶田　字ハ易疇　号ス　清ノ儒家

程大昌（テイタイシヤウ）　字ハ泰之　号ス　宋ノ学者

程大位（テイタイヰ）　字ハ汝思　号ス　明ノ医家

程知（テイチ）　字ハ郭生　号ス　清ノ医家

程林（テイリン）　字ハ観我　号ス　清ノ医家

程曦（テイキ）　字ハ扶生　号ス　清ノ医家

程応旄（テイオウバウ）　字ハ仲芳　号ス　清ノ医家

程鳳儀（テイホウギ）　字ハ瑞生　号ス　清ノ医家

程林（テイリン）　字ハ観我　号ス　清ノ医家

程知（テイチ）　字ハ郭生　号ス　清ノ医家

程大位（テイタイヰ）　字ハ汝思　号ス　明ノ医家

程大昌（テイタイシヤウ）　字ハ泰之　号ス　宋ノ学者

程易疇（テイエキチウ）　名ハ瑶田　字ハ易疇　号ス　清ノ儒家

程雲（テイウン）　名ハ鳳儀　号ス　清ノ儒家

程曦（テイキ）　名ハ扶生　号ス　清ノ儒家

程林（テイリン）　名ハ応旄　号ス　清ノ儒家

程杏軒（テイキヨウケン）　名ハ徳培　号ス　清ノ儒家

程敦（テイトン）　名ハ大訢　号ス　清ノ儒家

ス之部

沙土煮（スヒナニノニコー）　アイヌ人ノ薬名

少乞乃（スクナヒコナノミコト）　名ハ名令　古事記ニ見ユル神ノ名ニシテ大己貴命ト並ビ称セラルル神ナリ

温泉ノ神（ヲンセンノカミ）　温泉ノ効能ヲ説ケル医家ナリ

焦竑（セウコウ）　字ハ弱侯　将園ト号ス　清ノ儒家

焦秉貞（セウヘイテイ）　清ノ画家

清何（セイカ）　清ノ儒家　古画舫ヲ著ス

戚南塘（セキナンタウ）　清ノ儒家　紀効新書ヲ著ス

盛寅（セイイン）　字ハ啓東　明朝ノ医家

盛端用（セイタンヨウ）　名ハ子和　号ス　明朝ノ医家

盛時英（セイジエイ）　清ノ画家

曾尚恒（ゼンシヤウコウ）　字ハ久吾　明朝ノ医家

曾道大（ゼンダウダイ）　天文ヲ以テ名アリ

曾子（ソウシ）　名ハ参　字ハ子輿　孔子ノ門人　孝経ヲ著ス

曾公亮（ソウコウリヤウ）　字ハ明仲　宋ノ学者

曾雲霽（ソウウンセイ）　字ハ以潜　宋朝ノ医家

曾世榮（ソウセイエイ）　字ハ仲栄　号ス　宋ノ学者

曾鞏（ソウキヨウ）　字ハ子固　号ス　宋ノ学者

曾子固（ソウシコ）　字ハ子固　号ス　宋ノ学者

曾子輿（ソウシヨ）　名ハ参　字ハ子輿　孔子ノ門人　孝経ヲ著ス

曾道大（ゼンダウダイ）　天文ヲ以テ名アリ

曾尚恒（ゼンシヤウコウ）　字ハ久吾　明朝ノ医家

曾雲霽（ソウウンセイ）　字ハ以潜　宋朝ノ医家

曾公亮（ソウコウリヤウ）　字ハ明仲　宋ノ学者

曾世榮（ソウセイエイ）　字ハ仲栄　号ス　宋ノ学者

曾鞏（ソウキヨウ）　字ハ子固　号ス　宋ノ学者

盛寅（セイイン）　字ハ啓東　明朝ノ医家

盛端用（セイタンヨウ）　名ハ子和　号ス　明朝ノ医家

盛時英（セイジエイ）　清ノ画家

曾尚恒（ゼンシヤウコウ）　字ハ久吾　明朝ノ医家

曾道大（ゼンダウダイ）　天文ヲ以テ名アリ

崇徳院（ストクイン）を名院の宮ゝゝ　七十六代の帝後に
御追号ありし歌人なる事を
今更云ふも如何と云ふ條に
眼病（メヤミ）　保胤（ヤスタネ）入道を慰問融帝
林逋（リンポ）の招隠を賦せる
侑幹（ユウカン）　紀氏の人字未詳
祐成（スケナリ）　曽我十郎と称し石
丸河津祐泰の男なり
母は虎と称せり　祖父
助経（スケツネ）の名を附せしと
剛奴（スケヤツコ）　同前
関防門侍（セキボウモンジ）　同前
女房歌人
俊成（スルガノスケナリ）卿　藤氏
駿河守俊忠（トシタダ）朝臣の
子定家（サダイエ）卿の父
秋原宗倡（スイハラフユマサ）　秋連歌
久木元（スギモトスケ）　秀隆と号
の人京吉岡家
橋と称せり　俗家
菅一（スガイチ）　俗家
唱和（ショウワ）
菅沼東郭（スガヌマトウカク）　名は大簡字は
行文　通称は
菅里（スガノサト）　名は
称伯庸　別号
家塾殊に繁昌
菅里綸斎（スガノリンサイ）　中字は
関仲の法嗣七朝の帝の
師と称し二年高
塾を継て教授
牛込月窓院（ゲッソウイン）
山門に学ぶ
瑞相居士（ズイソウコジ）　万里姓の男
俗家
墨江滄浪（スミエサウラク）　名は昭　通称は
徽郎　浅草の儒医
捨女（ステヂヨ）　丹後柏原の人田某の女
父川口陣門人後盤渓
師と尼となり貞室と号
俳徳を吉沢氏孫中没六十五
首座又玄（シュソユウゲン）　俗姓
一流
生高谷（ウコクコク）　高氏英林と号英
一蝶の画法を学ぶ也
東武（トウブ）　名所
瑞渓（ズイケイ）　名は周鳳　泉州の人蕉
関仲の法嗣七朝の帝の
師と称し二年高
塾を継て教授
牛込月窓院
山門に学ぶ
祖師（ソシ）　名は
石丸　通称
虎と称せり　俗家
菅一（スガイチ）　名は
唱和
菅沼東郭（スガヌマトウカク）　名は大簡字は
行文　通称は
菅里（スガノサト）　名は
称伯庸　別号
家塾殊に繁昌
菅里綸斎（スガノリンサイ）　中字は
関仲の法嗣七朝の帝の
師と称し二年高
塾を継て教授
牛込月窓院
山門に学ぶ
祖師（ソシ）　名は
石丸　通称
墨江滄浪（スミエサウラク）　名は昭　通称は
徽郎　浅草の儒医
捨女（ステヂヨ）　丹後柏原の人田某の女
父川口陣門人後盤渓
師と尼となり貞室と号
俳徳を吉沢氏孫中没六十五
首座又玄（シュソユウゲン）　俗姓
一流
生高谷（ウコクコク）　高氏英林と号英
一蝶の画法を学ぶ也
東武（トウブ）　名所
瑞渓（ズイケイ）　名は周鳳　泉州の人蕉
関仲の法嗣七朝の帝の
師と称し二年高
塾を継て教授
牛込月窓院
山門に学ぶ
祖師（ソシ）　名は
石丸　通称
祐成（スケナリ）　曽我十郎と称し石
丸河津祐泰の男なり
母は虎と称せり　祖父
助経（スケツネ）の名を附せしと
剛奴（スケヤツコ）　同前
関防門侍（セキボウモンジ）　同前
女房歌人
俊成（スルガノスケナリ）卿　藤氏
駿河守俊忠（トシタダ）朝臣の
子定家（サダイエ）卿の父
秋原宗倡（スイハラフユマサ）　秋連歌
久木元（スギモトスケ）　秀隆と号
の人京吉岡家
眼病（メヤミ）　保胤（ヤスタネ）入道を慰問融帝
林逋（リンポ）の招隠を賦せる
侑幹（ユウカン）　紀氏の人字未詳
崇徳院（ストクイン）を名院の宮ゝゝ　七十六代の帝後に
御追号ありし歌人なる事を
今更云ふも如何と云ふ條に

文化九壬申年孟春

大坂書舗　河内屋八兵衛

江戸書舗　東叡山下竹町　花屋久治郎版

高井氏編並書